「環境」に関する市民・事業所アンケート
結果報告書（速報）

－ 目 次 －

Ⅰ 調査概要 1
1 調査目的 1
2 調査方法 1
3 結果の集計・整理について 1
Ⅱ 市民調査結果 3
1 回答者について 3
2 環境の課題について 4
3 ＳＤＧｓの認知度について 8
4 地域の環境について 9
5 回答者の環境への取り組みについて 14
6 環境への取り組みを進めるために必要な情報について 30
7 武蔵野市の環境への取り組みについて 33
8 武蔵野市の環境政策への要望について 35
9 環境への取り組みに対するアイデア、提案等について 39
Ⅲ 事業所調査結果 56
1 回答した事業所について 56
2 事業活動における環境の位置づけについて 57
3 事業所での環境配慮行動について 58
4 環境配慮行動の取り組みを進めるうえでの課題・問題点について 65
5 省エネ・再生可能エネルギーに関する設備導入について 66
6 省エネ・再生可能エネルギーの設備導入するうえでの課題・問題点について 67
7 地域社会との連携について 68
8 武蔵野市の環境政策への要望について 70
9 環境への取り組みに対するアイデア、提案等について 71

資料１　市民アンケート調査票
資料２　事業所アンケート調査票

Ⅰ 調査概要

１ 調査目的

本アンケートは、市民や事業所の「環境」に関する考えや取り組みを把握し、「第五期武蔵野市環境基本計画」策定の際の基礎資料を得ることを目的に実施した。

２ 調査方法

本アンケートの調査方法を以下に示す。

表 Ⅰ-１　アンケートの調査方法

	市　民	事業所
調査対象	18 歳以上の市内居住者	市内事業所
抽出法	「住民基本台帳」をもとに無作為抽出	「経済センサス-活動調査（H28)」で得られた産業大分類別の事業所割合に従い、iタウンページ（https://itp.ne.jp/）をもとに無作為抽出
調査方法	郵送による配付、 返信用封筒による回収	郵送による配付、 返信用封筒による回収
調査期間	令和元年９月 20 日～10 月 18 日	令和元年 10 月４日～10 月 31 日
配布数	2,000 件	200 件
回収数	649 件	39 件
回収率	32.5%	19.5%

３ 結果の集計・整理について

（１）回答率

回答率は、設問毎に回答を回答者総数で除した割合を百分率で表示した。なお、小数第２位を四捨五入集計しているため、百分率合計が 100%にならない場合がある。

（２）無回答

回答欄に無記入のものを無回答として集計した。また、単一回答カ所に複数の回答を記入した場合などの無効回答についても、無回答に含めて集計した。

（３）自由記載について

回答欄に記入された原文のままの掲載を基本としたが、固有名詞が含まれている場合等は、普通名詞への変更もしくは省略して記載した。

II 市民調査結果

1 回答者について

問　あなたご自身のことについて伺います。該当するものを選んで番号に〇を付けてください。

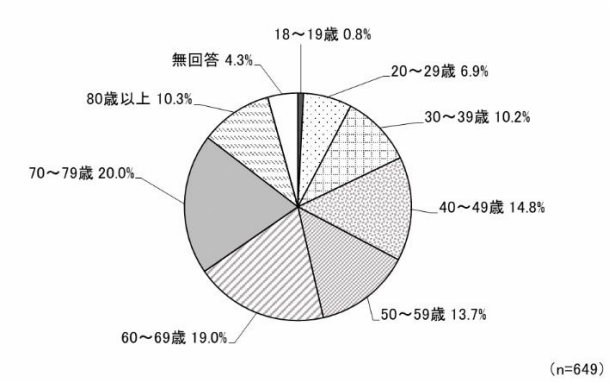


図 II-１　年代

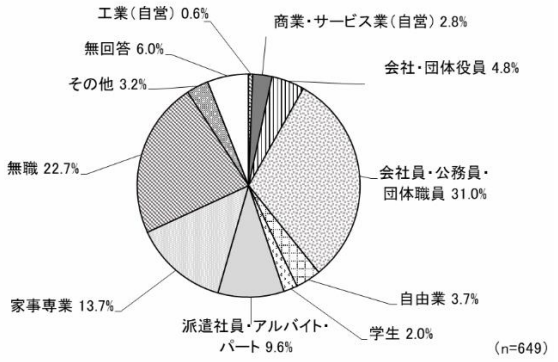


図 II-２　職業

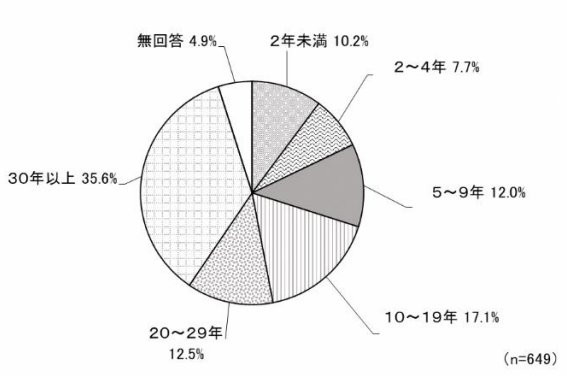


図 II-３　市内の居住年数

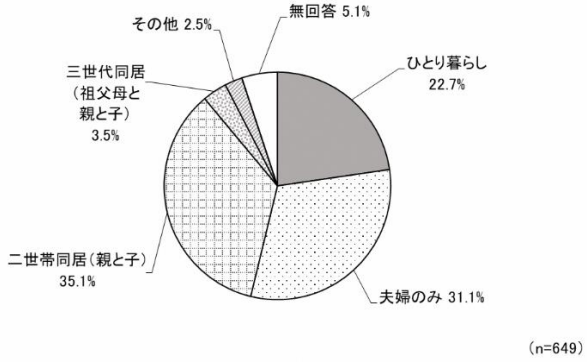


図 II-４　世帯構成

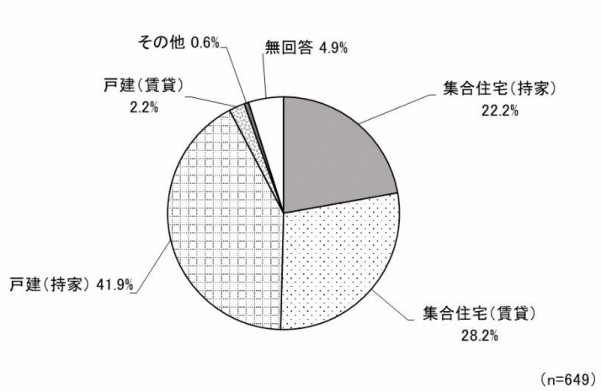


図 II-５　住まいの形態

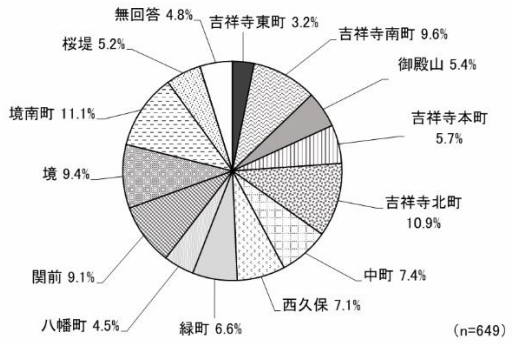


図 II-６　住まいの地域

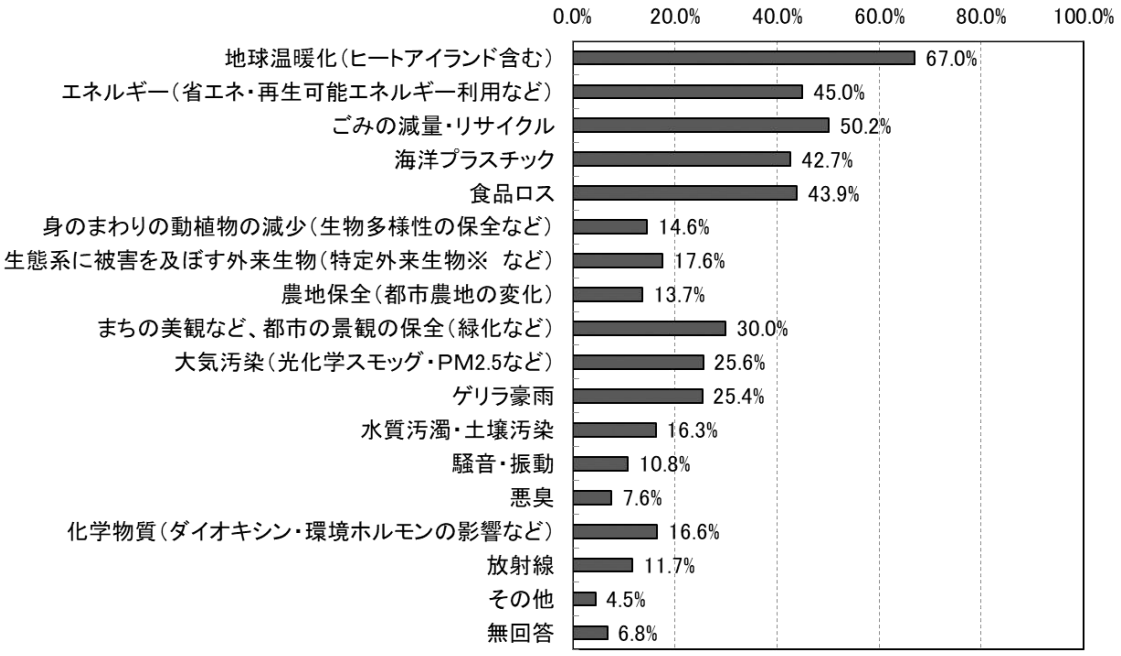
２ 環境の課題について

問１　以下の環境の課題について、優先的に対策していくべきとあなたが思うものを５つまで選び、番号に○をつけてください。

（１）単純集計

優先的に対策していくべき課題の回答が多かったのは、「地球温暖化（ヒートアイランド含む)」、「ごみの減量・リサイクル」、「エネルギー（省エネ・再生可能エネルギー利用など)」の順であった。

一方、回答が少なかったのは、「悪臭」、「騒音・振動」、「放射線」の順であった。



（n=649）

※外来生物（海外起源の外来種）であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から国により指定された生きもののこと。 例 アライグマ、オオキンケイギク など。

図 II-7　環境の課題

また、その他の回答を以下に示す。

＜広報・啓発＞

- 環境に対する課題に真剣に取り組む考え方を持つ人間になるための教育・啓蒙
- 武蔵野市独自の環境保全教育

＜気候変動対策・エネルギー対策＞

・　原子力発電から他の風力発電・太陽光発電などへの切替え

＜自然環境の保全・創出・緑化など＞

・　野生動物の保護。特に鳥類。
・　災害対策を含む形での緑化計画の推進

＜公害や生活環境への対策＞

・　近隣の薪ストーブの排煙、冬になると窓が開けれなくなり喉も痛くなり、洗濯物も干せないので対策してほしいです。すごく困っています。
・　住宅地を中心として車（特にバイク）の騒音。

＜都市環境の整備＞

・　道路整備
・　電柱の廃止…地下へ（電磁波対策）（美観）
・　電信柱、地中化
・　電柱の地下化を！！
・　電柱の地中化

＜景観・美化など＞

・　家の近くに市有地と看板が出ているが、30 年近く空き地のまま。どうするつもり？
・　繁華街、駅前での商業、NPO、宗教勧誘の呼び込み。
・　路上喫煙禁止ルート、地域に隣接している喫煙所は、問題がある。
・　犬のフン尿を放置させないこと。
・　ゴミ箱をふやす。
・　ゴミ屋敷が出現した場合の対策
・　身近な環境整備＝高齢世帯で手入れの行き届かない庭や家屋をどうにかすること。
・　高齢者宅の植木剪定（台風等で倒れたり、道路にはみ出さないように補助してあげて欲しい）
・　公園からの砂の飛散、住宅密集地の解消。
・　自転車の危険な運転への対策（立入禁止区域の設定など）
・　マナー向上の行政指導（自転車、歩きスマホ）。
・　自転車の違法駐輪
・　雑草の整備

＜その他＞

・　福祉
・　商店街の活性化。
・　地域防災への援助等

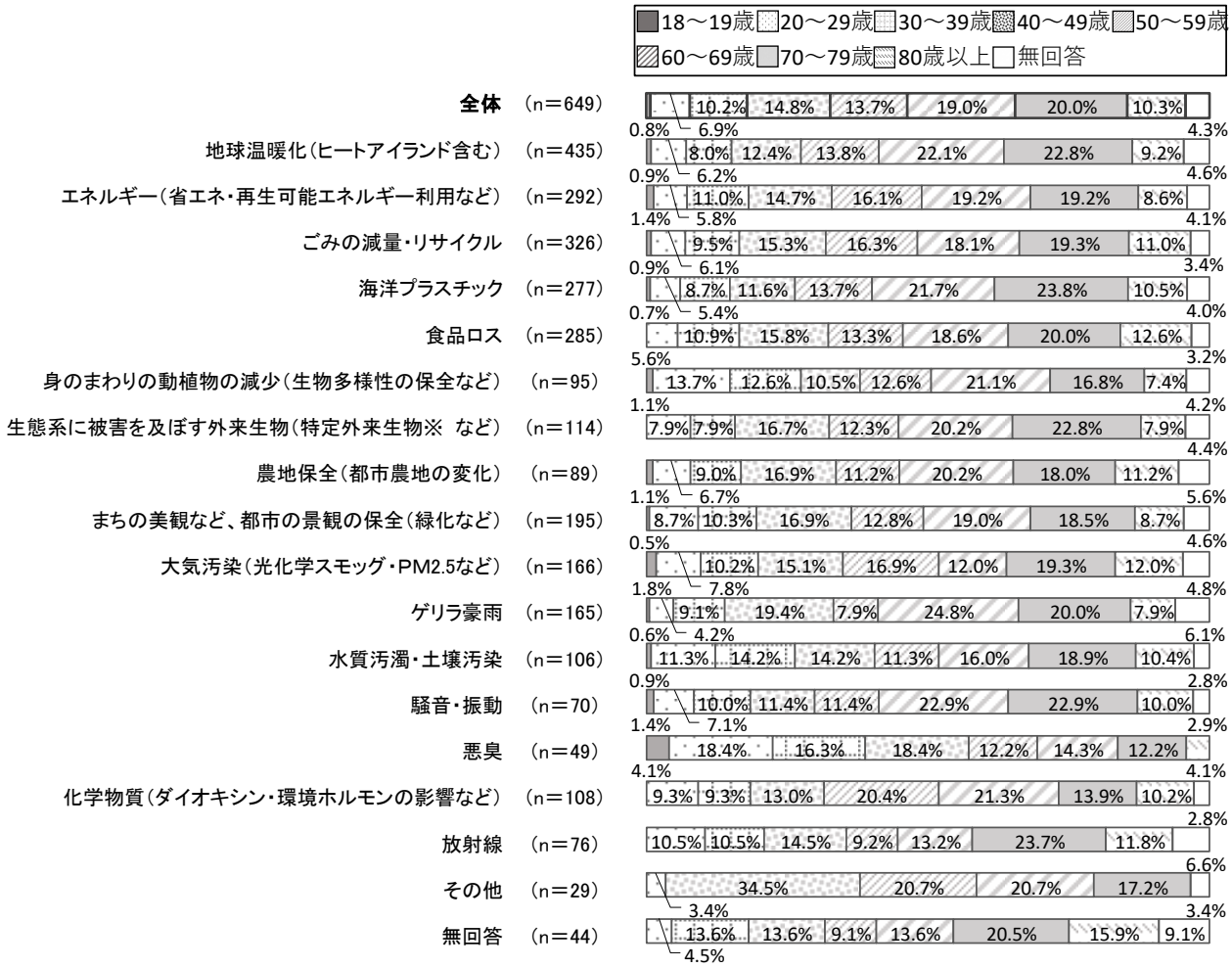
・　災害は起こるものと考えて、それについての十分な備え。
・　下水道の清浄（ごきぶりねずみの発生の率を減らす為）現在も取り組んでいる事は承知ですので、今後もぜひ続けて欲しい。都内に比べると、夜間の道での発見は少ないです。ありがたいです。
・　まちがった記載のある公立学校の歴史、公民の教科書の使用をやめる

（２）年代別集計

全体の年代構成比（図 II-８の最上部）と比較して、30 歳未満の比率が高い選択肢は、「身のまわりの動植物の減少（生物多様性の保全など）」や「水質汚濁・土壌汚染」、「悪臭」などであった。

また、30 歳以上 60 歳未満の比率が高い選択肢は、「大気汚染（光化学スモッグ・ＰM2.5 など）」や「悪臭」、「化学物質（ダイオキシン・環境ホルモンの影響など）」などであった。

さらに、60 歳以上の比率が高い選択肢は、「地球温暖化（ヒートアイランド含む）」や「海洋プラスチック」、「騒音・振動」などであった。



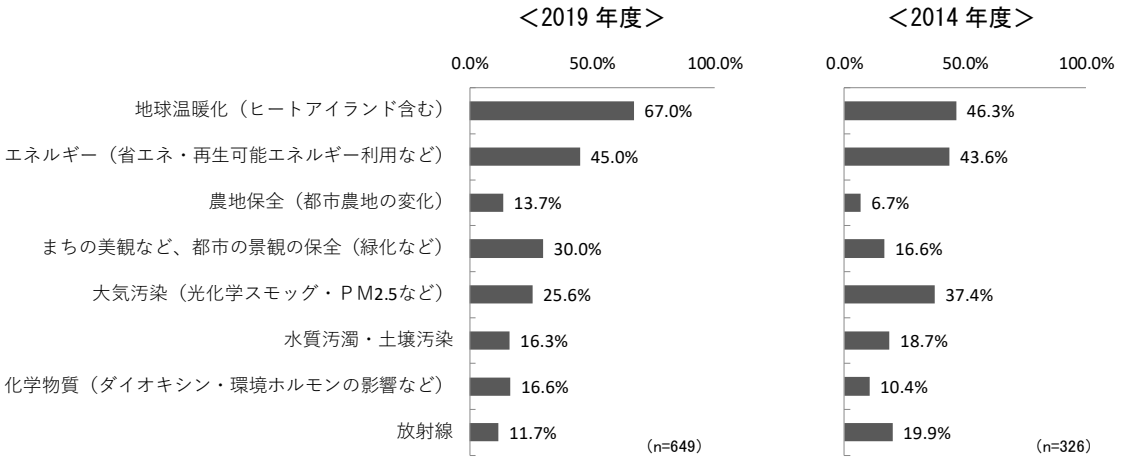
※外来生物（海外起源の外来種）であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から国により指定された生きもののこと。 例 アライグマ、オオキンケイギク など。

図 II-８　環境の課題（年代別）

（３）経年比較

2014 年度の「環境」に関する市民アンケートでも同じ質問をしているため、今回と共通する選択肢を抽出して結果を比較した。なお、用意した選択肢の種類や選択できる数の設定が異なり、選択した人の割合の絶対値を比較することはできないため、ここでは相対的な比較のみを行った。

その結果、「地球温暖化（ヒートアイランド含む）」や「農地保全（都市農地の変化）」、「まちの美観など、都市の景観の保全（緑化など）」を選択した人の割合が増加し、「大気汚染（光化学スモッグ・PM2.5 など）」や「放射線」を選択した人の割合が減少していた。



注）用意した選択肢の種類や選択できる数の設定が異なるため、選択した人の割合の絶対値を比較することはできない。

図 II-９　環境の課題の経年比較

３ ＳＤＧｓの認知度について

問２　現在、2030 年までの国際的な目標である「持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）」に基づき、官民問わず、世界中の様々な主体が取り組みを進めていますが、あなたは、ＳＤＧｓについてご存知ですか。あてはまるものを１つ選び、番号に〇を付けてください。

（１）単純集計

ＳＤＧｓの認知度は、「内容まで知っている」、「聞いたことはある」を含めて、41.3%にとどまっており、「知らない」の 46.4%を下回っていた。

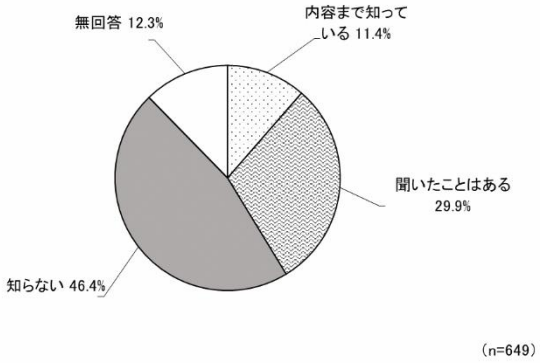


図 II-10　ＳＤＧｓの認知度

（２）年代別集計

ＳＤＧｓの認知度で、「内容まで知っている」と回答した割合が高いのは、10 代、50 代、20 代の順であった。ただし、10 代、20 代については、「知らない」と回答した割合も高く、二極化していることがうかがえる。

また、「内容まで知っている」と回答した割合が低いのは、70 代、60 代、80 代以上の順であった。

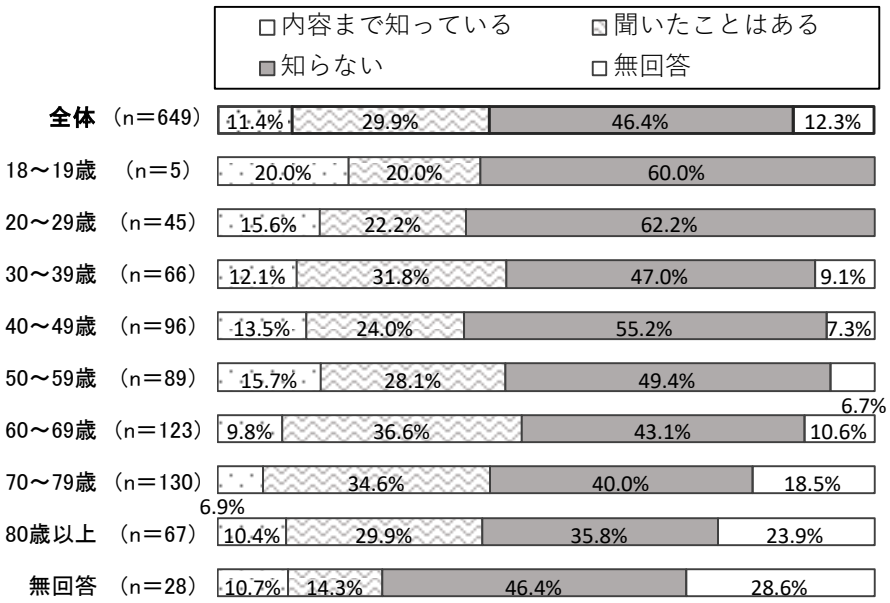


図 II-11　ＳＤＧｓの認知度（年代別）

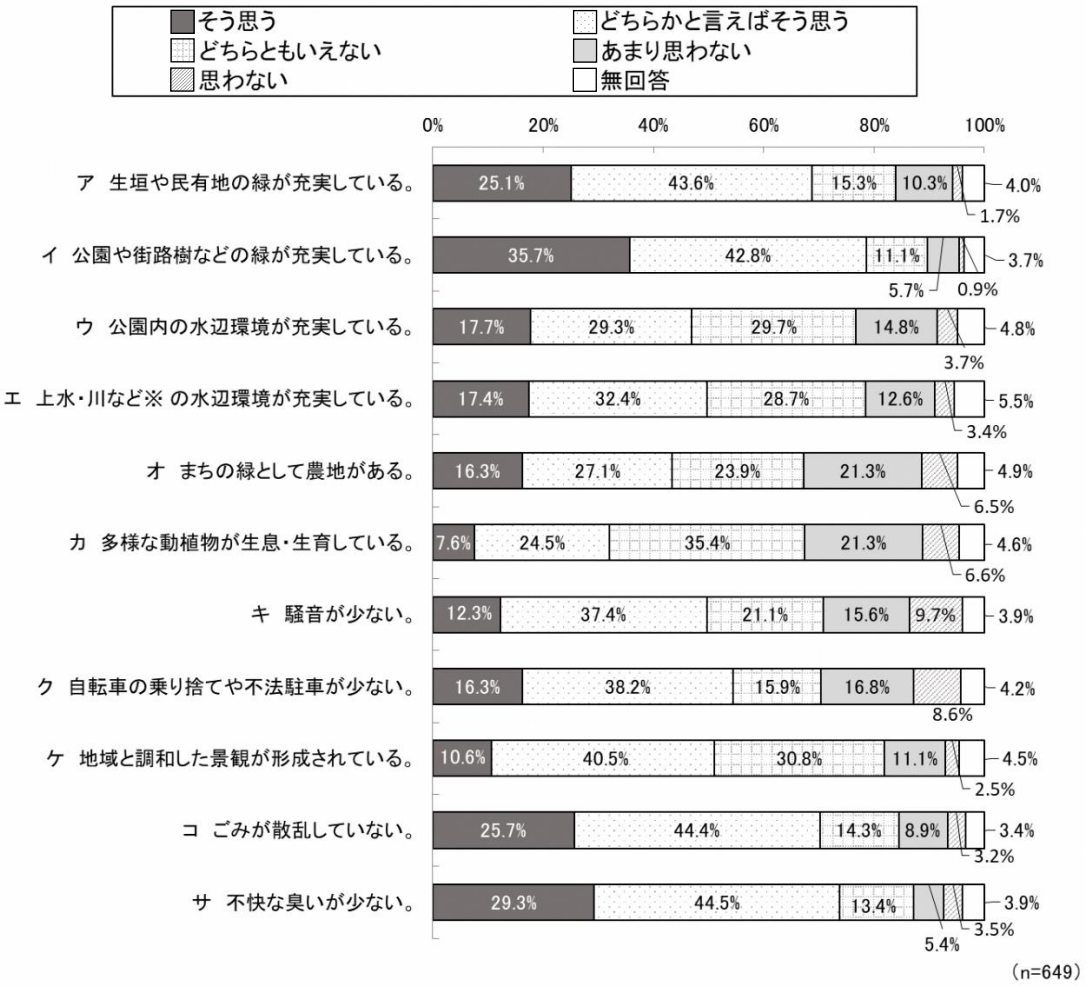
４ 地域の環境について

問３　現在お住まいの地域の環境について伺います。以下の各項目に対して、日ごろの暮らしのなかで感じていることに最も近いものをそれぞれ１つ選び、番号に〇を付けてください。

（１）単純集計

地域の環境について、「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」を合わせて回答が多かったのは、「イ　公園や街路樹などの緑が充実している」、「サ　不快な匂いが少ない」、「コ　ごみが散乱していない」の順であった。

一方、「思わない」、「あまり思わない」を合わせて回答が多かったのは、「カ　多様な動植物が生息・生育している」、「オ　まちの緑として農地がある」、「ク　自転車の乗り捨てや不法駐車が少ない」の順であった。



※玉川上水、千川上水、仙川 など。

図 II-12　地域の環境

（２）地域別集計

アからサの各項目について、「そう思う」の比率が高い地域（上位３）、低い地域（下位３）を以下に示す。

ア 生垣や民有地の緑が充実している。

高い地域：桜堤、緑町、境　　低い地域：吉祥寺本町、中町、御殿山

イ 公園や街路樹などの緑が充実している。

高い地域：緑町、御殿山、桜堤　　低い地域：吉祥寺本町、吉祥寺東町、吉祥寺南町

ウ 公園内の水辺環境が充実している。

高い地域：御殿山、吉祥寺南町、桜堤　　低い地域：西久保、境南町、中町

エ 上水・川などの水辺環境が充実している。

高い地域：御殿山、桜堤、緑町　　低い地域：境南町、吉祥寺南町、中町

オ まちの緑として農地がある。

高い地域：境、吉祥寺北町、関前　　低い地域：吉祥寺南町、中町、吉祥寺東町

カ 多様な動植物が生息・生育している。

高い地域：吉祥寺北町、桜堤、御殿山　　低い地域：吉祥寺東町、吉祥寺南町、境南町

キ 騒音が少ない。

高い地域：吉祥寺北町、八幡町、御殿山　　低い地域：吉祥寺東町、西久保、緑町

ク 自転車の乗り捨てや不法駐車が少ない。

高い地域：境南町、吉祥寺南町、吉祥寺北町、境　　低い地域：吉祥寺本町、桜堤、中町

ケ 地域と調和した景観が形成されている。

高い地域：境南町、吉祥寺北町、緑町　　低い地域：吉祥寺本町、吉祥寺東町、西久保

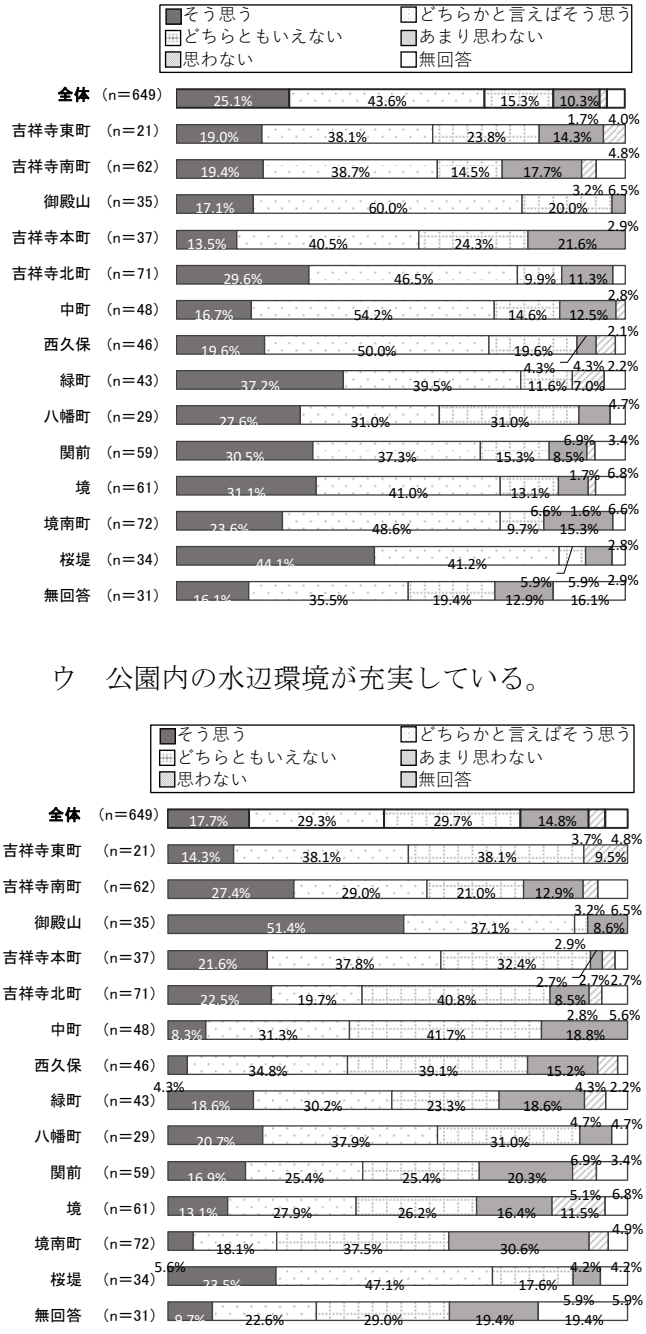
コ ごみが散乱していない。

高い地域：吉祥寺北町、境南町、緑町　　低い地域：吉祥寺本町、八幡町、吉祥寺東町

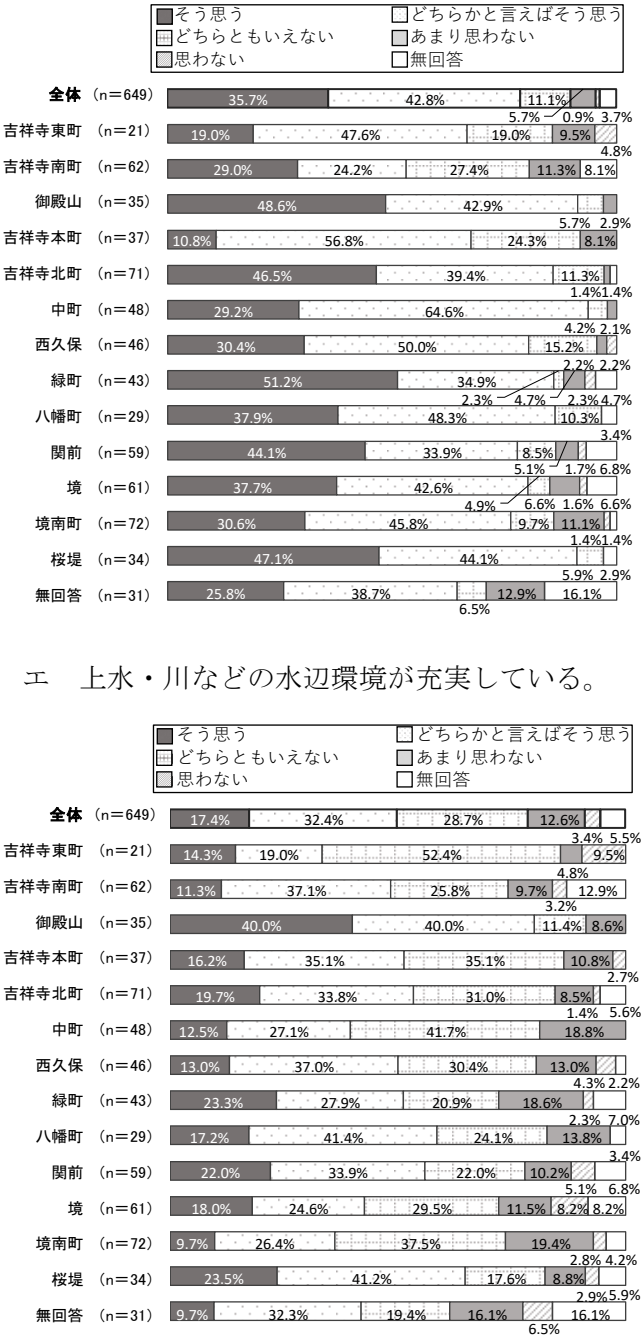
サ 不快な臭いが少ない。

高い地域：境南町、吉祥寺北町、緑町　　低い地域：吉祥寺本町、八幡町、吉祥寺東町

ア　生垣や民有地の緑が充実している。



イ　公園や街路樹などの緑が充実している。

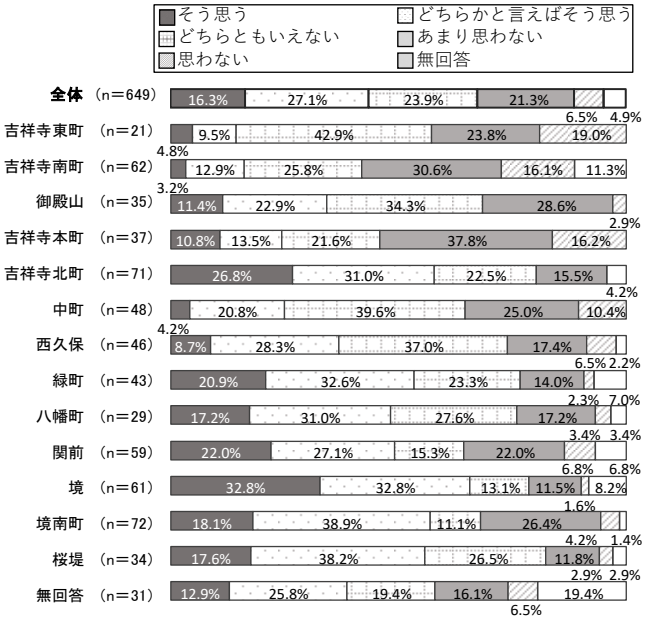


ウ　公園内の水辺環境が充実している。

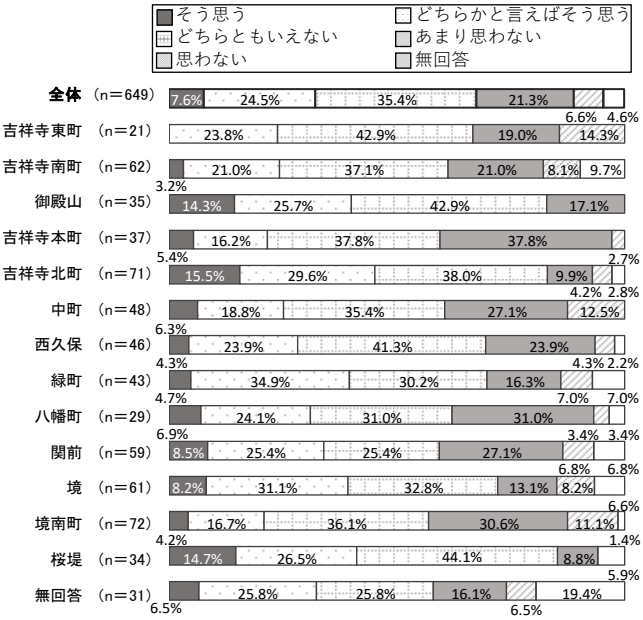
エ　上水・川などの水辺環境が充実している。

図 II-13(1)　地域の環境（地域別）

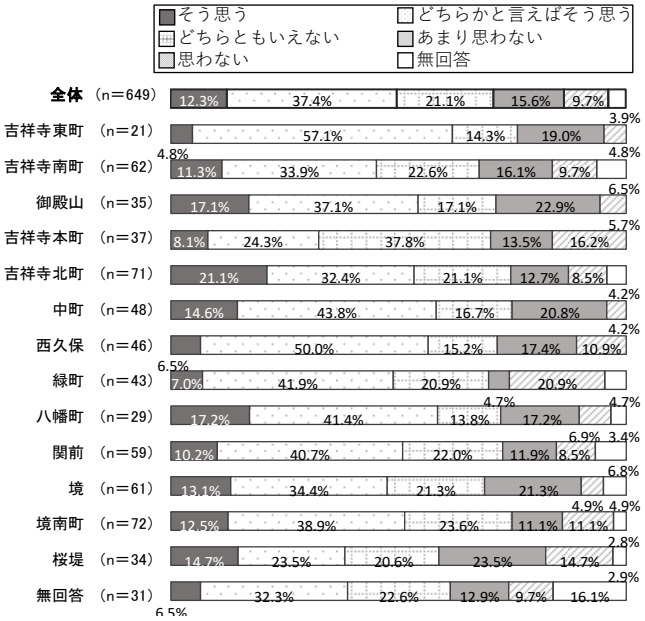
オ　まちの緑として農地がある。



カ　多様な動植物が生息・生育している。



キ　騒音が少ない。



ク　自転車の乗り捨てや不法駐車が少ない。

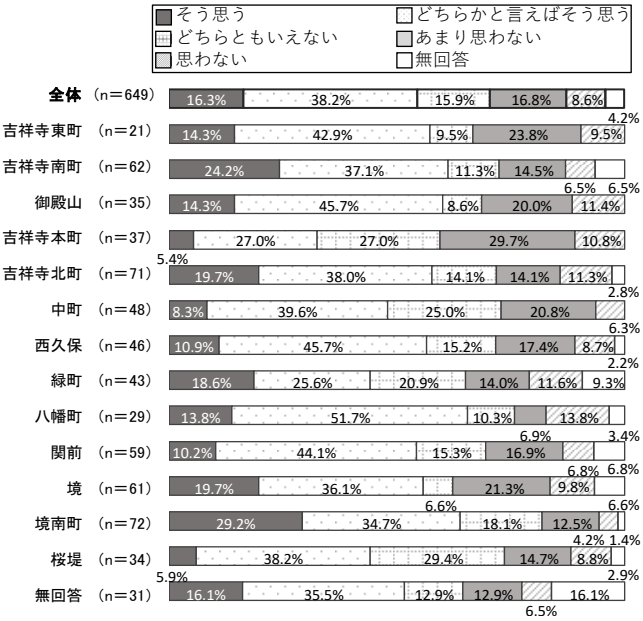
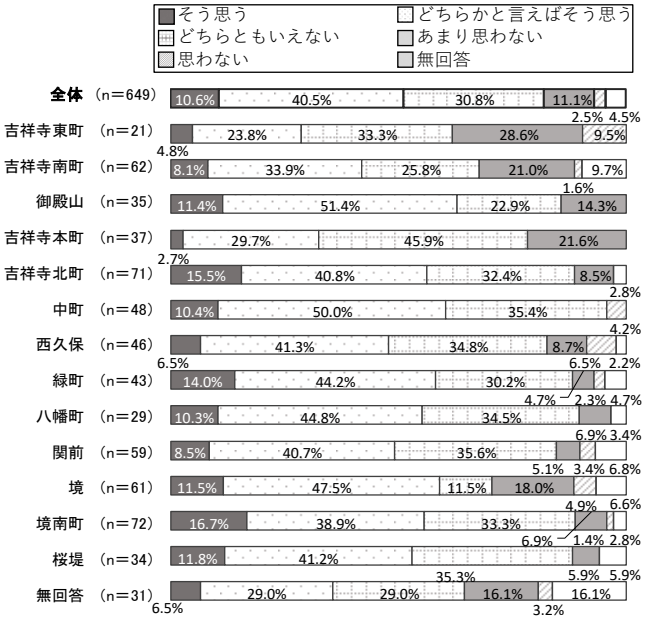
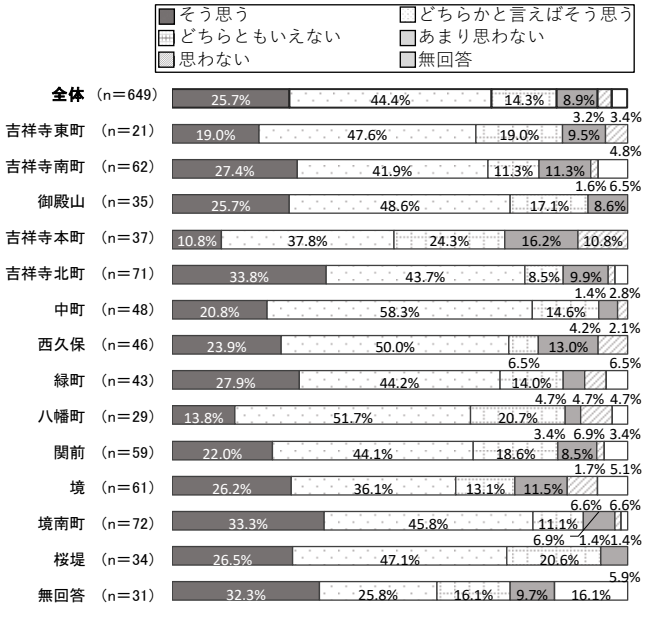


図 II-13(2)　地域の環境（地域別）

ケ　地域と調和した景観が形成されている。



コ　ごみが散乱していない。



サ　不快な臭いが少ない。

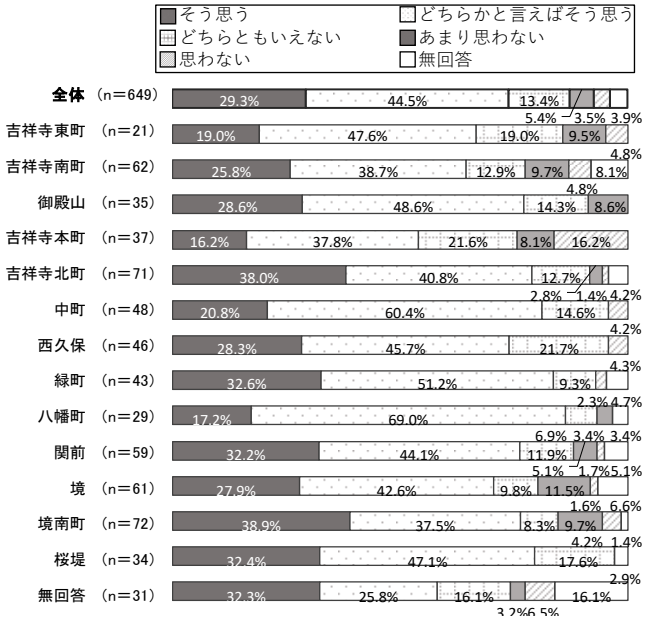


図 II-13(3)　地域の環境（地域別）

5 回答者の環境への取り組みについて

問４　以下は、環境に配慮した取り組みの例です。各項目の「現在の取り組み状況」にあてはまるものをそれぞれ１つ選び、番号に〇を付けてください。また、「今後の取り組みの意向」についても同様に、あてはまるもの１つに〇を付けてください。各項目で該当しない場合（機器を持っていないなど）、何も記入しないでください。

（1）日常での省エネ

1）単純集計

日常での省エネで、「いつも取り組んでいる」という回答が多かったのは、「イ　不要な照明は、こまめに消している」、「ア　冷暖房効果を高めるように心がけている」の順であった。

一方、「いつも取り組んでいる」という回答が少なかったのは、「エ　夏季は自宅や職場などで打ち水を行っている」、「ウ　日々の電気、ガス、水道の使用量を把握し、必要に応じて見直すための記録をとっている」の順であった。

今後の取り組みの意向については、いずれも、「いつも取り組んでいる」より「取り組んでいきたい」の方が増加していたが、「エ　夏季は自宅や職場などで打ち水を行っている」は、「取り組みは難しそう」という回答が 46.7%を占めていた。

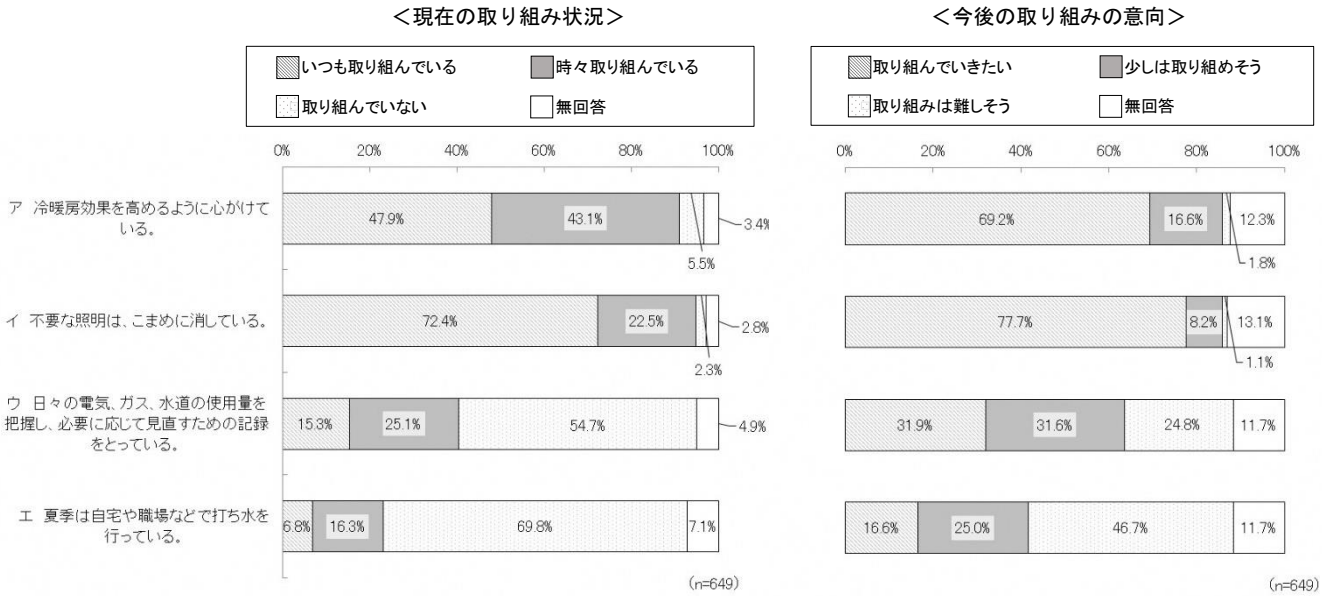


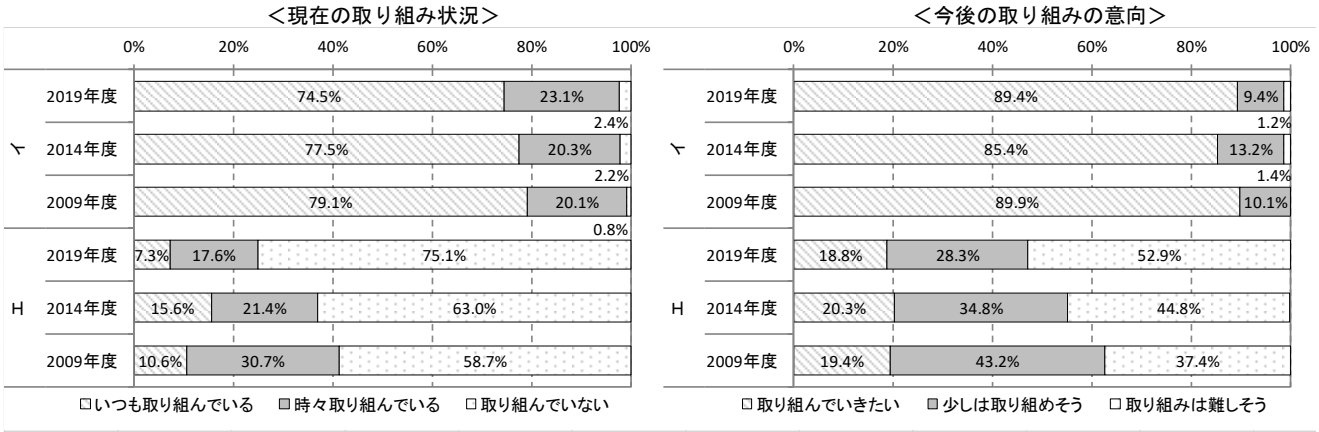
図 II-14　日常での省エネ

２）経年比較

2009 年度、2014 年度の「環境」に関する市民アンケートでも同じ質問をしているため、今回と共通する項目を抽出して結果を比較した。なお、集計方法による違いをなくすため、ここでは無回答・無効回答をすべて除外して各回答の割合を比較した。

その結果、「いつも取り組んでいる」という回答は、「イ　不要な照明は、こまめに消している」、「エ　夏季は自宅や職場などで打ち水を行っている」ともに減少傾向にあった。

ただし、今後の取り組みの意向の「取り組んでいきたい」という回答については、ともに大きく変わらなかった。



イ　不要な照明は、こまめに消している。
エ　夏季は自宅や職場などで打ち水を行っている。
（2009 年度、2014 年度には「自宅や職場などで打ち水を行っている（イベントへの参加を含む）」という設問であった）

図 II-15　日常での省エネの経年比較

（２）環境に配慮した商品の選択

１）単純集計

環境に配慮した商品の選択で、「いつも取り組んでいる」という回答が多かったのは、「ア 電球が切れた時は、省エネ効果の高いＬＥＤランプ、電球型蛍光灯に交換している」、「イ 家電製品購入時は、省エネ性能を重視している」の順であった。

一方、「いつも取り組んでいる」という回答が少なかったのは、「エ 環境に配慮した生活用品であることを示すエコマークや、適切な森林管理に基づく紙製品、家具などであることを示すＦＳＣ認証マークなどがついた製品を選んで購入している」、「ウ 旬の食材や地場の食材などを選んで消費している（地産地消）」の順であった。

今後の取り組みの意向については、いずれも、「いつも取り組んでいる」より「取り組んでいきたい」の方が増加していた。

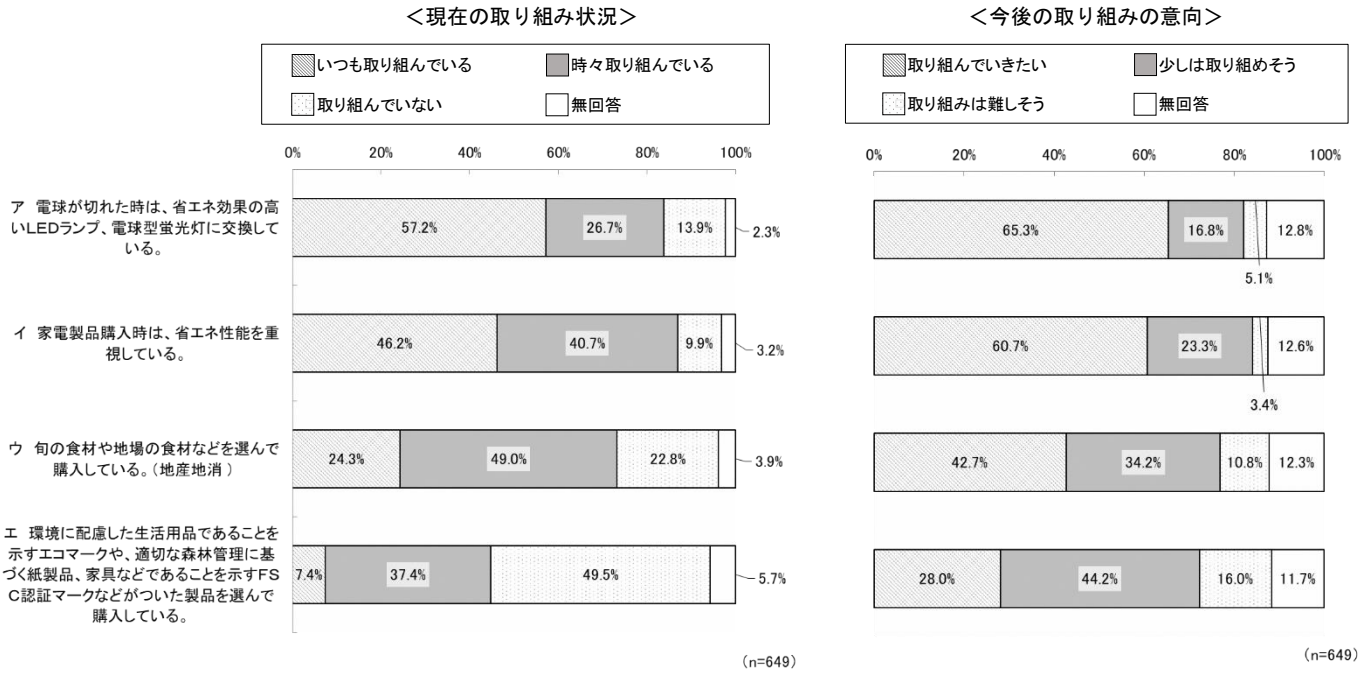


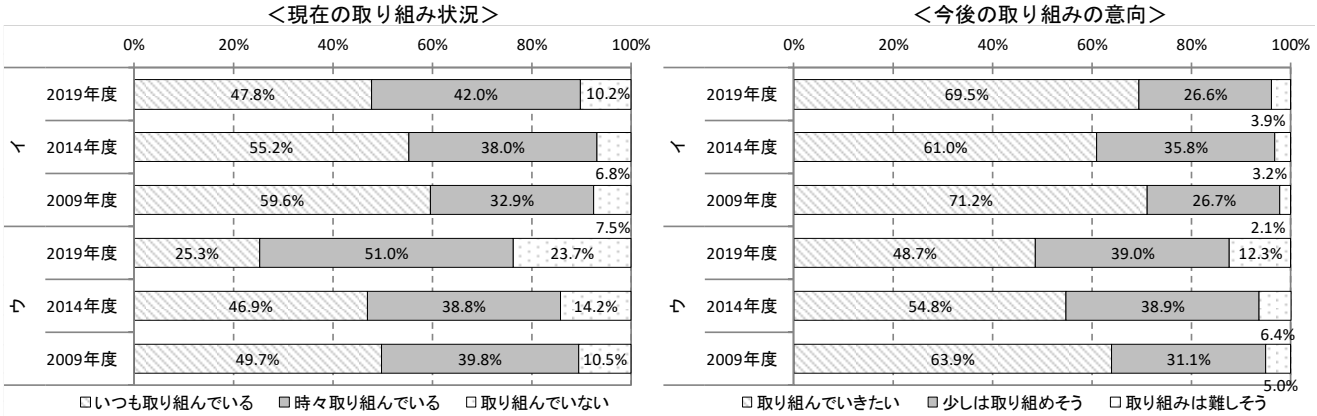
図 II-16　環境に配慮した商品の選択

２）経年比較

2009 年度、2014 年度の「環境」に関する市民アンケートでも同じ質問をしているため、今回と共通する項目を抽出して結果を比較した。なお、集計方法による違いをなくすため、ここでは無回答・無効回答をすべて除外して各回答の割合を比較した。

その結果、「いつも取り組んでいる」という回答は、「イ　家電製品購入時は、省エネ性能を重視している」、「ウ　旬の食材や地場の食材などを選んで購入している（地産地消）」ともに減少傾向にあった。

ただし、今後の取り組みの意向の「取り組んでいきたい」という回答については、ともに減少傾向は緩やかであった。



イ　家電製品購入時は、省エネ性能を重視している。
ウ　旬の食材や地場の食材などを選んで購入している。（地産地消）

図 II-17　環境に配慮した商品の選択の経年比較

（3）移動手段について

1）単純集計

移動手段について、「いつも取り組んでいる」という回答が最も多かったのは、「ア 移動の際は、できるだけ徒歩で移動したり自転車や公共交通機関を利用したりしている」であった。

一方、「いつも取り組んでいる」という回答が最も少なかったのは、「イ カーシェアリング（車の共同利用）やレンタサイクルを利用している」であった。

今後の取り組みの意向については、「イ カーシェアリング（車の共同利用）やレンタサイクルを利用している」、「ウ 自動車の購入、買い替えの際に、低燃費車やハイブリッド車、電気自動車、燃料電池車など環境配慮型の車種を選択している」は、「いつも取り組んでいる」より「取り組んでいきたい」の方が増加していた。

一方、「ア 移動の際は、できるだけ徒歩で移動したり自転車や公共交通機関を利用したりしている」は、「いつも取り組んでいる」と「取り組んでいきたい」の数がほとんど変わらず、既にできる限りの取り組みが行われていることがうかがえる。

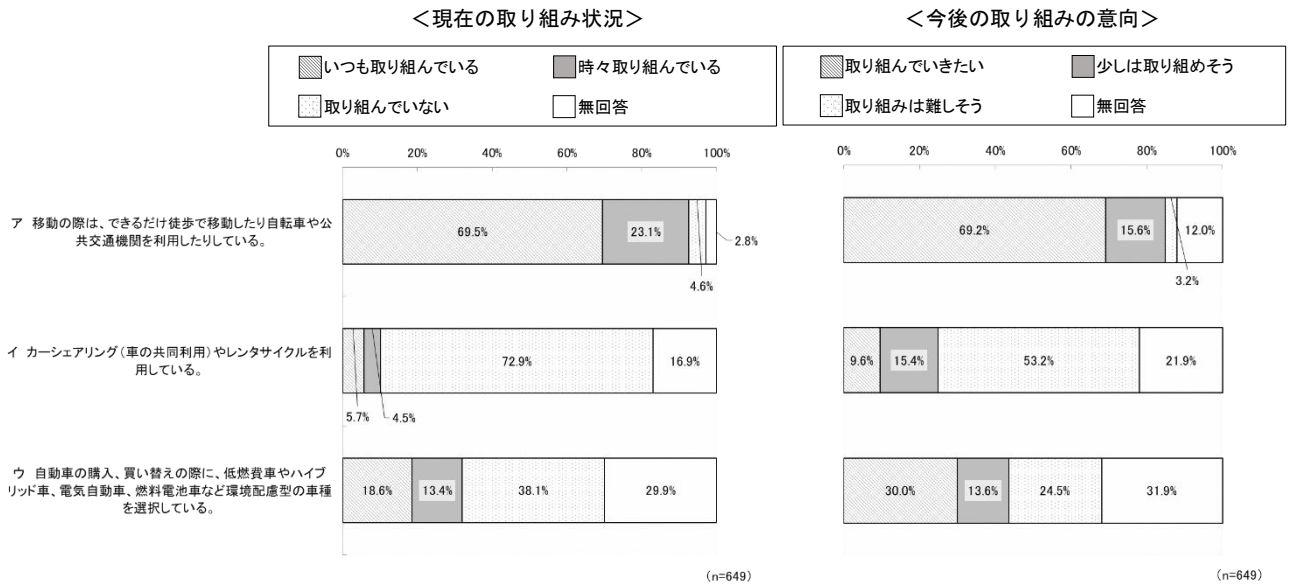


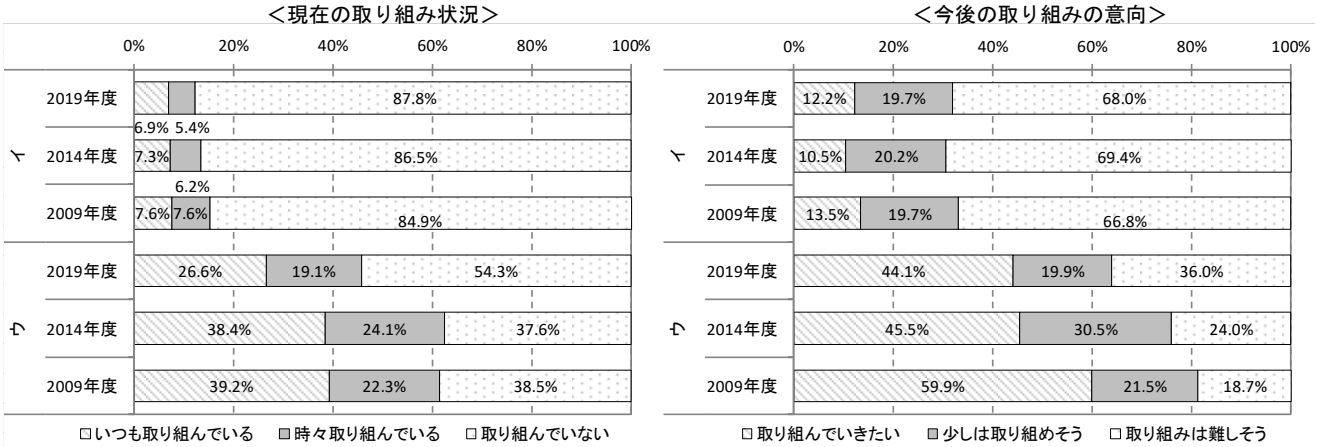
図 II-18 移動手段について

2）経年比較

2009 年度、2014 年度の「環境」に関する市民アンケートでも同じ質問をしているため、今回と共通する項目を抽出して結果を比較した。なお、集計方法による違いをなくすため、ここでは無回答・無効回答をすべて除外して各回答の割合を比較した。

その結果、「いつも取り組んでいる」という回答は、「イ　カーシェアリング（車の共同利用）やレンタサイクルを利用している」、「ウ　自動車の購入、買い替えの際に、低燃費車やハイブリッド車、電気自動車、燃料電池車など環境配慮型の車種を選択している」ともに減少傾向にあった。

また、今後の取り組みの意向の「取り組んでいきたい」という回答についても、概ね同様の傾向であった。



イ　カーシェアリング（車の共同利用）やレンタサイクルを利用している。
ウ　自動車の購入、買い替えの際に、低燃費車やハイブリッド車、電気自動車、燃料電池車など環境配慮型の車種を選択している。
（2009 年度、2014 年度には「自動車買い替え時、低燃費車やハイブリッド車など環境に配慮した自動車を選択している」という設問であった）

図 II-19　移動手段についての経年比較

（4）ごみの減量・リサイクル

1）単純集計

ごみの減量・リサイクルで、「いつも取り組んでいる」という回答が多かったのは、「ウ 食材や食品を食べきれる分だけ購入するなど、食べ残しがでないように心がけている」、「イ マイボトル、マイバックを活用している」の順であった。

一方、「いつも取り組んでいる」という回答が少なかったのは、「カ 生ごみを家庭で処理している（コンポストを利用した堆肥化など）」、「オ 家具や洋服などの交換・再利用を行っている」の順であった。

今後の取り組みの意向については、いずれも、「いつも取り組んでいる」より「取り組んでいきたい」の方が増加していたが、「カ 生ごみを家庭で処理している（コンポストを利用した堆肥化など）」は、「取り組みは難しそう」という回答が 62.6%を占めていた。

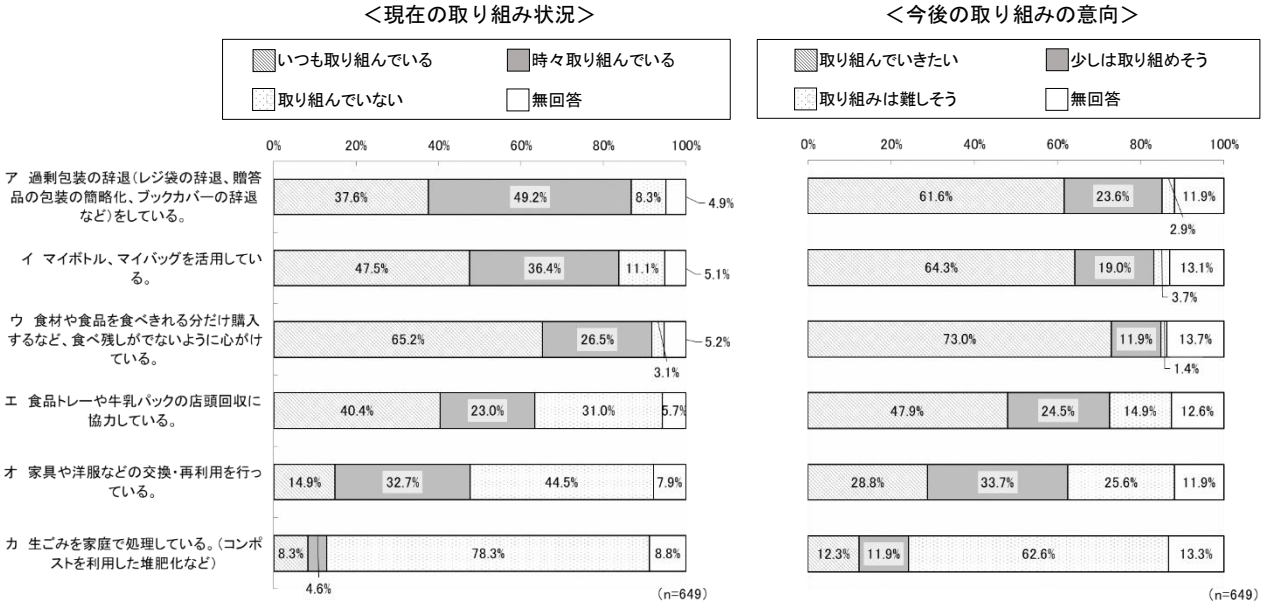


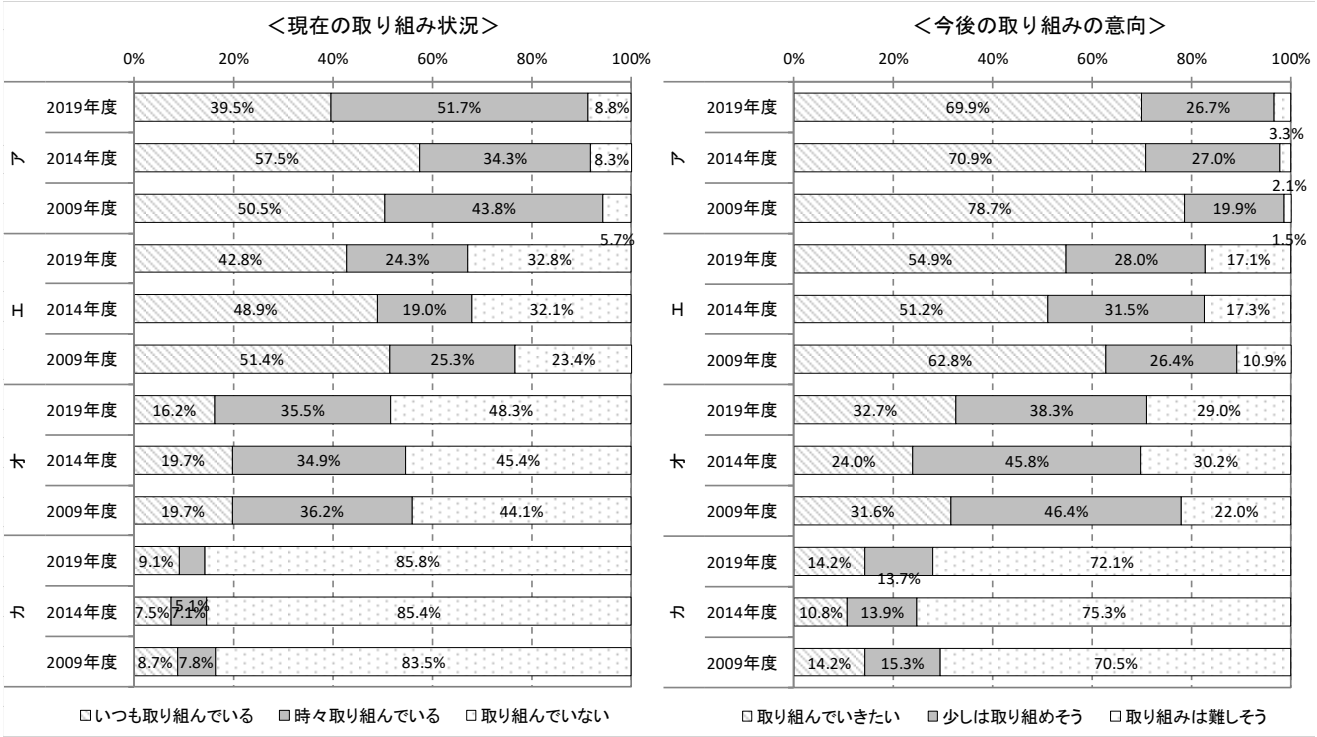
図 II-20　ごみの減量・リサイクル

2）経年比較

2009 年度、2014 年度の「環境」に関する市民アンケートでも同じ質問をしているため、今回と共通する項目を抽出して結果を比較した。なお、集計方法による違いをなくすため、ここでは無回答・無効回答をすべて除外して各回答の割合を比較した。

その結果、「いつも取り組んでいる」という回答は、「カ 生ごみを家庭で処理している（コンポストを利用した堆肥化など)」を除き、いずれも減少傾向にあった。なお、「カ」については、設問中の「庭に穴を掘って埋めるなど」を「コンポストを利用した堆肥化など」に変更したことが、増加の要因の可能性がある。

また、今後の取り組みの意向の「取り組んでいきたい」という回答についても、「オ 家具や洋服などの交換・再利用を行っている」を除き、概ね同様の傾向であった。



ア　過剰包装の辞退（レジ袋の辞退、贈答品の包装の簡略化、ブックカバーの辞退など）をしている。
（2009 年度、2014 年度には「過剰包装の辞退（レジ袋の辞退、贈答品の包装の簡略化、ブックカバーの辞退など）をしている。（最近 1 カ月間)」という設問であった）
エ　食品トレーや牛乳パックの店頭回収に協力している。
オ　家具や洋服などの交換・再利用を行っている。
カ　生ごみを家庭で処理している。（コンポストを利用した堆肥化など）
（2009 年度、2014 年度には「生ごみを家庭で処理している（庭に穴を掘って埋めるなど)」という設問であった）

図 II-21　ごみの減量・リサイクルの経年比較

（5）自然環境・生物多様性への配慮

1）単純集計

自然環境・生物多様性への配慮で、「いつも取り組んでいる」という回答が最も多かったのは、「ア 庭木、花、樹木などについて、自宅に緑を植栽するなど、自然環境に配慮している」であった。

一方、「いつも取り組んでいる」という回答が最も少なかったのは、「ウ 公園の花壇整備などの活動に参加している」で、2.2%のみであった。

今後の取り組みの意向については、いずれも、「いつも取り組んでいる」より「取り組んでいきたい」の方が増加していたが、「ウ 公園の花壇整備などの活動に参加している」は、「取り組みは難しそう」という回答が 65.2%を占めていた。

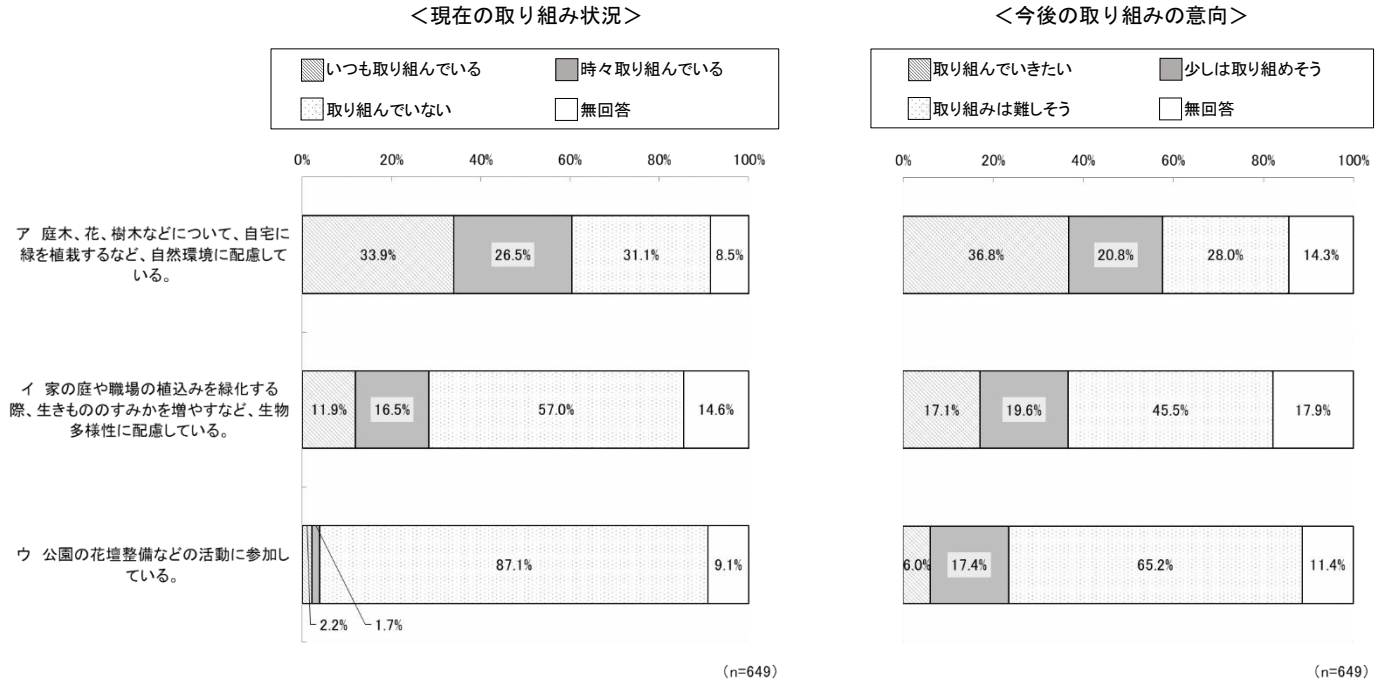


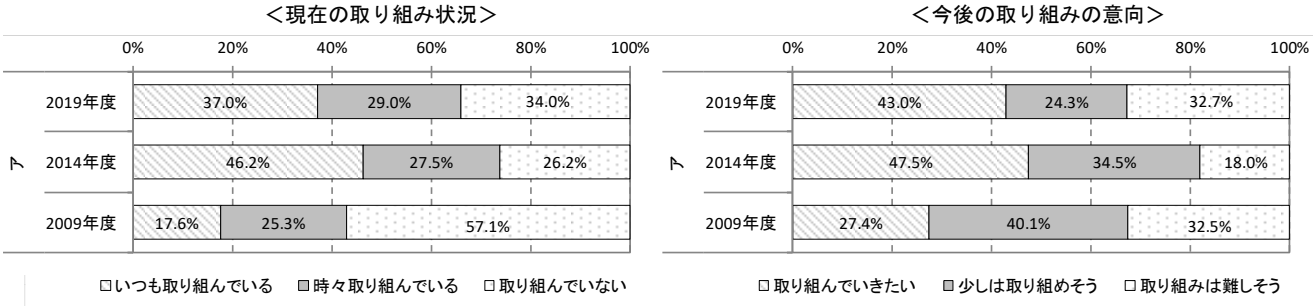
図 II-22 自然環境・生物多様性への配慮

２）経年比較

2009 年度、2014 年度の「環境」に関する市民アンケートでも同じ質問をしているため、今回と共通する項目を抽出して結果を比較した。なお、集計方法による違いをなくすため、ここでは無回答・無効回答をすべて除外して各回答の割合を比較した。

その結果、「ア 庭木、花、樹木などについて、自宅に緑を植栽するなど、自然環境に配慮している」について、「いつも取り組んでいる」という回答は、2014 年度に大幅に増加し、2019 年度にやや減少していた。

また、今後の取り組みの意向の「取り組んでいきたい」という回答についても、概ね同様の傾向であった。



ア　庭木、花、樹木などについて、自宅に緑を植栽するなど、自然環境に配慮している。

図 II-23　自然環境・生物多様性への配慮の経年比較

（６）水環境への配慮

１）単純集計

水環境への配慮で、「いつも取り組んでいる」という回答が最も多かったのは、「ア 水道を使う際には、節水を心がけている」であった。

一方、「いつも取り組んでいる」という回答が最も少なかったのは、「ウ 自宅で雨水浸透や雨水再利用を行っている」であった。

今後の取り組みの意向については、いずれも、「いつも取り組んでいる」より「取り組んでいきたい」の方が増加していたが、「ウ 自宅で雨水浸透や雨水再利用を行っている」は、「取り組みは難しそう」という回答が 65.8%を占めていた。

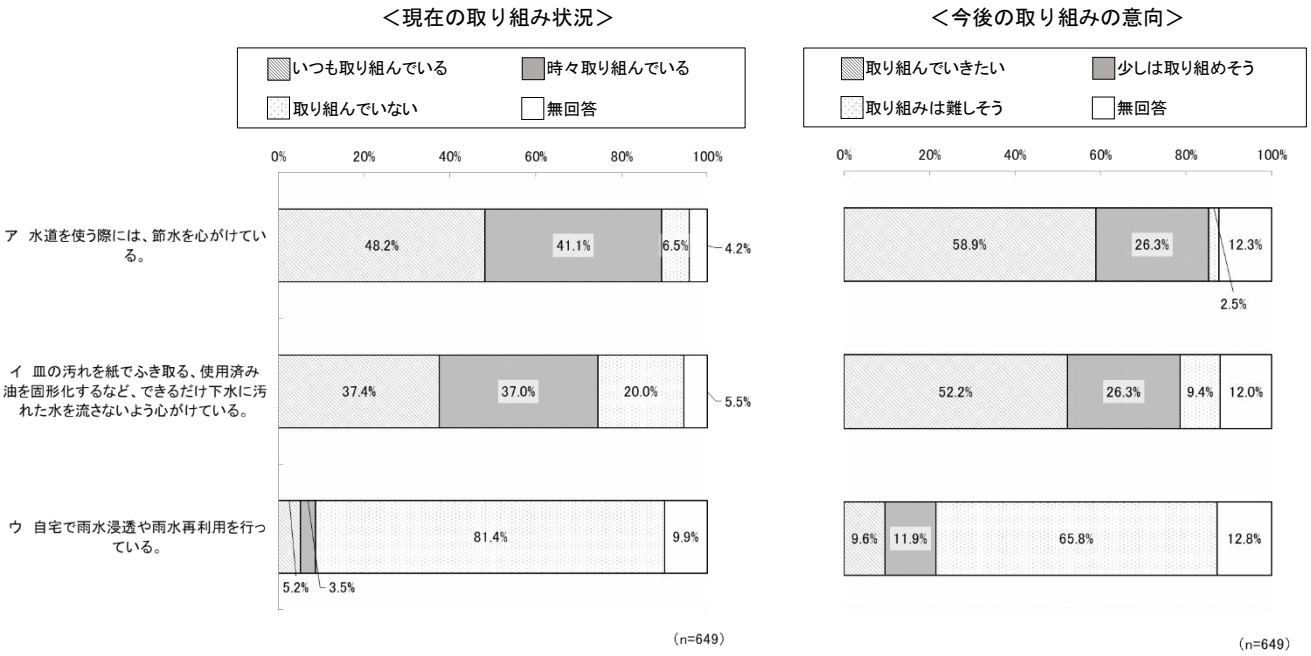


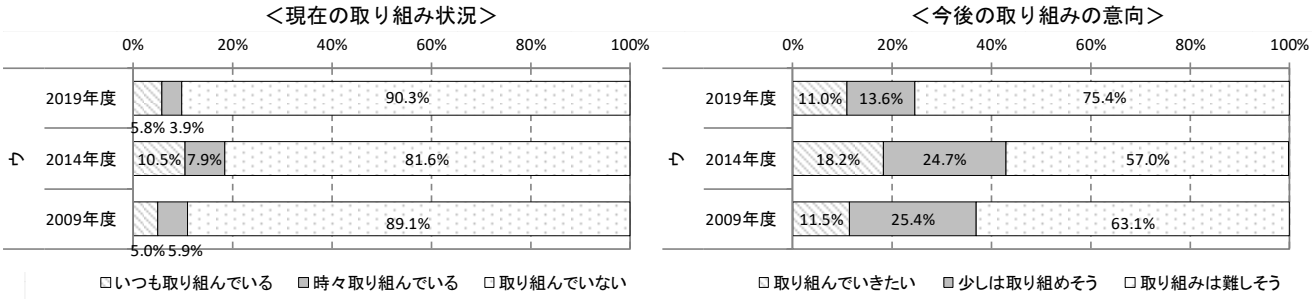
図 II-24 水環境への配慮

２）経年比較

2009 年度、2014 年度の「環境」に関する市民アンケートでも同じ質問をしているため、今回と共通する項目を抽出して結果を比較した。なお、集計方法による違いをなくすため、ここでは無回答・無効回答をすべて除外して各回答の割合を比較した。

その結果、「ウ 自宅で雨水浸透や雨水再利用を行っている」について、「いつも取り組んでいる」という回答は、2014 年度に大幅に増加し、2019 年度に減少していた。

また、今後の取り組みの意向の「取り組んでいきたい」という回答についても、概ね同様の傾向であった。



ウ　自宅で雨水浸透や雨水再利用を行っている。
（2009 年度、2014 年度には「自宅で雨水浸透や雨水利用・活用を行っている」という設問であった）

図 II-25　水環境への配慮の経年比較

（7）環境学習

1）単純集計

環境学習で、「いつも取り組んでいる」という回答は、いずれも２％にも満たなかった。

今後の取り組みの意向については、いずれも、「いつも取り組んでいる」より「取り組んでいきたい」の方が増加していたが、「取り組みは難しそう」という回答が 59.9％以上を占めていた。

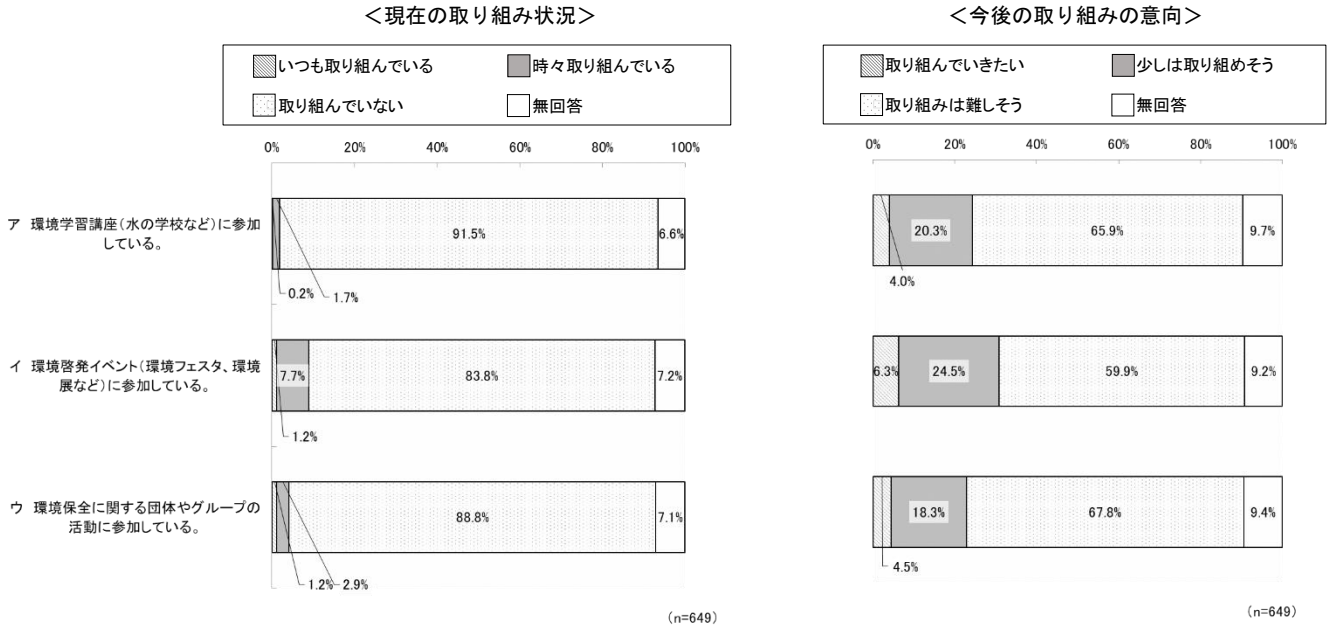


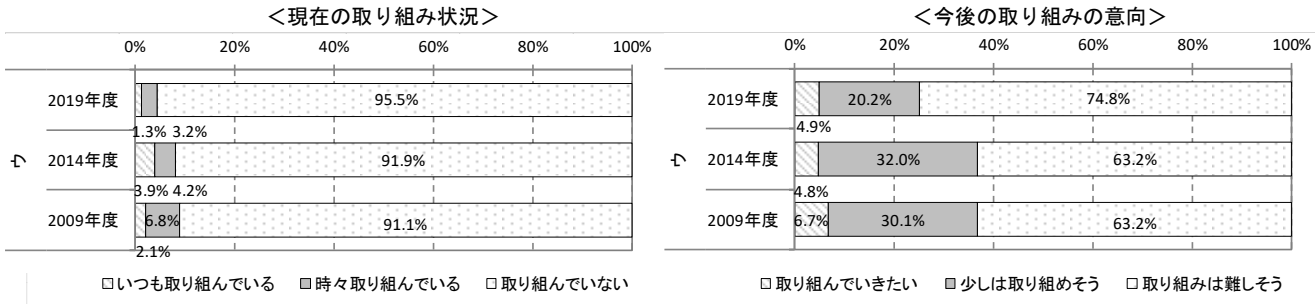
図 II-26　環境学習

２）経年比較

2009 年度、2014 年度の「環境」に関する市民アンケートでも同じ質問をしているため、今回と共通する項目を抽出して結果を比較した。なお、集計方法による違いをなくすため、ここでは無回答・無効回答をすべて除外して各回答の割合を比較した。

その結果、「ウ 環境保全に関する団体やグループの活動に参加している」について、「いつも取り組んでいる」という回答は、2014 年度に大幅に増加し、2019 年度に大幅に減少していた。

ただし、今後の取り組みの意向の「取り組んでいきたい」という回答については、減少傾向は緩やかであった。



ウ　環境保全に関する団体やグループの活動に参加している。

図 II-27　環境学習の経年比較

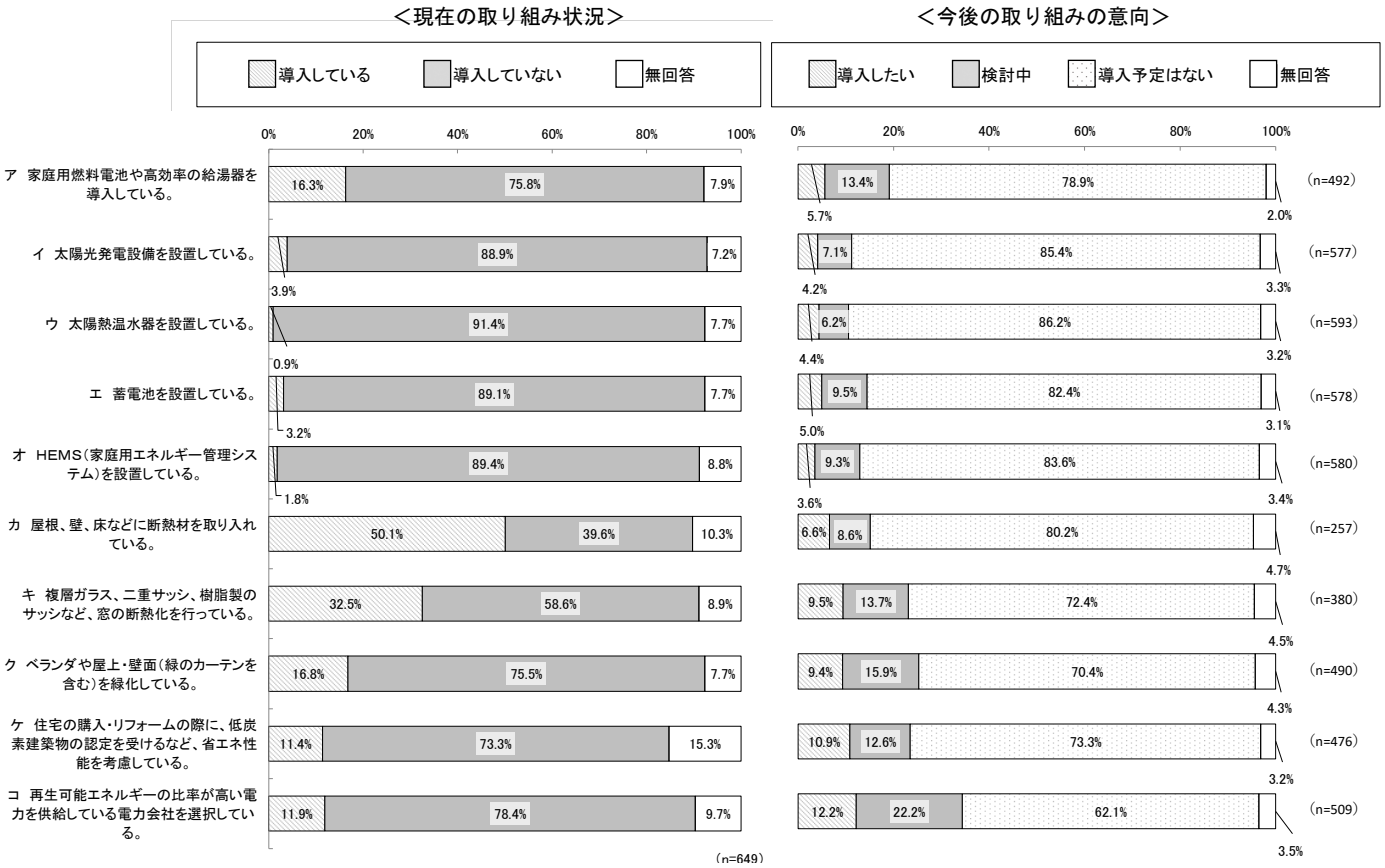
（８）住宅における省エネ・創エネ

１）単純集計

住宅における省エネ・創エネで、「導入している」という回答が多かったのは、「カ 屋根、壁、床などに断熱材を取り入れている」、「キ 複層ガラス、二重サッシ、樹脂製のサッシなど、窓の断熱化を行っている」の順であった。

一方、「導入している」という回答が少なかったのは、「ウ 太陽熱温水器を設置している」、「オ ＨＥＭＳ（家庭用エネルギー管理システム）を設置している」の順で、どちらも２％にも満たなかった。

今後の取り組みの意向については、現在の取り組み状況で「導入していない」と回答した方のみが回答しており、多くの項目では「導入予定はない」が 70%以上を占めているが、「コ 再生可能エネルギーの比率が高い電力を供給している電力会社を選択している」は、「導入したい」、「検討中」を合わせて 34.4%を占めていた。



注）＜今後の取り組みの意向＞は、＜現在の取り組み状況＞で「導入していない」と回答した方のみが回答している。

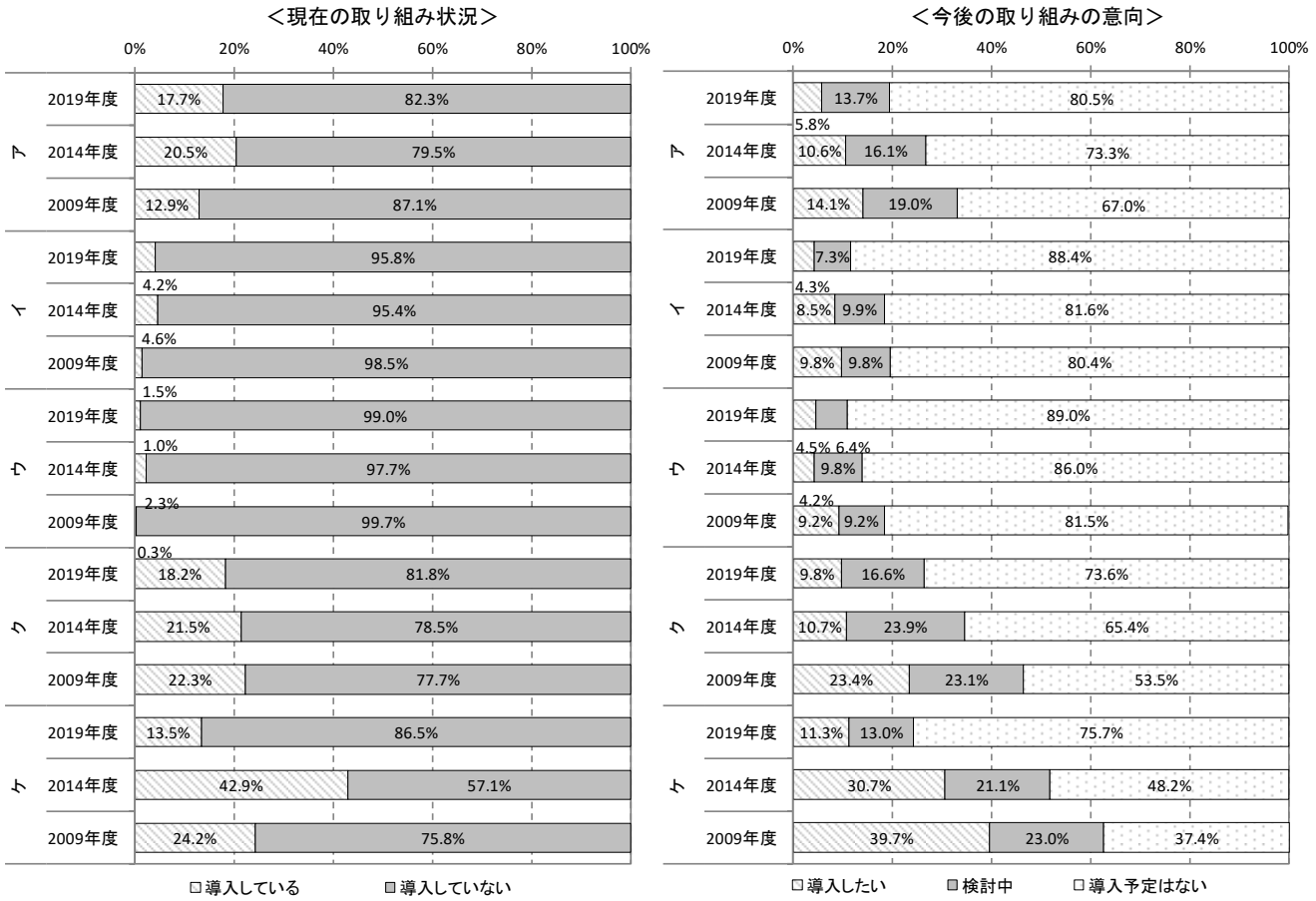
図 II-28　住宅における省エネ・創エネ

2）経年比較

2009 年度、2014 年度の「環境」に関する市民アンケートでも同じ質問をしているため、今回と共通する項目を抽出して結果を比較した。なお、集計方法による違いをなくすため、ここでは無回答・無効回答をすべて除外して各回答の割合を比較した。

その結果、「いつも取り組んでいる」という回答は、「ア 家庭用燃料電池や高効率の給湯器を導入している」、「イ 太陽光発電設備を設置している」、「ウ 太陽熱温水器を設置している」が 2014 年度に大幅に増加し、2019 年度にやや減少していた。また、「ク ベランダや屋上・壁面（緑のカーテンを含む）を緑化している」は減少傾向にあった。さらに、「ケ 住宅の購入・リフォームの際に、低炭素建築物の認定を受けるなど、省エネ性能を考慮している。」は、2014 年度に大幅に増加し、2019 年度に大幅に減少していた。なお、「ケ」については、設問中に「低炭素建築物の認定を受けるなど」を追加したことが、減少の要因の可能性がある。

また、今後の取り組みの意向の「取り組んでいきたい」という回答については、いずれも減少傾向であった。



ア　家庭用燃料電池や高効率の給湯器を導入している。
（2009 年度、2014 年度には「家庭用燃料電池や高効率の給湯器（エネファーム、エコキュート、エコジョーズ等）を導入する」という設問であった）
イ　太陽光発電設備を設置している。
ウ　太陽熱温水器を設置している。
ク　ベランダや屋上・壁面（緑のカーテンを含む）を緑化している。
（2009 年度、2014 年度には「ベランダや屋上・壁面（緑のカーテン等）を緑化する」という設問であった）
ケ　住宅の購入・リフォームの際に、低炭素建築物の認定を受けるなど、省エネ性能を考慮している。
（2009 年度、2014 年度には「住宅のリフォーム・購入の選定基準として、省エネ性能を考慮する」という設問であった）

図 II-29　住宅における省エネ・創エネの経年比較

６ 環境への取り組みを進めるために必要な情報について

問５　環境への取り組みを進めるために必要な情報について伺います。あなたは環境に関するどのような情報を得たいと思いますか。あてはまるものを全て選び、番号に○を付けてください。

（１）単純集計

環境への取り組みを進めるために必要な情報の回答が多かったのは、「起きている現象・被害についての情報」、「環境が私たちの生活に及ぼす影響についての情報」、「大気や水質などのデータ」の順であった。

一方、回答が少なかったのは、「環境についての市民団体やＮＰＯなどについての情報」、「体験型イベントについての情報」、「環境学習（シンポジウムや講習会・講座など）についての情報」の順であった。

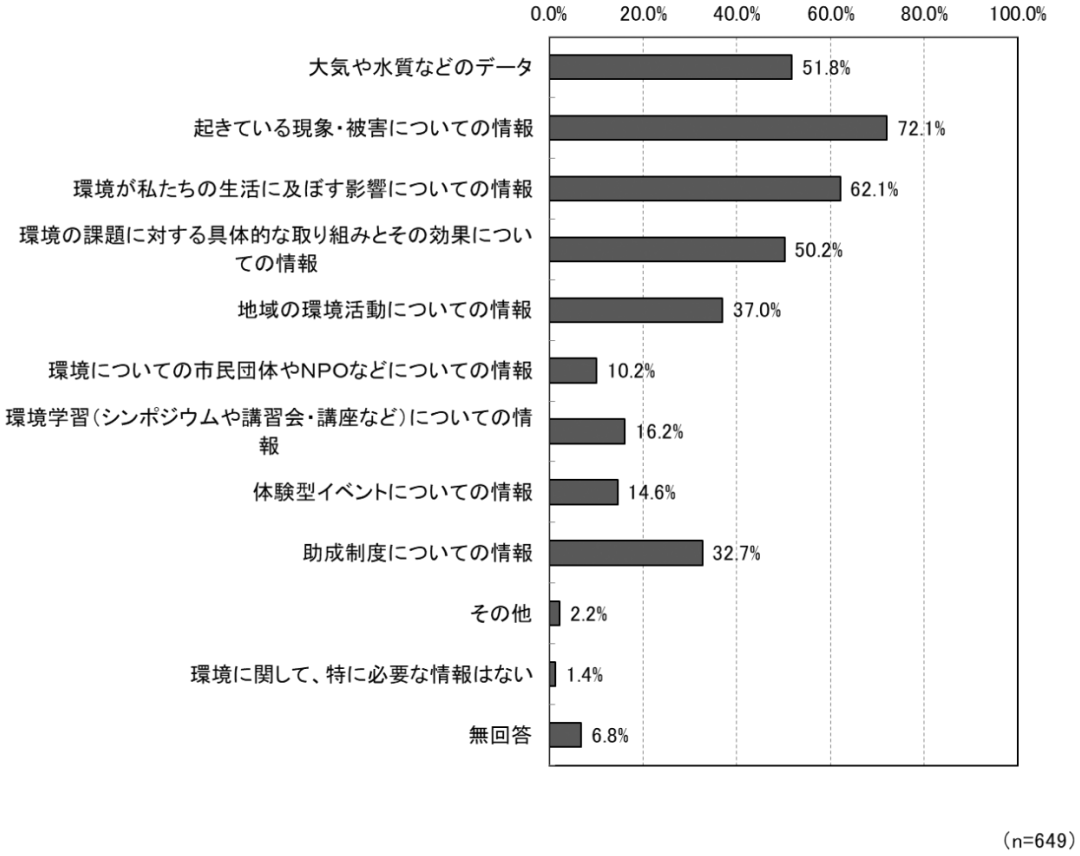


図 II-30　環境への取り組みを進めるために必要な情報

また、その他の回答を以下に示す。

＜市の取り組み＞
・　市の取組（国や都と比較できると尚良い）
・　市の環境宣言、数値目標

＜他の市区町村と比較したデータ＞
・　他の地域と比べて武蔵野市がどの程度か知りたいです。

＜正確な情報＞
・　科学的に正確な情報（ムードに流されない客観）
・　正確でわかりやすい情報

＜事業所の環境保全の取り組み＞
・　市内の企業、商業施設がどのような環境保全の取り組みをしているか。環境フレンドリーな店舗を知りたい。消費行動を決定する際、重要な指針となる。(特にプラゴミへの取り組みなど)

＜イベント・講座などの情報＞
・　赤ちゃん連れでも行けるイベント、講座
・　バードウオーキング野草観察など自然を知る為の活動

＜節電などの具体的な方法＞
・　節電、節ガスなどの節エネルギーの具体的な方法、費用、効果、リスクなど

＜その他＞
・　有機給食を始めることで、有機農業面積を増やす。
・　水道管の古さや新品との交換
・　耐震診断の情報を、もっとわかりやすくしてほしい。
・　放射線のデータ、ゴミの処理状況、処理方法。(最終形態)
・　原子力の情報と正しい理解を。我国の原発の原子炉は加圧型（PWR)と沸騰水型（BWR)と有り、現在避難事故を起こし、止まっているのは沸騰（BWR)だけです。国際的にも避難事故を起こしたPWR(加圧水）型は有りません。従って今でもこの区別がついていない日本は異常です。

（２）年代別集計

全体の年代構成比（図 II-31 の最上部）と比較して、30 歳未満の比率が高い選択肢は、「体験型イベントについての情報」や「起きている現象・被害についての情報」、「環境が私たちの生活に及ぼす影響についての情報」などであった。

また、30 歳以上 60 歳未満の比率が高い選択肢は、「体験型イベントについての情報」や「助成制度についての情報」、「環境についての市民団体やＮＰＯなどについての情報」などであった。

さらに、60 歳以上の比率が高い選択肢は、「環境についての市民団体やＮＰＯなどについての情報」と「大気や水質などのデータ」であり、その他「環境に関して、特に必要な情報はない」が 77.7%を占めていた。

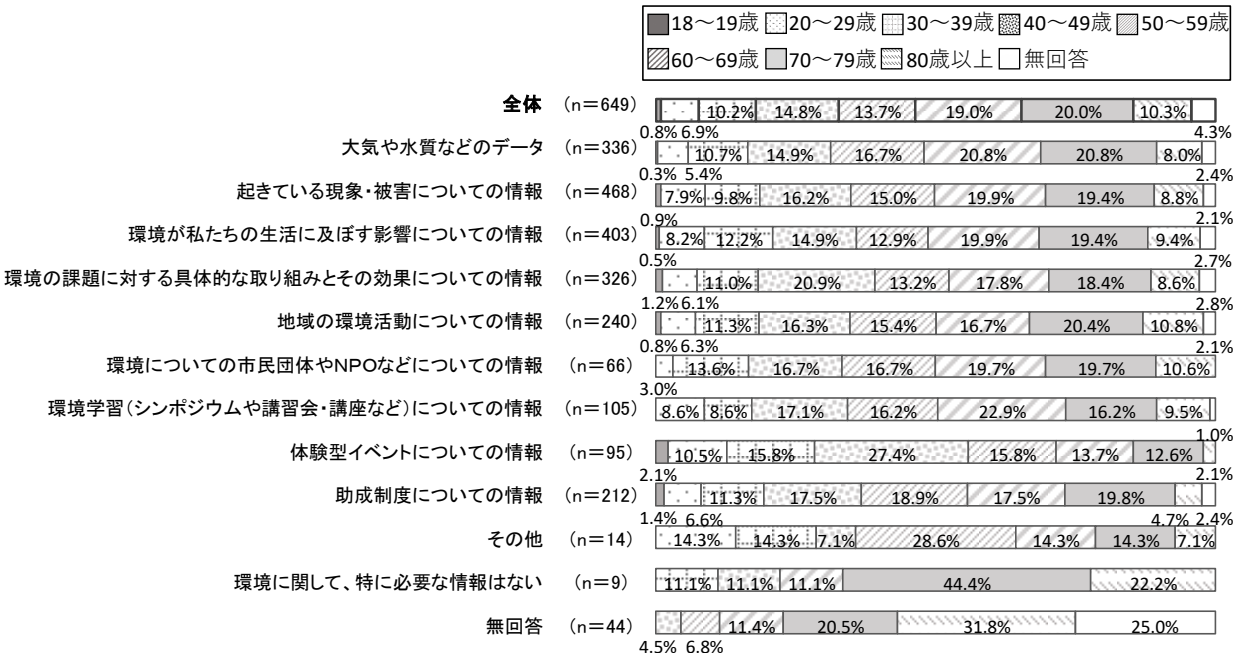


図 II-31　環境への取り組みを進めるために必要な情報（年代別）

7 武蔵野市の環境への取り組みについて

問６　武蔵野市が行っている環境に関する取り組みについて、以下のものをご存知ですか。各取り組みについて、あてはまるものをそれぞれ１つ選び、番号に〇を付けてください。

武蔵野市が行っている環境に関する取り組みについて、「内容まで知っている」、「聞いたことはある」を合わせて回答が多かったのは、「エ　平成 29 年４月に稼働を始めたクリーンセンターでは、ごみ処理の様子を学ぶことのできる見学者コース（無料）を開放している」、「オ　クリーンセンターでのごみ処理により生み出された電気や蒸気を、近隣公共施設（市役所や総合体育館など）に送っている」、「ア　市民団体、事業者と協力して毎年 11 月頃に「むさしの環境フェスタ」を開催している」の順であった。

また、「全く知らない」の回答が多かったのは、「シ　市民・事業者などと協力して、電柱・バス停・商店シャッターなどの落書きの消去活動を行っている」、「ス　多摩の森林を保全するため、公共施設などに多摩産の木材を活用している」、「ケ　生きもの生息状況調査など、生物多様性保全事業を実施している」の順であった。

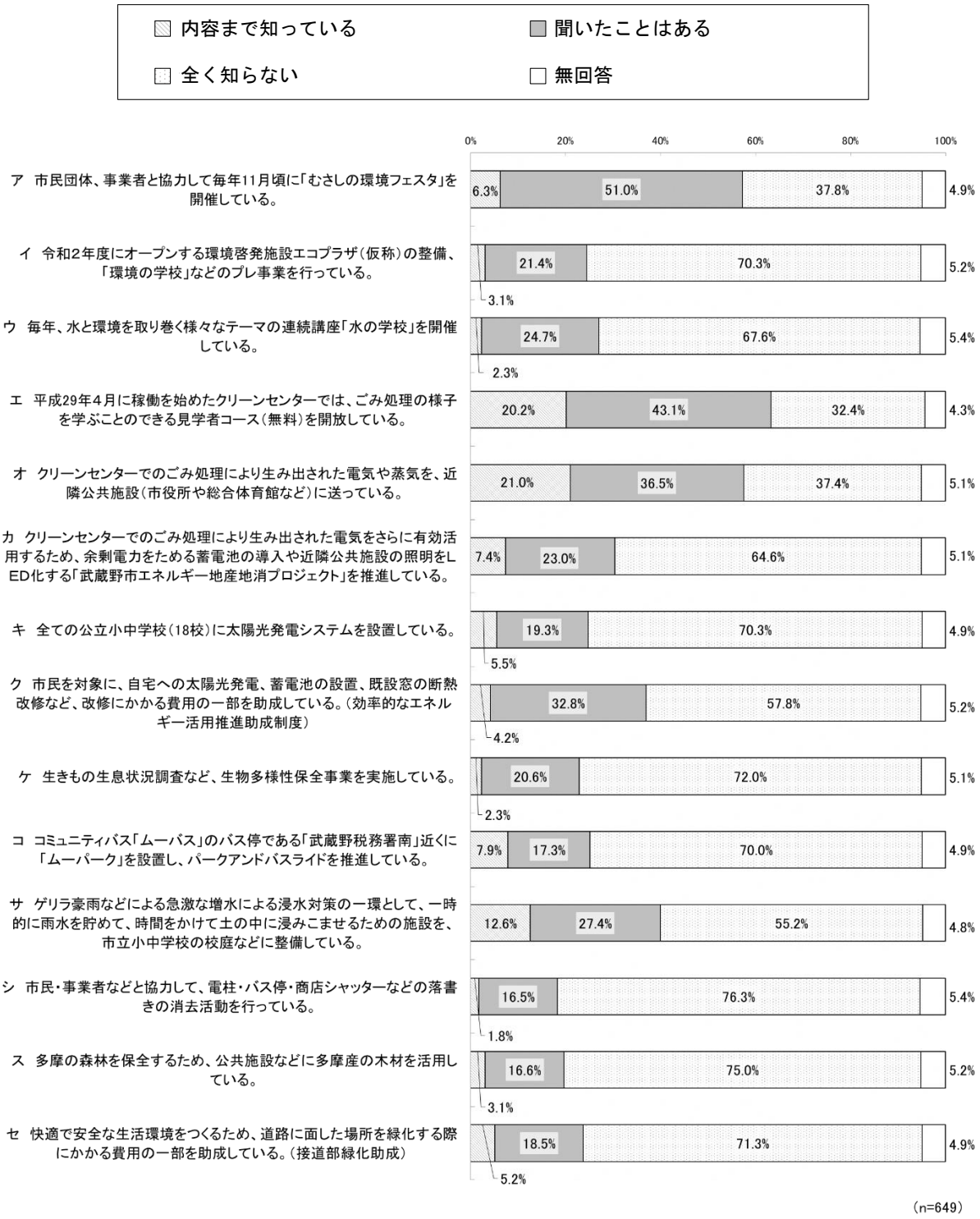


図 II-32　武蔵野市の環境への取り組み

８ 武蔵野市の環境政策への要望について

問７　市への環境施策への要望について伺います。あなたが環境に対する取り組みを積極的に進めるために、市はどのようなことに優先的に取り組むべきと思いますか。あてはまるものを３つまで選び、番号に〇を付けてください。

（１）単純集計

武蔵野市の環境政策への要望が多かったのは、「環境に関する情報を提供する（何をすればいいか、どれくらい効果があるかなど）」、「市役所や公共施設で再生可能エネルギーの導入など、率先してモデル的な取り組みを行う」、「環境教育・環境学習の推進により、市民の環境意識の向上を図る」の順であった。

一方、要望が少なかったのは、「取り組みを頑張った団体を評価し、表彰する制度を設ける」、「気候変動対策になる機器購入時の支援策（資金の補助、融資など）を実施する」、「環境に関する市民活動などへの助成を行う」の順であった。

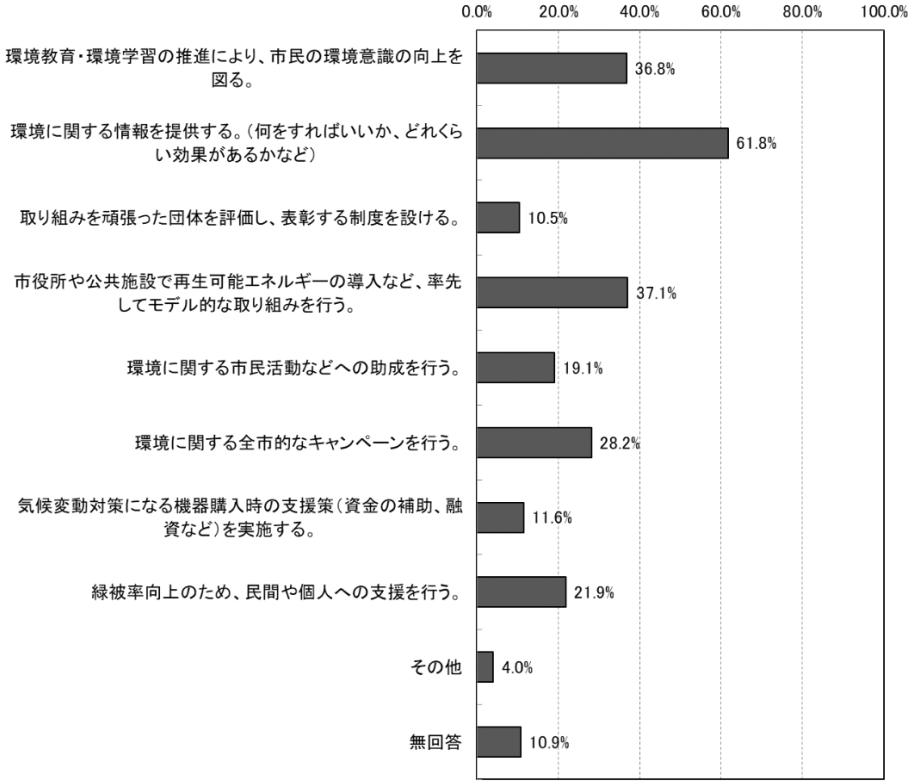


図 II-33　武蔵野市の環境政策への要望

「気候変動対策になる機器購入時の支援策（資金の補助、融資など）を実施する」という選択肢の具体的な機器の名称については、「太陽光発電設備」と「蓄電池」の回答が多かった。

表 II-１　支援策が必要な機器

機器の名称	回答数
太陽光発電設備	８件
蓄電池	７件
電気自動車	１件
電動バイク	１件
コジェネレーションシステム	１件
ガス湯沸かし器	１件
コンポスト	１件

また、その他の回答を以下に示す。

＜広報・啓発＞

- 年々自然環境の悪くなる現在、1 人 1 人が心がけるのが当り前のことですので、市が先頭になって、みんなが其の気になる様な対策を考えて市民を引っ張って行って欲しいです。どうすればいいか解らないでいる方も多いと思います。
- 市報むさしのにデータを時々掲さいしたら。
- 広報むさし野の一面に市の電気使用量削減等の目標をかかげ、毎回どの程度何%達成できているかを数字で示す。
- 環境と一口に言っても、範囲は広い。間口を小さくして、ポイント的に何をしたらいいのか知らしめる工夫をして欲しい。ボヤけていて、意識に残らない。
- まず、情報を届けてほしい。
- 市報、HP 等にもっと詳しく情報発信してほしい
- ＰＲの拡大
- PR 内容が不明

＜国家・国際的な対策＞

- 国、国際レベルでの対応、対策が急務。
- *海外*からの大気汚染に対する対策を市民からアンケートをとる。専門家の意見を聞く→空気なので最優先事項では？
- 気候変動を伴う環境問題は国家・地球規模で足並みをそろえて解決させるべき事案であり、地方自治体がコストを投入することに大反対です。

＜気候変動対策・エネルギー対策＞

- 気候変動に伴う異常気象（ゲリラ豪雨等）によって引き起こされる様々な災害への備え、対策。

・　脱原発、脱火力推進、自然エネルギー買取強化。

＜自然環境の保全・創出・緑化など＞

・　かなり難しい事ですが、吉祥寺駅周辺の緑化を武蔵境駅や三鷹駅周辺の様に少しづつでも進めてほしい。

＜公害や生活環境への対策＞

・　伏見通り、五日市街道、井頭通りなど、交通量の多い所を中心に大気の状態をモニターして欲しい。
・　住環境の問題。無職で無料で市立保育園に入れている人（その分ラクをして余力を持て余し、昼子どもを預けて寝て遊んでいる）が夜半中起きて騒音を出していて、引っ越し先を探しても引っ越せない人がいる。保育園では集合住宅に住んで１日中（夜半中）洗濯機を回してる親に注意して欲しい。そういう声は集合住宅でよく聞く。

＜都市環境の整備＞

・　環境というと自然の事が多いが、吉祥寺という市街をもつ市として、都市環境の整備にも積極的にとりくんでほしい。オーバーワーリズムすぎて、市民には迷惑な事態がふえていると思う。
・　高層マンションの施行を禁止する条例をつくる。
・　電柱の地中化を推進して欲しい。

＜景観・美化など＞

・　自動車や自転車を恒常的に敷地からはみ外して駐車していることを、厳格に取り締まりを行って欲しい。（道路部分を時効取得される可能性もあるのでは）（生垣の道路側へのはみ出しも注意して欲しい。歩行の際、困ることがある）。
・　屋外での禁煙。自宅内での喫煙はやむを得ないが、家族には受動喫煙をさせられないのに、戸外で喫煙し、他者に受動喫煙をさせることをやめさせて欲しい。
・　駅周辺の嘔吐物や公衆トイレの悪臭など、人が集まる場所の美化。

＜その他＞

・　環境基本計画をきちんと体系化し、同様に行政施策も体系化をし、できることだけやっていては環境は良くならない
・　災害が起きた時の市政の予定している対応。（具体的な複数のパターンを想定しての対応）
・　太陽光発電パネルが大規模災害発生時損傷し、その後太陽が出た時に配線から漏電火災の発生が懸念されるが、その予防策は検討済でしょうか？
・　賃貸住宅でもできる工夫の具体例
・　公共のコンポスの設置
・　ムダな税金使うなら、やらない。これやって意味あるの？？

・　蓄電池設置費用の補助
・　市はよくやっていると思う。

（２）年代別集計

全体の年代構成比（図 II-34 図 II-31 の最上部）と比較して、30 歳未満の比率が高い選択肢は、「環境に関する全市的なキャンペーンを行う」や「緑被率向上のため、民間や個人への支援を行う」、「気候変動対策になる機器購入時の支援策（資金の補助、融資など）を実施する」などであった。

また、30 歳以上 60 歳未満の比率が高い選択肢は、「緑被率向上のため、民間や個人への支援を行う」や「市役所や公共施設で再生可能エネルギーの導入など、率先してモデル的な取り組みを行う」、「環境に関する市民活動などへの助成を行う」などであった。

さらに、60 歳以上の比率が高い選択肢は、「環境教育・環境学習の推進により、市民の環境意識の向上を図る」と「取り組みを頑張った団体を評価し、表彰する制度を設ける」、「気候変動対策になる機器購入時の支援策（資金の補助、融資など）を実施する」であった。

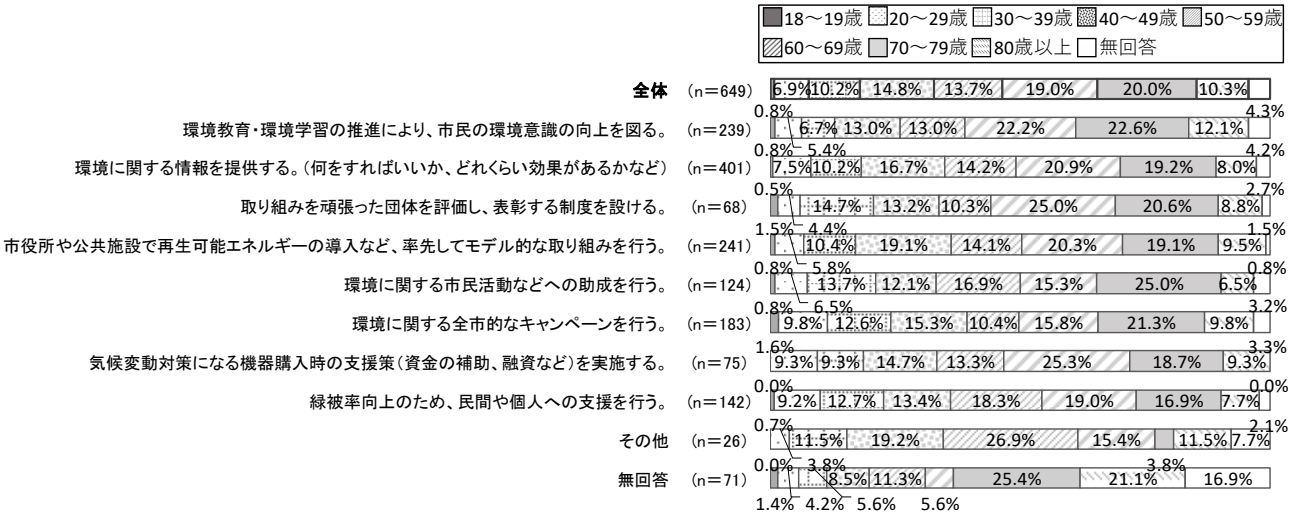


図 II-34　武蔵野市の環境政策への要望（年代別）

９ 環境への取り組みに対するアイデア、提案等について

問８　武蔵野市での環境への取り組みに対するアイデア・提案等があれば、お書きください。

回答を以下に示す。

＜広報・啓発＞

- 若い方達、子供の環境に取組教育が大切だと思います。
- 環境問題全般の対策は、個々人の意識の向上と徹底が不可欠だが、小さい時（小学校）からの教育、指導を強化する必要があると思う。
- 幼稚園・小学校・中学校と環境教育を充実させ、地球環境の保護、温暖化の防止等を行う。
- 今回のアンケートで知らないものがありましたので、「むさしの」の新聞でも、一面で取上げていただけると、大多数の人が環境に対しての意識が向上するのではないかと思います。個人レベルでも環境に貢献できるように、助成金や支援について、「むさしの」やその他の公布書類にて周知可能にしていただけると、取組む輪が広がると思います。例えば、店の内外のどこかに、キャンペーンを伝えるポスターを貼るとか、バスの広告では良いかと思います。また、どれだけ環境に寄与したかを定期的に具体的な数値で提示していただければと思います。（既にされているかもしれませんが…。）
- 市報むさしのなどで、情報発信されていると思いますが、他メディアやＳＮＳなどをもっと有効活用したら良いと考えます。小学生や幼稚園児などを公園やむさしのプレイス前のスペースに集めてイベントや啓発活動をもっと行うべきだと思います。キャラクターの設定、グッズ製作。市民団体の表彰や助成は全く不要で、もっと広範囲に活動を広げる方法を取らなければならないと思います。武蔵野市クリーンデーを設定し、市民全員でゴミ拾いに取り組む。ゴミは最寄りの公園に集めて後で収集するなどの活動を実施。
- SNS を有効活用する！You　tube で宣伝を。地域差があるので地域差をなくす取組みを。前頁の 3 は良いですが団体がそもそもよく分からない。→地域差なくす・・とは書きましたが、地域でより多く環境への取り組みをした所へ環境への取組みに使える助成金を追加、とかであれば良いかと。武蔵境駅から市役所へ行けるムーバスを！何故三鷹駅から・・とか公共のバスを利用していかないといけないのか疑問です。税金払ってるのに・・・。
- インターネットや SNS を通じて、ボランティアの呼びかけ。ボランティアは無償が基本だが、500 円や 1000 円でも良いので、良い事をしたご褒美が出ると、皆が参加するのではないか。小、中学生や元気な老人にボランティアに参加してもらい、高頻度でやることで美化や市民が協力し合う雰囲気作りをしてはどうか。頻度が少ないと、その場限りになる上、他の人が参加しない…。
- 今回のアンケートで、そんな取組みをしてたのかと知った部分がとても多かった。定期的にチラシなどで、活動の情報などを届けて欲しい。
- 市役所で働いている職員の皆さんお疲れさまです。正直、環境のＰＲはこのアンケート

で初めて知りました。職員がどのような活動をされているか、Ｎｅｔ公開して市民から「流石！」と言われるよう頑張ってください。

- 市の取り組みを全く把握していなかった。メールマガジンで希望者に情報共有を望みます。
- イベント開催など（子供をからめた企画）
- *大型商業施設*でワークショップをする。子ども向け、大人向け。体験を通し学べるスペース。　例）生ゴミ→機械へ入れる→土になる。視覚から知る。
- 環境をみんなで理解しながら楽しめるトレジャーハンティングのようなイベントがあれば、入りやすいのではないかと思います。
- 赤ちゃん・子連れでできるイベントや講座があれば参加したいと思うママさんは沢山いると思います。専業主婦のママは０～３歳までほぼ家にいるので、市報やSNSで「子どもを預けなくても行けるところ」を探していることが多いです。(0123 はらっぱや、すくすく泉でのイベントばかりになります）時間もあるし興味もあるけど、託児してまで行こうとは思わない。だっこしたままで参加OKなら、行けるママも多いと思います。
- 駅前でのイベント実施、人の目に付くように活動をする。今回のアンケートの中に書いてあるイベントや取り組み、実施している活動内容は地域紙をみていて知ったことだが、毎回配布される度にすみからすみまでみれているわけではないので、より人の目に付くように活動をすれば、知るきっかけになるのかと思った。燃えるゴミを入れるために緑の有料ゴミ袋を買っていると思うので、梱包してあるあの紙に環境に関するコラムを裏面に載せてみたり、意識しなくても目に入るようにすると良いのではないでしょうか。
- 市役所から遠いので、なかなか市のイベント（エコプラザ、クリーンセンター含め）に参加しづらい。どの地域からも、アクセスをよくした方がいいと思う。
- 市立の学校の授業で、市内の畑で活動する時間をつくる。市内外から人気がある井の頭公園で大きめのフェスタなどイベントを行う。
- ①市立小学校単位で、アイデアを出してもらい、イベントで発表する。②イベントを何日かやって欲しい(1日だと、予定が入っており参加したくても行くことが出来ない為)。③市民各自、環境への取り組みについての意識を高める、大きなイベントの開催。
- 小中学生、児童の環境フェスタ参加枠をつくる。市内の農業教室、体験を増やす。太陽光、蓄電池利用の勉強会を開く。多摩地区の里山体験を開く。ホームページで環境モニターをリアルタイムに公開する。
- これまでの環境への取り組みで、実際にどれだけの効果があったのか、取り組み毎に具体的数値で示して欲しい。具体的効果が上がった場合には、住民税を軽減して欲しい。
- クリーンセンターで電光掲示しているような、環境対策の生データを各 JR 駅前などに設置して情報提供し続けると、市民の意識も徐々に変わると思います。
- 市民が日々の生活でできること、その積み重ねが市民にどのように返るのかを具体的に示して欲しい。目の前のことだけでなく、将来の観点から子供の教育にも力を入れて欲しい。
- 市の現状と環境が生活に及ぼす影響をもっと PR すべきである。市民で対応できることがあれば助成金を出して対応していくべき。

・ 環境問題に関心がないという人はいないと思います。かといって積極的に、自主的に勉強したり、行動はおこさないと思います。従って、自然にムリなく見聞できることがいいと思います。駅前や公園、空地などで目にとまる展示物には目をとめることが多いものです。（ここで興味を持ったものは以後注意しています。）あまり音による周知はさけて欲しいと思います。
・ ①子どもが成長し、別に居住してからは、眞夏でもエアコンは使用していない。工夫すれば快適に過ごすことができることを実証済み。他の環境保全と両立する日常の生活スタイルで、自家用車もやめ、運転免許証も返上しました。省エネはもちろん、電力効率の良い家庭用器具も使用している。このようなエコに優しい日常生活をするよう、全市民に働きかけて欲しい。②ＳＤＧｓ武蔵野の推進
・ 提案等は全くと言っていい程持ち合わせてはいませんが、環境問題への取り組みは、一地域・一個人のみの行動だけではどうにもならないことは間違いありません。一部の人達が率先して行動を起こしたところで、大多数の人々（特に経済活動を優先する企業）が口先だけのエコロジーを謳っているようではどうにもなりません。そこからスタートしなければダメかと思います。(環境問題教育）もう長年住み続けた集合住宅は古くなって、省エネ設備を備え付けようにも工事が出来ない状態です。この先、もうそんなに長くはないでしょうけれど、エコとは無縁の生活となりそうです。

＜助成など＞
・ 環境に対する助成活動についての支出を増やした方が個人レベルの意識が高まると思う。
・ 企業は ISO14001 を取得させ、取得企業の優遇措置、助成金の補助等、取得の促進を図る。
・ 環境配慮型の自動車、水素自動車、電気自動車を普及させるため補助金等を出す。（中国のシンヤンによく行くが、電気自動車の普及はすごく、乗っても素晴らしい。）

＜国家・国際的な対策＞
・ （問１は特に）全部〇を付けたいが、国への働きかけ（陳情、法制化など）の要請を行う（排ガス規制をゼロのため批准させるなど)。

＜気候変動対策・エネルギー対策＞
・ 地球温暖化は深刻な問題だと思います。日本中で水害でのニュースを見るたびに不安がつのります。気候変動対策になる機器購入時の支援策。
・ 地球温暖化により、台風・ゲリラ豪雨など近年、被害が深刻化している、千葉の例をみても、各家庭でのある程度の備えが必要とされていることが理解された。公共施設での備蓄も必要だが、各家庭でどれだけの備えが必要であるか、又、そのような気候変動を起こさないために各々がどのような行動をしたらいいのか。具体的な数値で基準を示していただきたい。環境も防災とリンクして欲しいと思います。環境あっての防災、防災のための環境であってほしい。

- 市内を走るバスの電動化。安全に走れるように自転車専用帯にガードレールを設置し、利用を増やす。
- 電気動力小型バス運行のムーバス路線増設：〈武蔵境地区北部の路地運行路線〉、希望案：武蔵境駅-武蔵高-境橋-桜橋－第六中-武蔵境病院-武蔵境駅の循環バス路地路線。
- ムーバス、レモンキャブ等の全台をエコカー（HV、PHV、EV）に。全公用車の ZEV 化。（HV→PHV、EV 等に）駐輪場をシェアサイクル（電動アシスト付き自転車）の基地とし、全市的に展開する。（回収、輸送も HV、EV で）電動バイク、電動 TEZI 自転車への転換促すため、購入補助・移動優遇等行う。都内中小クレジット、グリーン電力等、企業、市施設での CO2 削減への参加。
- 高齢ドライバーの免許返納に対して、魅力的な特典を付与する。質の高い住宅・エコに配慮した住宅の固定資産税をもっと安くする。ムーバスの本数を増やし、バス移動を促進する。
- 武蔵野クリーンセンターのごみ焼却発電量が 2291kw のような形で屋外のパネルで表示されますが、世帯数換算での表示も付け加えた方がピンときやすいと思います。最近の台風被害なども考えると電力会社に頼らない街作りを今後広めてほしいと思います。無電柱化は着実に進めてほしいです。ムーバスも電気バスへの入れ替えを、コストも考えつつ徐々に進めるべきかと。発電、蓄電能力にもよると思いますが、クリーン・センターの電力でムーバスが全て動く、などなれば理想的です。クリーンセンターが単なる焼却場でなく災害時の充電設備になって防災拠点として機能すればいいです。電気自動車購入時の助成を増やしてもいいと思います。太陽光発電の助成は今でもあると思いますが、停電のことも考えると発電だけでなく蓄電が重要になると思いますので助成も発電より蓄電に比重を置いた方がいいかもしれないです。エコプラザ（仮）で停電イベントなどあったらいいと思います。停電の時に電気自動車からどのように電力供給するのか見せるとか、ホワイトイーグルで実演するとか、もしくは映像ですね。疑似的に停電状態を作って、クリーンセンターを動かすとか、訓練にもなっていいと思います。
- 環境問題といえば、やはり地球温暖化対策を優先すべきと思っております。そのために、市民レベルでの活動において、費用負担が少なく効果のある方法を提示・選択していく必要があるのではないでしょうか？地球温暖化対策を最優先すべき理由として、多岐にわたる環境問題を安易に幅広く対応しようとすると、二律背反する問題（たとえば、リサイクルプラントや水質または大気汚染等を除去する浄化設備を稼働させると、CO2 を大量に放出し、地球温暖化防止には適していない等）に直面する場合が少なくないと思われるからです。CO2 排出削減のための具体案（市民が容易に参加可能な例）は以下のとおりです。1、まずは啓蒙活動。CO2 排出削減のために即刻実施可能な個人レベルでの活動例を、公共施設や公共交通機関等に常に掲示する。ただし、多大な費用負担を必要とする「電気自動車に乗り換えましょう」「自宅の屋根に太陽電池パネルを設置しましょう」「エコ家電に買い替えましょう」的なものはダメ。２、主要道路に専用自転車走行帯を設置し、歩行者が立ち入らないように制度化する（自動車使用の削減。健康ブームとの相乗効果が期待できる。）３、庭木の樹木を維持するための補助金制度を設ける（これ以上緑を減少させないための施策）。

・ ソーラー発電を推進する。(駅前のビルの屋上など)
・ 公共の蓄電システムを導入し、再生可能エネルギー生産者に発電不能時（太陽光の場合の夜間など）にその蓄電をした電気を使わせるようなことができないか？　太陽光発電者　発電時　蓄電池　夜間などにその発電分を返却　原発の廃止
・ 再生可能エネルギーの注目が高まり、風力発電や太陽光発電の割合を増やそうという動きは評価すべきだと思いますが、デンマークのように、ただ闇雲に 100%への道を突っ走るのはいかがかと思います。供給過少はもちろんのこと、供給過多になったとき需要を越えたエネルギーはどこにやればいいのでしょう。これでは全く儲けなりません。電気代も高くなる上、人口の多い日本では需要も多いので、その管理がさらに難しくなると思います。再生可能エネルギーは調整できる安定エネルギーがあるのが前提で考えるべきです。
・ アスファルトについて。温暖化防止の一つの対策として、遮熱塗料の散布など（詳しくは分かりませんが…）利用する。
・ 市の職員は職住近接の障害者を除き、全職員徒歩のみの通勤とする。(バスや電車であってもエネルギー消費ゼロではないから遠方からの通勤はエネルギーのムダである）加えて災害時の出動も素早く可能。

＜ごみの発生抑制・資源の循環利用＞
・ 武蔵野市からコンビニのレジ袋の使用を少なくする（今はペットボトル１本買っても袋が付いてきます)。買い物袋の意識を市民に持たせる。環境改善 Go　Go　Go, よろしくお願い致します。
・ 昨今レジ袋・ストロー等、プラスチック問題が取り上げられていますが、袋に関して言えばレジ袋だけではなく、丁寧に食品を１つずつ薄いビニール袋に入れて下さる所もありますが、その必要はないと思います。どうしても袋に入れて欲しい場合はまとめて（例えば刺身、魚等１つの袋でよい）入ればいいわけで、マイバックを持って買物するわけですからもっと簡略化してもよいのでは。買物する方、店の方も改革が必要だと思います。
・ 過剰包装の廃止を促す。マイストロー、マイカップなどを利用できる。環境造り（例：店舗での受け入れ（割引きなど）マイカップ、マイストローの販売など、おしぼりも)。コンビニバッグ廃止。1 人当たり～プラスチックを減らすとどういうメリットがあるか提示。子供達とのプロジェクト（食育を含む）
・ プラスチックゴミ・資源ゴミも有料袋に入れることで、食品ロス・買物の見直しを考えるのではないでしょうか。必要ないものはもらわない。過剰包装のもののムダ、すべてのことを見直したい。有料袋の値段を上げるなど。
・ 廃プラ、容器削減のため計り売り。容器持参を推進。(ポイント、商品券等で還元する。)
・ 小さい事のように思われるが、つまるところ個々人が環境状態の保全、改善に努める事が、大きな効果につながる。この点の啓発が重要だと思う。街路を歩き、ごみ収集の日に出されるごみの多さに驚かされる。実に無駄なエネルギーが消費されている。(過剰な包装材の生産、それを廃棄するエネルギーetc, etc)

- 食品ロスについては企業ともスクラムを組む。
- *大型商業施設*やスーパーなどでの食品の大量廃棄がなされているのではないか心配している。（スタッフの方が、ごみを捨てているのを見たことがある）何でも買えて便利な反面、食品ロスがなされているように思う。
- 印刷物が多すぎる。このアンケートもハガキで充分だと思いました。
- 使用可能であるが、ゴミとして捨てられる家電製品や家具などを、欲しい人が無料で受け取ることが出来るようなシステム。例（“中古利用可能な品物台帳”などを作り、市民がいつでも閲覧できる様にしておく。欲しい品が見つかった時は、保管期間内に自ら受け取りに行くか、シルバー人材サービス等の力を有料で借りて配送してもらう。）中古で再利用された品物を再度ゴミとして出す時には、処理代金の値引きや無料化等の付加価値をつけると、利用者が増えるのではないだろうか。
- 商業施設、店舗へリサイクルゴミ回収の義務化。*大型商業施設*など大型施設には特にゴミ問題、リサイクル回収の負担を担わせるべき。エコフレンドリーな商業店を広く伝え、消費者・市民に消費選択情報を提供して欲しい。行政が直接行うことでも、NPO への助成という形でもよい。
- ペットボトルや缶などを集めて提出？すれば何か、みたいな制度があれば効率が上がりそう。
- ゴミ分別の動画などで、もっと市民への啓蒙活動が必要と思います。資源ごみなどがそのまま分別されていないようですので、継続した教育をお願いします。自治体だけでは取り組みが難しいと思いますが、Eu（ヨーロッパ）で取り込んでいるペットボトルのデポジット金制度の導入の検討をお願いします。
- 分別したゴミがどのように処理されるのか一目でわかるものがあると、より分別しやすい。（海外で日本から届いた廃プラの多くが汚れやまちがった分別で送り先の国の環境を破壊したり、処理に負担がかかっているのを目にしたことがありました。せっかく分別しても却って環境の負荷になるようであれば燃えるゴミとして処理した方が良いのかな、と感じたりしています。それぞれが何のために分別していて収集された後どうなるのか、クリーンセンターに行かなくとも子どもでもわかると有難いです。
- まだ使用可能なものが、ゴミとしての処置しかない。多くの物品を捨てている。方法はあるかもしれないが、面倒であることも一因。
- 生ゴミのリサイクルをしたくても、コンポストを置く場所に余裕がないので、生ゴミリサイクル用の拠点を地域毎に配置できたらよいが、その拠点が生ゴミ臭く、近隣住民にとっては嫌かもしれない。よく知らないが臭いの出ない機器があれば活用できるのに、と思っている。ゴミを混ぜない。枝木や植物のリサイクル日を設定し、燃やすゴミを減らしたらよいと思う。
- 自宅で生じた生ゴミを自宅で有機肥料化し、近隣の農家に無料配布して、有機野菜を作ってもらい、肥料配布者に低価格（通常の有機野菜よりは低価格という意味）で販売する、というような生ゴミのリサイクル化を行う。現に有機野菜にこだわっている人や、自分で生ゴミを有機肥料化して家庭菜園等で使用している人達が多く存在している。
- マイクロプラスチックの問題は喫緊の課題だと思います。多くの海洋生物が消化できな

いプラスチックを食べて死んでいて、人体にもマイクロプラスチックが蓄積しています。この対策として、ストローを中心とするプラスチック製品の規制をお願いしたいです。ただ、プラスチックは紙などに比べて生産におけるコストや環境負荷も低く抑えられるので、考えどころです。

- 化繊の衣服が海を汚すことも知り、新しい物は化繊ではない物にしていますが、生活の中でプラスチック製品に囲まれています。国や企業など大元からプラスチックに代わるものを利用する努力が求められます。
- ごみ収集について。週代わりで２週に１回の（ビン、缶、古紙、他）が毎週１回にしてほしい。プラスチックとペットボトルも週１回にまとめてほしい。
- ペットボトルの回収が隔週になりましたが、以前そういったゴミはコンビニや回収ボックス等のあるスーパーへ持って行くように呼びかけていたと思うのですが、そういう回収場所が少ないと思います。コンビニに家で出たもの（缶等も）を持ち込むのは勇気がいります。なんとか家でためて所定の日に出していますが、結局ゴミを少なくする事に役立っていないと思います。以前大型のスーパーで見たプラスチック破砕機などがあると回収の手間も少なくなったりしないでしょうか。
- 武蔵野市はキレイな街だと思います。とても住みやすいです。粗大ゴミは屋外に出しておく必要があるのですが、雨にぬれてしまったり、まだ使用できそうと思ってもリサイクルセンターに自力で運ぶことが出来ないので粗大ゴミとして出してしまうこともありました。リサイクル業者は質がさまざまなので選ぶのが難しく、市の指定業者さんがあると安心と感じます。
- ゴミ出しが複雑になり出し忘れる事が多くなった。市が配布したカレンダーを見ないとその日何を出すかわかりづらく、物によっては１度出し忘れると１カ月に１回しか出すことができない。ペットボトルは自主回収の店に持って行っていたが紙資源やプラスチックは可燃ごみでも出せるので面倒になり、まとめて捨てるようになった。環境への取り組みへアイデアを募るより、こういう計画を実行する前に市民の意見をネット投票で確認したらどうでしょうか。軽減税率もそうですが、市民に何の利益もない事務作業を増やさないで下さい。夜遅くまで働いて、疲れて帰ってきた若者は、朝に出し忘れないように夜間にゴミを出し、カラスにあさられていると思います。

＜自然環境の保全・創出・緑化など＞

- 緑化の推進を期待しています。
- 緑化。樹木を増やしてもらいたい。
- 市役所のまわりだけでなく、とにかく通りに木・緑をふやす。
- 駅のホームにも緑を。
- 緑化運動の一環で苗や植物の種を市民に配布する。
- 市内に緑を増やすために、年に１回くらい子供たちと植樹する機会を設ける。
- １家庭に１つ植木を渡し育てる。歩道沿いに並べる。
- 屋上の緑化。木を植えると台風の時恐いので草花、芝など。
- 大き目の公園どうし（井の頭公園や善福寺公園、和田堀公園など）を並木などによって

継ぐ、物の移動がしやすくする。

- 中町一丁目に公園があればいいなと思います。
- 公園、空き緑地のさらなる充実化。災害対策として、また環境保全対策として公園（原っぱメイン）の充実を願います。遊具を置くのではなく、一時避難にも活用できるよう原っぱをメインとした空きスペースをさらに増やすことを提案します。
- 各地の街路路、街区の隅切りを民地より提供定期借地として緑化活動を計り各街路の美化と環境緑化を計る。
- 緑が多そうに見える武蔵野市ですが、緑被率はとても低いですね。コンクリートの建物を増やすのではなく、少しでも緑地を残す努力をして欲しいと思います。大規模開発には、相応の緑地（土地をそのまま）を残すことや、屋上緑化、現存する農地を大切に維持していくなど、経済性を無視した取り組みも必要かと思います。
- 有料駐車場の緑化の義務付け。(すべてコンクリートにして、木を切っている。なさけない。）公共建造物の壁面緑化の推進。住宅内道路の工夫（舗装材）色を茶へ（自然色)。アパート、マンション経営者への緑化指導。(所沢市のアパートには、緑を多く使ったものがあり、評価されています。)
- 新築する場合、庭木など自然環境に協力する様、働きかけが必要である。また具体的な援助も必要である。新築の家はほとんどコンクリートで地面を覆っている家が目立つ。
- 住宅間の境界に関しても、生け垣や緑化に助成が行われるとブロック塀が減り、緑も増えると思う。公園から飛散する砂が、側溝や雨樋に溜まるので、掃除をする時枯葉と一緒に燃えるゴミの中へ入ってしまう。公園の周辺の緑化をより進めて、砂が飛びにくくした方がいいと思う。
- 街路樹の老木の比率が高いように思う。若木への交換を進めていただきたい。
- 小中学生に対し、自校及び周囲の緑化、剪定、雑草取りなどを体験させ、緑化や環境の重要性と素晴らしさを体得させる。公共施設の低木植込み部、例えば市営グランドの周囲の土手の植込みなどについては、美観を害するヤブカラシ、ススキなどの雑草を根元から除去し、美しい緑化への意識向上を図る。
- 市内の緑化や保存に力を入れて頂きたいと常に考えています。地区によって住宅環境（見た目）に違いもあるため…。吉祥寺地区や緑町、西久保、境の駅近辺の集合住宅への緑化強化の条例や、ベランダや壁面への蔦や苗木の配布、育て方の指導もして頂きたい。古い建物の放置が気になる為よく見ますが、周囲も市外からゴミが集まって来る印象がどの地区にもあります（空き家でしょうか)。そのような箇所にも、条例で苗木など外●まで、●を緑化出来ればと思います。
- シルバー人材の方に協力してもらい、緑の育ち方指導を行ってほしい。木を植えた後、どのように育てていけば良いのかが分からない為。時間を取られるのは嫌なので、外から見て指導内容を紙に書き、ポスト投函してもらい、希望者のみ tel を貰い直接指導すると良い。
- 吉祥寺地区は野鳥が激減・全滅状態です。毎日近くの公園を歩きますが、野鳥の姿を見るのは絶無です。時々鳩の姿を見かけますが、雀の姿は近年全く見たことがありません。市は鳥対策に心を奪われ、野鳥が全く近づけない様な対策に専念しているのでは？全て

の公園で野鳥が見られない状態で環境都市などと言えるのでしょうか。昔は人里には雀や燕が群れでいたものです。今の武蔵野は環境政策を間違っているのでは？

- ハクビシン、たぬき、ねずみ等、野生動物による庭の果実被害やふんの悪臭が近年増加しています。市及び各地域による広域にわたる駆除を実施していただきたい。各家庭毎の対応では、済まない状況になっていますので。
- 今も借りているのですが、市民農園をもう少し増やしてほしい。
- 農地がどんどんなくなっていくのが心配です。子どもたちが普段から緑豊かな環境に囲まれて育つことが大事だと思います。
- 農家の軒先販売の野菜は農薬が心配です。無農薬と分かっているものは買います。温暖化による気候変動で農作物が育たなく、飢餓の心配や今回の台風による災害が心配です。又、武蔵野市でも農家が減っていくのではと心配です。跡継ぎのいない農家は市が借りるなどして、市民参加などの方法で農地を守って欲しいと思います。スウェーデンの女性の国連での発言を聞いた人から、環境問題を勉強したいという声があり、グループを作り学習することになりました。市報で知ったことから、農業ボランティアに参加していますが、市の対応に違和感を感じることがあります。市民本位の運営ができるよう、市も努力して欲しいと思います。
- 地場の食材（地産地消）にとりくみたいと最近思っているのですが、市内で目にする畑が自動車の多い道路（自動車道）と接していて、排気ガス？とか、畑の土や野菜、果物にたくさんかかっているのかなと心配だったり、JA で見ても農薬の使用量とかどうなのか表示がなくてわからないので、つい無農薬の店の長野県とか地場じゃないものを買ってしまいます。地場の食材をもっと安全なものにできたらもっと地場の食材を利用できるようになれて良いと思います。

＜公害や生活環境への対策＞

- ムーバスの EV 化(住宅地を走行しているにも関わらず排ガスをまき散らしているため)
- 市内は緑も大変多く公園等も新しく次々と出来ていて住環境としては適していると思います。が、住宅地への自動車交通量が多い事による排気ガスは非常に気になります。せめて車⇒自転車利用へとシフト。駅周辺のレンタサイクルの導入 etc 郊外から来る方達の休日の車が減らせたら嬉しいですが。
- 集合住宅が多いので、騒音・振動問題に取り組んで下さい。身体を壊した人がいます。
- 近隣住宅から発生する低音の防止策　ボイラー、クーラー、換気扇…
- 夜中に救急車が住宅街を通る時（我家の 3 丁目の通り）、周りが静かなのにもかかわらず昼間と同じ音を鳴らしながら通る。この無神経さはいかなるものか？早急に改善を望む。改善したら市報にのせて下さい。
- 太陽光設置に伴ない、反射熱や反射光に対して市としてどのように考えているか知りたい。（各個人宅で設置すると弊害がある。）

＜水環境の保全＞

- 大家に対して、水質調査をさせ（建物が古い場合が多い）水質向上に協力させる。

- お米のとぎ汁を下水に流すのはよくないと聞いたことがあります。無洗米購入推奨キャンペーンはどうでしょう？
- 千川上水をきれいに！！ゴミの投げすて、コイのエサやり禁止の標示、鳥のフンが多く、外に干物不安。
- とにかく武蔵野市は下水道臭いです。雨の日の当日、後日はもはやトイレの臭いでひどいです。もっと下水道処理をちゃんとしてください。上京してきて本当に臭いがひどすぎて最悪だと思っています。後輩たちには絶対に武蔵野市には住むなと言い続けています。外から来た友人知人も市内全部が、ぼっとん便所だねと言っています。臭すぎます。早く引越したいです。あと水道水が臭すぎ。
- 各家庭毎の、雨水利用をもっと進めるべき。貯水槽の普及にはもっと力を注ぐべき。（どこで取り扱っているか親切に案内をする）（もっと補助金を出して、利用しやすくする）いずれにしても行政はもっと各家庭が雨水利用が大事であり、積極的に取り組めるよう、広報等で大々的に宣伝する必要がある。意識が低い！
- クーラーの室外機から出る水について。ただ、捨てるのはもったいないので水やりに使う、道に流すとか何かアイディアはないのでしょうか？

＜都市環境の整備＞

- 自転車用のラインを道路に明確に示す。
- 自転車が多く、歩行していると危険を感じます。スペース的に難しいかもしれませんが、道路に自転車走行位置の明示をして頂けると、歩行者も自転車も安全が守られると思います。
- ムーバスの本数増、路線の拡大等は引き続き行い、「市民の足」の利便性を増加して欲しい。それに伴い、監視員の感謝が薄いように思う。住宅街や通学路の安全性向上に貢献度大である。
- 道路整備。市民に頼らずに自分で考えろ！！
- 電柱電線の地下化。
- 無電柱化を進めるべきである。
- 景観向上と災害防止のために、無電柱化（電線の地下埋化）を、長期課題として推進してほしい。
- 狭い道の電柱の地中化をすすめて下さい。（武蔵境通りなど）
- 早くから出来上がっていた吉祥寺駅周辺は、まだ開発余地のあった三鷹、武蔵境の駅周辺とは条件が違いますが、少しでも吉祥寺の昔からの落ち着きのある風景が取りもどせるように努力して緑化やバスターミナルの整理をしてほしいです。数年前から（人気の住宅地と騒がれ出した頃）、吉祥寺が若い人達が多く集まり活気が出た反面、吉祥寺らしい街づくりが変化し、風情が失われて来ていると思います。これからの吉祥寺をどの様に市が考えているのか…。今のままでは吉祥寺大好きだった人達が外に出ていってしまいそうで心配。
- 昭和４０年代からの吉祥寺の街のうつり変わりをみていると、近年の商業地としての品格のなさには惨憺たる思いをいだかずにはいられない。武蔵野市としてどうあるべきか、

特に吉祥寺の貧相な街になってしまったことに関してもっと真剣に考えるべきではないか。真に豊かな環境とは、自然のみで成り立つものではなく、人間が関わっているからには、そこに住まいする者の精神的よりどころとなる安らぎを感じさせることが大切で、イベントなど一過性のものでにぎわう程度のことでよろこんでいるのは大きな間違いではないだろうか。吉祥寺北口ロータリーで騒音でしかないロックフェス、ジャズフェスをたれ流すのはやめてほしい。殺伐とした街にならないよう集まる人間のけいもうもしてほしい。

・ 問 7 で答えた通り、エネルギーや CO2 削減に対して武蔵野市が予算を投入していくことに反対です。環境という枠組みで考えた時、景観のコントロールや街の保全のために治安悪化をさせない歳入維持に注力するべきだと考えています。具体的には◎大規模な商業施設による均質化を防ぐ手立てをする。◎吉祥寺という個性的な街を発展させ、観光客を呼び込めるようにする。〇商業的な広告・看板を規制し、美しい街並みをつくる。〇建築物の外壁に規制を設け、有彩色の使用を禁止する。〇個性的な商業施設が増えるための施策をして、他国や他都市にない街にする。そのポテンシャルが吉祥寺にはまだあると思います。

＜景観・美化など＞

・ 駐輪場をふやす。
・ 景観について。自転車の不法駐輪減少の為に、駐輪場使用料の無料化。駐輪場の増設を希望致します。
・ 移動手段を、車から自転車に変更するのはいいことだと思います。ただし、マナーが悪い方が多く、歩行者にとって非常に危険。武蔵野市は細い道も多いので、（環境と）セットで施策を行ってほしいです。
・ 地域の環境について、*コンビニエンスストア*の、自転車の不法駐輪がひどい。*コンビニエンスストア*のオーナーに対して、1 つ 1 つしか駐輪できないように、自転車を置く機械を購入できるように、環境整備融資があればいいと思う。又は、お客様以外置けないように指導願いたい。老人等通行があぶない。ムーバスも曲がる時、自転車があると曲がれない。
・ 良い機会を頂きましたので、少しずれたお話になりますが書かせていただきました。先日、市の方からハガキによるアンケートを書かせて頂きましたことと同じことですがご容赦下さいませ。街をきれいにしたい思いが強いです。きれいな街は悪い事も起こらなく、喜びと希望が生まれると信じています。道路に面したところを緑化すれば助成の費用が出ると今回知りとてもうれしいです。ありがとうございます。そして、その道路に置かれた駐車駐輪禁止の無粋な置き物を取り除いていただけないでしょうか。見まわりの方もよくお仕事して下さってます。必要はないと思います。ロープをつけていくつも繋げて置いてあります。必要ならば１つで充分です。作る費用も節約できることでしょう。どうかよろしくお願い申し上げます。
・ 最近市内で歩行喫煙が増加している様に感じます。吉祥寺駅周辺での横道での喫煙や、パチンコ店からの排煙が路上に出ている等、受動喫煙の心配もあります。市内全域の禁

煙の取り組み、また、電子タバコの害の啓蒙活動をお願いします。

- 会社の人も中に場所つくって吸ってほしい。子供がいるから外で吸っていると風で臭いの来るからほんとにくさい。ごはん食べるところも完全禁煙にしてほしい。お店でわけてるけど、けっきょくは全体に臭いから意味ない。歩きタバコのポイすても子供が食べちゃう危険があるからホントやめてほしい。
- ゴミ対策では、ポイ捨てを無くすために、行政の監視、パトロールを頻繁に行い（この点では教育が重要だが）違反者にペナルティー（地域の掃除をさせる）を！特にタバコのポイ捨てを無くす必要がある。
- 吉祥寺駅公園口のバス通りでの客引きの取り締まりの強化（夜は目に余るほどで、事件が起きる可能性ある）。井の頭通りの自転車レーンへの自転車の通行促進の方向で、駐車している自動車の取り締まりと共に歩行者用通路での自転車と歩行者の事故を未然に防いで欲しい。時に歩行者道路を警察官が 2 列になって自転車で走っている事もある。何度も事故やトラブルを見ているので、歩行者優先を徹底させて欲しい。これからの高齢化を考えて、歩行者の安全をお願いしたい。
- 道路、歩道などにはみ出た樹木、生け垣等が通行のさまたげになっています。
- 生垣のあることは、とてもよいことですが、所有者には道路にはみ出さないよう指導してほしい。
- 道路の横の植木？が伸びすぎていて、歩道に掛かっており歩きにくい。歩道が狭く感じてしまい、とても残念です。駅近く（武蔵境）の木の植え込みに、個人で（無断で？）花の種を植えている方がいるように見受けられます。花が悪いということではありませんが、好き勝手にバラバラの花を植えるということに違和感があります。
- 道路に面した所は生垣に。狭溢道路の 4m 化を早急に行う。セットバックを強制的に行う。空家対策をして欲しい。100 坪位の空家が周りに何軒もあり、庭木が伸び放題になっている。家主に管理をさせてほしい。
- 樹木が多すぎて管理しきれないのは却ってメイワクです。育ちすぎた木の手入れ、枯葉のそうじなど人手もお金もかかりすぎです。公園が多くあっても整っていなければ意味がありません。相変わらず水が出るエリアもあり、車を移動している方もいます。やり方が中途半端です。
- 景観は環境なのか街づくりなのか行政内のタテワリを改善してほしい。都市基盤は一応できているので、まちの環境の質の向上を回ってもらいたい。ブロック塀→生垣ではなく、管理しやすい生垣、四季の変化を楽しめる生垣、エージング効果を期待できる生垣など景観の質に関わる情報を提供すべきだ。
- 小さな公園がいたる所にあって、憩い場になって、とても GOOD！ただし、雑草の伸び放題という所が多数。草刈りをする人を職員、業者、ボランティアでローテーションを組み、公園を清潔に保全。
- 緑化推進はとても良いですが、毛虫・ハチなどの発生時、連絡すれば対処して頂けるような相談先があると良いです。例えば、隣の家の立派な木が、こちらに入ってきていて毛虫が発生していると思われる場合、直接隣の家に進言するのは難しいです。
- 小金井公園西側スポーツセンター入口、枯れ葉が屋根、家囲にふきだまりで一日に 2 回

～3 回袋にいっぱい。職員が公園は落葉を掃除しているが８０才の私には大変な負担です。

- 側道の植込みの整備をしている時、植込みだけきれいにされ、ゴミが全て残ったままになっているため、ゴミも一緒にきれいにしていただきたい。気付いた時は自分でも拾っているが、雑草がなくなると逆にゴミが目立つし、ゴミが目立つとさらにポイ捨てされる。ゴミ箱を町に設置して、ポイ捨てをなくして欲しい。（オーストラリアに住んでいる知人に聞くと、ゴミ箱がいたるところに設置されているそう。）スーパーでトイレの使用を減らす。
- 吉祥寺近辺でネズミをよく見るが、レストランやキッチンなどにいるように思えて、なかなか飲食店に足が運べない。そういった害虫駆除は行われているのか市民に知らせてほしい。武蔵境の駅前は整備されてきれいだが、吉祥寺の駅（特に南口あたり）をきれいにしてほしい。
- 商店街のゴミ出しが雑で、街並みが悪い上に、ネズミやゴキブリなど衛生環境も低いです。共同ゴミ保管所を整備して、解決を目指してみてはどうか。商店街の違法駐輪もヒドイです。買い物客用の短時間無料駐輪（有料でもいいですが…）を整備し、あるのであればその周知を徹底し、それ以外の取締りを強化してほしい。（取締り自体は警察の役割で、ここで言っても仕方ないかもしれないですが…）
- 新宿方面から電車で帰ってくると、吉祥寺に着いた最初に目に入るのは真赤な超特大の*風俗店の*看板です。本当に不快でなりません。街の品位もこの看板があってはどうにも保ちようがありません。なんとかなりませんか！？
- コンビニ・スーパー等店の近くには、自販機は必要ないと思います。住宅の中も必要ないと思います。
- 小さな公園にもトイレがほしい。たまにおしっこのニオイがする公園がある。
- ゴミの分別を細かくすることにより食品ロスを減らす施策や庭の手入れの助成など、近隣の環境整備に注力して欲しい（まずは問題世帯の把握を）。生物多様性や緑の保全だけでなく、ハクビシンなどの外来生物の駆除、蚊やゴキブリなど害虫の撲滅にも取り組んで欲しい。犬のフンなどのマナーアップも図って欲しい。

＜その他＞

- 自然災害が多発してる今日この頃、各々の災害の準備をしっかりやっていく必要があり、また他地域にも協力できる体制をしっかり準備していく必要があると思います。（明日は我が身かもしれないので。）
- 台風 15 号による千葉、神奈川の弱体政策の教訓は生かして欲しい。電源を失った際に、自元の電源を使えるといったような、市を挙げた別電源からの供給。当家はエコキュートのみ導入していますが、電気料金は決して安くない。他社のりかえしました。業者曰くは、将来的には各戸で発電し自給自足可能な電力確保の時代が来るとは？
- 先日千葉県で起こった大停電のようなことが武蔵野市や東京で起こった時、どうすれば良いか、どのような対策が取られているか知りたい。
- もはや災害は起こるものと考えて（想定外ということがないように）市としては何をす

るのか、だから各個人はこれを備えておく、という様に両方向での対応が必要と思います。最近の災害を目にした時に、行政は正直なすすべなしという感じがして、負担は各個人にかかっていると思います。個人も市に任せることなしに双方に備えておく構えが必要と思います。以前、市町のコメントに自分の事（命）は自分でやる（守る）とありましたが、非常に残念なコメントと思いました。例えば停電した時用に各個人で発電機を準備しろと？家が倒壊したらキャンピングカー？自分でホテルを探せ？ちょっと違うのではないですか？市・行政として今一度、災害について取り組んでいる事の発信と個人の備えを伝える必要があると思います。

- 武蔵野市は環境という名目で木をうえればエコであると勘違いしている。公園に大木をうえているが、まったく（うちの近くでは１０年以上）手入れをしていない。台風 15 号の千葉の被害をみればわかるが、木をうえるイコールエコではない。定期的なメンテナンスをするべきである。２０１１年の台風時に枝や木がたおれた時も想定外であるとの市役所職員の言葉は忘れられない。その時あったことなら、今後は想定内とすべきである。やりっぱなしの市の方針は愚の骨頂であると言わざる得ない。
- 災害（台風等）時、被害を軽減出来る様、倒木や枯れ木の撤去を速やかに行う。（上水や遊歩道）伐採はするが枯枝は回収しないのはなぜか？当該官庁の違いの為か？
- 都心部にもアクセスしやすいなか、意外と緑が多く残っていると思っています。農地が住宅地に変わってきているものの、農地（緑）が多く残っていることも影響しているのか、多くの方々はおおらかな心を持っていると感じる一方、自分や自分の家族がよければ、自分や家族には負担させたくない不都合を他者に負担させるごく一部の方々もいると感じています。環境問題というと、とても難しく感じますが、自分自身、家族だけでなく、他者への気遣いを求めるといったコンセプトがあった方が良いと思います。まとまりがなく、申し訳ありません。
- 上物の環境のどうのこうのよりも、人の心の安らぎや思いやる心を育む大切さを、このところ特に感じています。市民お互いに“にこにこ”と過ごしていける環境とは…（老若男女を問わず）。
- 「寄り添うだけ」の対策では困る。はっきりした目標を公表し、確実に実行して欲しい。口先だけでなく、身体を使って頑張って欲しい。
- 環境良化は 100 年～200 年それ以上の Span で考え、目先の方策にとられないことが大切と思う。現実の問題への対策は速やかに。
- 「住みたい街」ではなく、「住みやすい街」にする為の取り組みをすべきだと思う。（30 年以上住んでいて、今年になってから初めてこの地を本気で離れたいと心から思い始めた。）
- 環境保護と住みやすさ、快適さを両立させることは難しいですが、住宅地の場合、環境＜快適さで良いと思います。何事もバランスよくやって下さい。
- 環境の話はサイエンスだと思います。物理・化学（特に熱力学）的に正しい知識にもとづいた議論を期待します。ムードだけでやるのはあまり良くないと思います。
- 現在の環境については、申し分ないと思いますが、今後、外国の方が増加する可能性があります。その時の対策をお願いしたいです。（ゴミ処理などのマナー等）

- 日頃より環境問題への取り組みに対する努力に、感謝申し上げます。環境問題を課題として解決していくには、ルール化が大切なひとつの手段と当方は考えております。ルールを守る・守らないは個人の問題でありますが、近年国際化による多様な国の方々が居住する環境条件が急激に変化しつつあります。このような変化の中でさらに日本国民人口減少化を考えると、課題解決のためにルール化しても、それが守られない状況となります。たとえば観光地京都の生活環境問題は良い例だと思います。また人気のある飲料タピオカの飲み終わったカップの廃棄迷惑です。これらの問題は来年オリンピックの年ですので、多くの場所で起きる問題と思います。ぜひとも 10 数年先の問題を想定し検討されることを願います。以上。
- クラウドファウンティングで市内外から資金を集めて、大小問わず一つ一つのプロジェクトを実行していく。時代に合わないプロジェクトには集まらないため、望まれたプロジェクトの実施が可能になる。また、市内外から募集することで、完成されたプロジェクトが人を呼び込むものになる。また、クラウドファウンティングを利用することで、出資者に対する特典も明確に設定でき、市の費用を大量投資しなくても、市民や武蔵野市に来てくれる人達に望まれた取り組みを形にすることが可能となる。具体的に何をするかのアイディアは今のところないが、取り組みを実施する上で、クラウドファウンティングは望まれたものを形にし費用をおさえることも可能にする有益なツールだと考えます。ご一考下さい。
- 市民が気軽にすごせる場所を作る。
- ＪＲ高架下で武蔵境東側が利活用されていない所がある。付近に遊具がある公園が少ないので、ポッポ公園のような公園を整備して欲しい。*駅前の複合施設の*屋上、高価なバーベキュー屋になるくらいなら、緑化などして子供が遊べる誰でも入れるスペースにして欲しい。現状、*駅前の複合施設の*屋上は、市民の役に立っていない。
- 現在化学物質過敏症で苦しんでいます。道路工事のアスファルトの臭いが家の中まで入ってきてつらいです。人体への影響があると思うので、流れ出ない方法を考えて欲しいです。クリーンセンターの周辺がたまに臭ったり、ゴミ処理車の車に染み込んだ臭いも気になります。道路や庭、畑等にまく除草剤や殺虫剤は人体へも影響があります。何か別の方法で解決する取組を進めていただきたいです。ＬＥＤ照明は省エネになるかもしれませんが、人の目には良くありません。健康に害のない対策をお願い致します。
- 設問が稚拙。積極的な政策意志が感じられない。市民の生活意識を抜本的に変えるような、「武蔵野市モデル」が考えられないか。このアンケート調査が考え尽くしたものとは思えない。→結論が出るのか？
- もっと解りやすく簡単に。複雑すぎる内容は理解できない事もある。とても残念。
- 普段仕事で不在がちだったり、単身者用住宅に住んでいて、勝手にできないので、そういった人はどうすればいいんですか。
- マンションの住民は家の設備などは変更できません。持ち主である大家に、このアンケートを送ると良いと思います。（屋上の緑化などは大家の権限です）マンションには、管理者用のポストがあるので、利用して下さい。
- アイデア、提案ではありませんが、武蔵野市がやっていることを全く知りません。伝わ

っていません。他の地区と差があると感じます。例えば、防災無線も聞こえません。街のはしまで知らせられるように、宣伝カーなどで巡回して欲しい。武蔵野市民は、吉祥寺や中町だけが、いる人ではない。せっかくやっているのに、意味がありません。ムーバスの利用もできません。エリアに走っていないです。

- 直接関係ないと思いますが、防災無線が全く聞き取れません。何か言っているのは分かりますが、内容が分かりません。
- 問 6 について、スマホで町を歩くゲームをしている最中に知ったこともあったので、スマホのゲームも町を知るうえで役に立つなと思いました。（アイデアでも提案でもないですが）
- 武蔵野市は予算が潤沢にあるが、他市町村は必ずしもそうではない。真似できないモデルを提示するよりも、市民（個人）への助成を充実させた方が、市民性（高所得、高学歴）に合っていると思う。また、武蔵野市で生まれ育ったものとして、市が栄えるのは嬉しいが、武蔵野プレイス横広場の緑化（芝生化）など、見た目優先の無意味（というかできない）ことに税金を使わないで欲しい。仕事が忙しく、イベント参加は無理。市政報告は、戸別配布希望。
- ●●*（市民団体名）*は、必要でしょうか？市からの助成金？500 万円の価値はありますか？税金の無駄使いだと思います。
- アンケートに回答するまで、武蔵野市が多様な取り組みをしていることを殆ど知らなかったので、活動を知り、自身の生活を見直すいい機会になりました。
- このたびはアンケートの対象に選んで頂き、ありがとうございました。提案…というよりは、むしろ市がこれだけいろいろな取り組みを行っていることを知らずにいたので、今さらながら感銘をうけております。きちんと市報を読むように致します。今後も頑張ってください。ありがとうございます。
- 環境に関するアンケートに答えるだけでも環境問題が山積していると実感しました。各自が自覚して出来るのはゴミ・食品ロス等ですが、ヒートアイランド、温暖化、再生可能エネルギー等の問題は市民の意識を高めて国を動かしていくように出来ればよいと思います。スウェーデンの 16 才の少女が頑張っている姿をテレビで見て、日本ももっとしっかりやらなければ、地球の温暖化は止められないと切実に感じています。
- 環境に対し、新聞、エッセ等から少し知識を得ていたが、改めて勉強はせずに居ました故、深く理解出来ていないのでは…とちょっぴり個人で反省してます…。少し楽しい勉強会に参加出来たらと望みます。有難うございました。☆今後も頑張って住み、良い武蔵野市に…。宜しくお願い致します。
- これからも積極的な取り組みを期待します
- 高齢者ですが、良い環境に満足しています。この良い環境を維持するようお願いします。
- 吉祥寺緑地が近いんで良い。ムーバスは最高のヒット！！老人にはうれしい限り。
- 緑も多く、清潔で、住みよい環境で有難いと思っています。駅前もだいぶ整備されましたね。バス停のベンチがとても有り難いです。
- 武蔵野市に住むようになり、すでに何年か過ぎてしまいました。とても幸せな環境だと思います。毎日のように″売らないか…″の文が入っていますが″こんなにすてきなとこ

ろはない″とさえ思っております。色々な面でも恵まれ、落ち着いて暮らせる最高の地だと思っております。いろいろとお心遣いいただきまして、幸福な日々を送らせていただいております。これからもよろしくお願いいたします。乱筆お許し下さい。

- 1930 年（昭和 5 年）生まれ、昭和 13 年中野から移住。一年中畑に作物が実り、家の前に小さな小川が流れ、生活用水に使っていたのを知っています。のどかでした。戦後*外国人*がたくさんいて、嫌な町になった事もありましたけれど住宅街になり、一時は小さな商店街になった事もありましたけれど、現在は駅近くでこそ、ちょっと賑やかですが、武蔵野全体が静かな住宅地になっているようなので、満足しています。願わくは*外国人*が居ない事。
- 一年足らず前に都内から引越してきました。しばらくして今までいたところとはちがって、とてもきれいで、気を配られていることに（景観）感激した覚えがあります。雑草を刈るようなボランティアがあれば参加したいな、というくらいの協力精神ですが、思います。もっと積極的な具体的な提案などあれば自分でも感心しますが、底辺に他人まかせな自分を反省いたします。
- この様な中味の濃く、且つ説明文も明確にして適確なる質問票にいたく感心しました。昨今の気温上昇や強い台風の頻発を見るに地球規模の災害、変動が遠くない将来に恒常的に起こることが十分予想される。当企画に賛意と敬意を表します。これは我々年寄りよりは、次世代、若い市民・家族のために必要な取り組みです。

III 事業所調査結果

１ 回答した事業所について

問　貴事業所についてお聞きします。あてはまるものをそれぞれ１つ選んで番号に〇を付けてください。

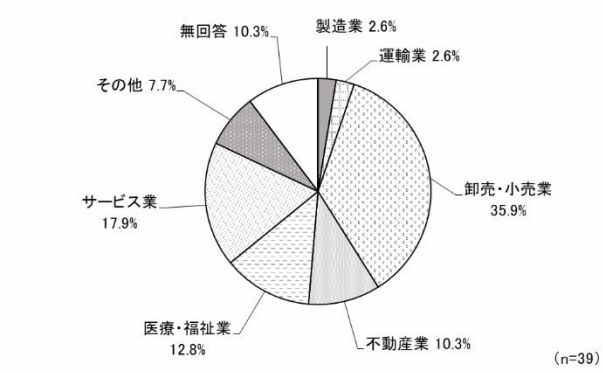


図 III−１　主要業種

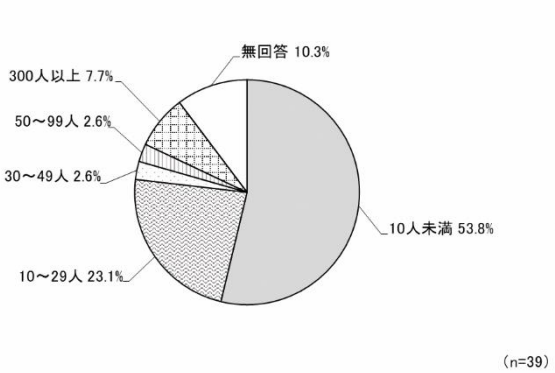


図 III−２　従業員規模

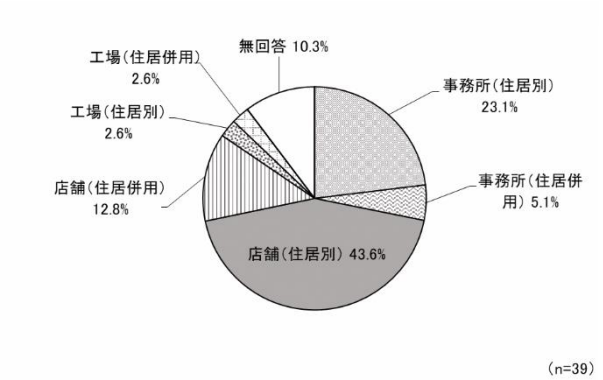


図 III−３　事業所の形態

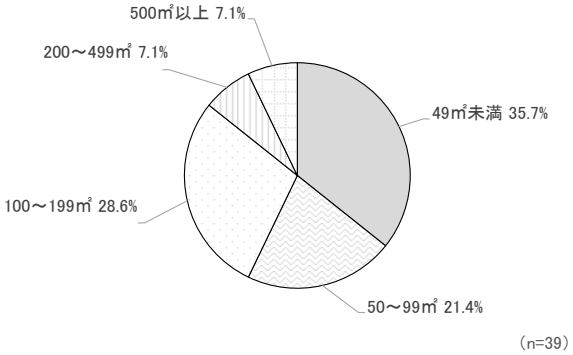


図 III−４　延床面積

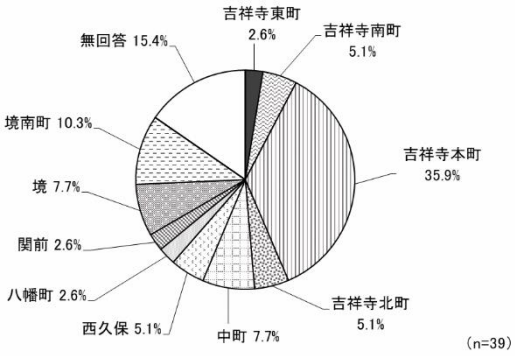


図 III−５　事業所の所在地

２ 事業活動における環境の位置づけについて

問１　環境への取り組みの実施による経営的なメリット（利点）として、何を期待しますか。特にあてはまるものを３つまで選んで番号に○を付けてください。

事業活動における環境の位置づけの回答が多かったのは、「生産性の向上や経費削減につながること」、「社会貢献をすることにより、企業のイメージが高まること」、「行政や地域住民との良好な関係の維持につながること」の順であった。

一方、回答が少なかったのは、「事業開拓や技術・製品開発につながること」、「顧客や取引先のニーズに応えることができること」、「環境に関する法規制の遵守（コンプライアンス）」の順であった。

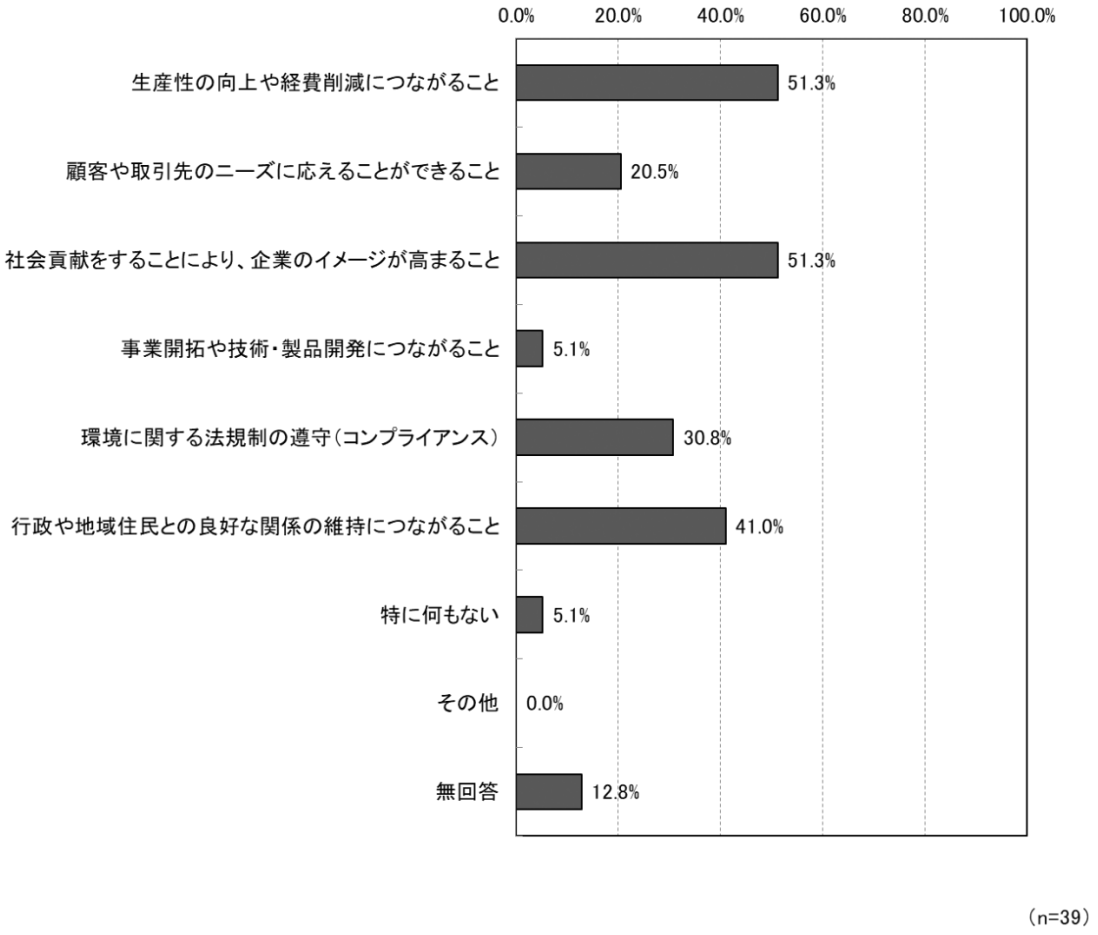


図 III-６　事業活動における環境の位置づけ

３ 事業所での環境配慮行動について

問２　貴事業所での環境配慮行動の取り組み状況についてお聞きします。以下の環境配慮行動について、各項目それぞれ１つ該当する番号に〇を付けてください。

（１）環境啓発や情報発信に関する取り組み

環境啓発や情報発信に関する取り組みで、「実施している」という回答が多かったのは、「ア 環境に関する取り組み方針や基本理念、行動計画等を定めている」、「イ 自ら環境に配慮した情報を地域や消費者に提供、発信している」の順であった。

一方、「実施している」という回答が少なかったのは、「ウ 環境啓発イベントや環境講座（セミナーや見学会等）を自ら開催している」、「エ 他の事業者・団体が開催している環境啓発イベントや環境講座（セミナーや見学会等）に出展者として参加している」の順であった。ただし、どちらも「実施している」より「今後実施したい」という回答が多くを占めており、ある程度は今後の取り組みの意向があることがうかがえる。

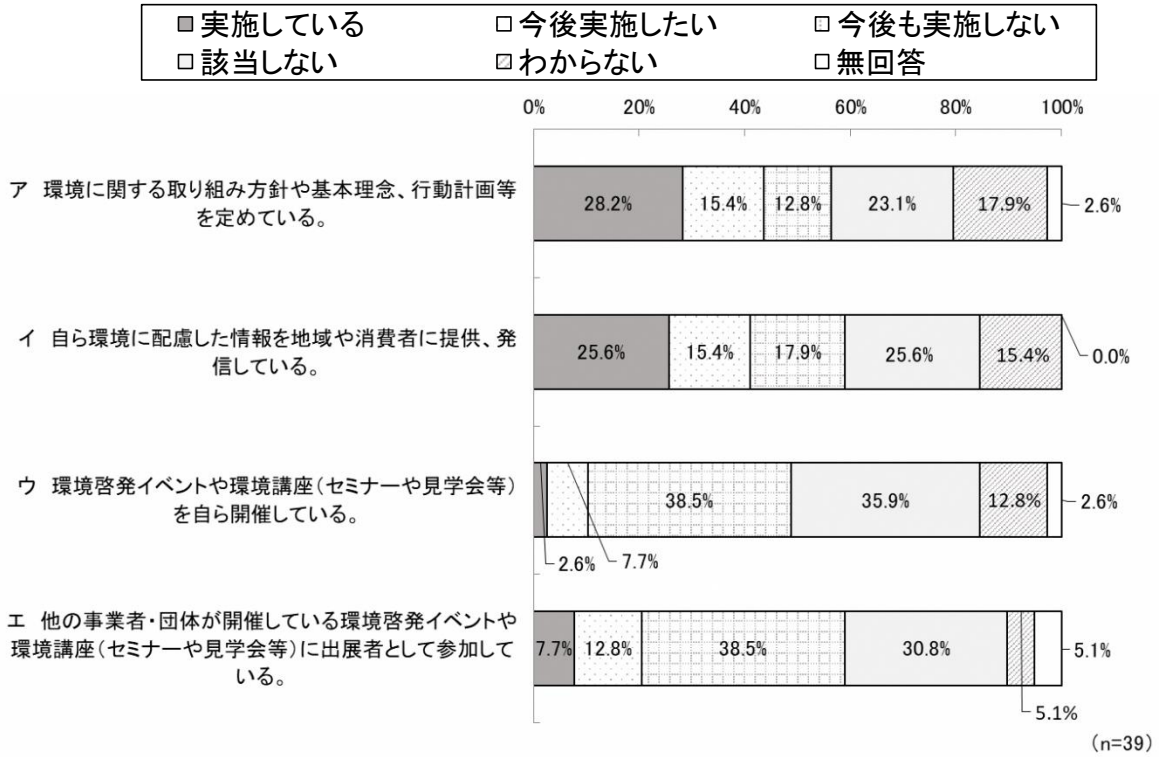


図 III-7　環境啓発や情報発信に関する取り組み

（２）低炭素社会の実現に向けた取り組み

低炭素社会の実現に向けた取り組みで、「実施している」という回答が多かったのは、「ウ 事業所等の電気や水道の節約を推進している」、「イ 事業所等の冷暖房の適正な管理やクールビズ、ウォームビズを実施している」の順であった。

一方、「実施している」という回答が少なかったのは、「ア 環境マネジメントシステムを導入し、運用している」、「エ アイドリングストップなどによるエコドライブを推進している」の順であった。ただし、「ア」については「実施している」より「今後実施したい」という回答が多くを占めており、ある程度は今後の取り組みの意向があることがうかがえる。

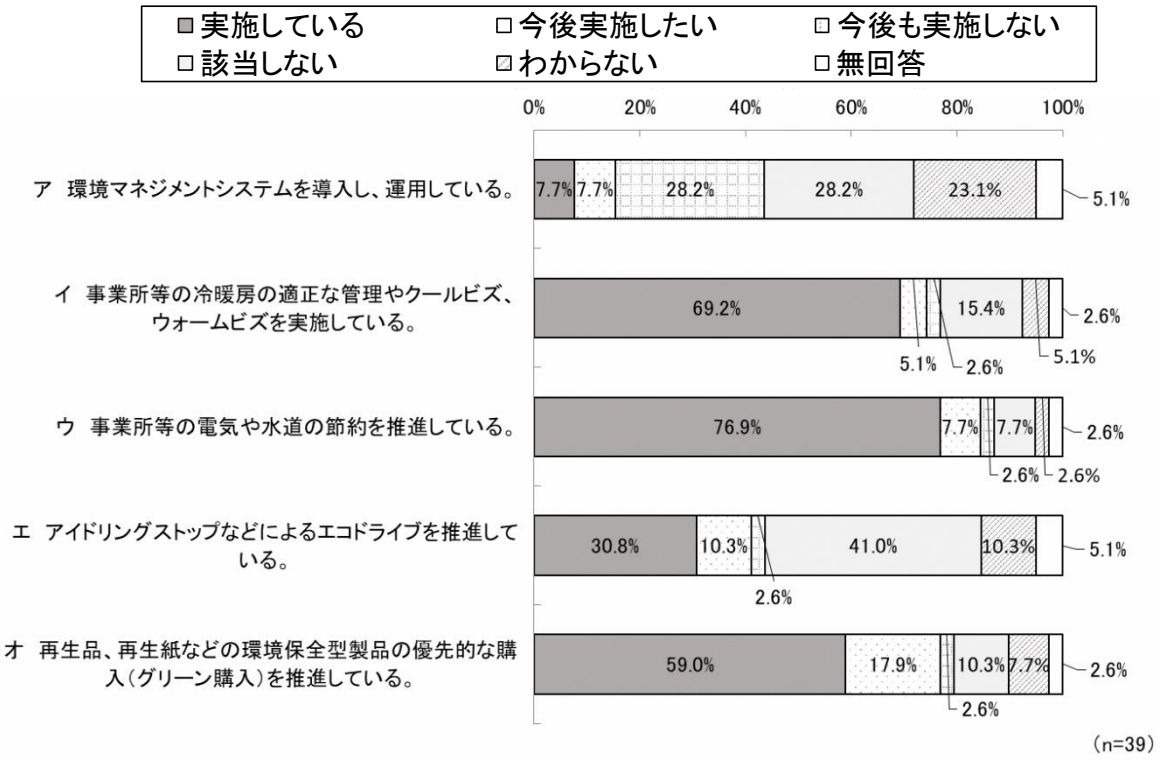


図 III-８　低炭素社会の実現に向けた取り組み

（３）ごみの発生抑制と資源の循環利用に関する取り組み

ごみの発生抑制と資源の循環利用に関する取り組みで、「実施している」という回答が最も多かったのは、「イ　市で作成した「事業系ごみ分別・減量資源化の手引き」に基づいて、事業活動で発生した廃棄物の分別やリサイクルなどに取り組んでいる」であった。

一方、「実施している」という回答が最も少なかったのは、「ウ　食品の売れ残りや食べ残しなどの食品ロスの低減に取り組んでいる」であった。

「今後実施したい」という回答については、「実施している」という回答と比較するといずれもわずかであった。

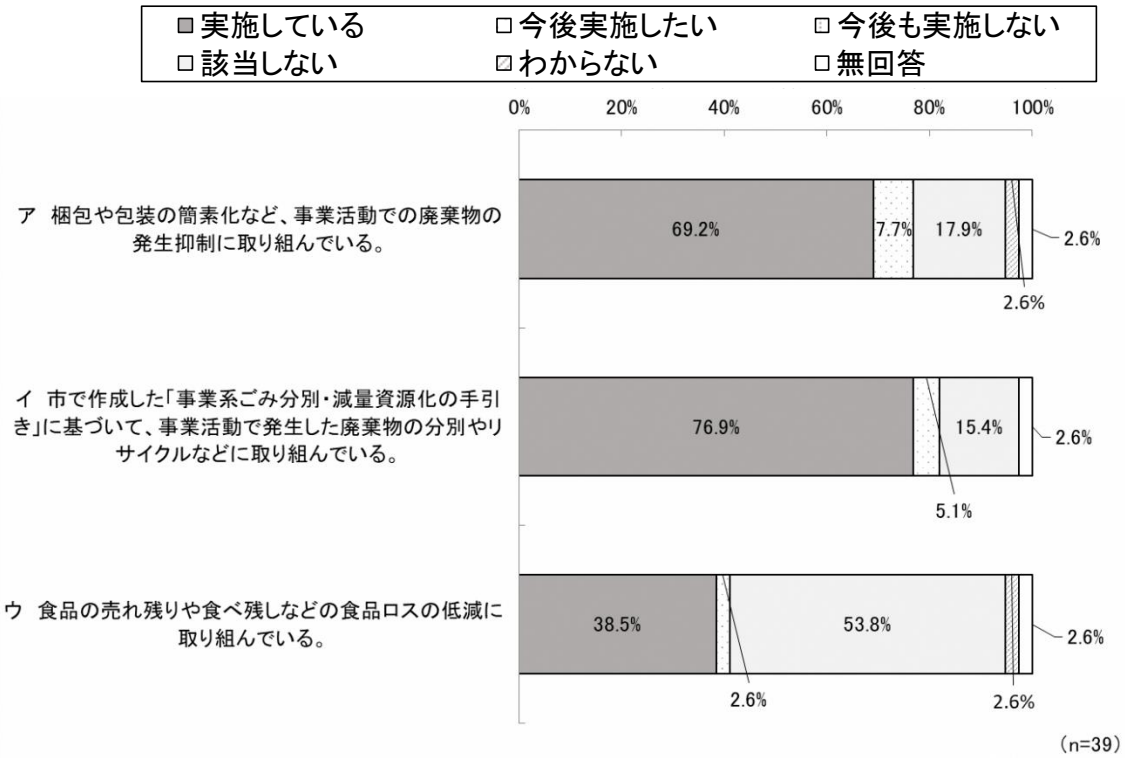


図 III-９　ごみの発生抑制と資源の循環利用に関する取り組み

（4）自然が感じられる環境の確保に関する取り組み

自然が感じられる環境の確保に関する取り組みで、「実施している」という回答が最も多かったのは、「ア 敷地内の緑化や屋上緑化、壁面緑化に取り組んでいる」であった。

一方、「実施している」という回答が最も少なかったのは、「イ 接道部緑化に取り組んでいる」であった。

「イ 接道部緑化に取り組んでいる」と「ウ 自然保護活動に取り組んでいる」については「実施している」より「今後実施したい」という回答が多くを占めており、ある程度は今後の取り組みの意向があることがうかがえる。

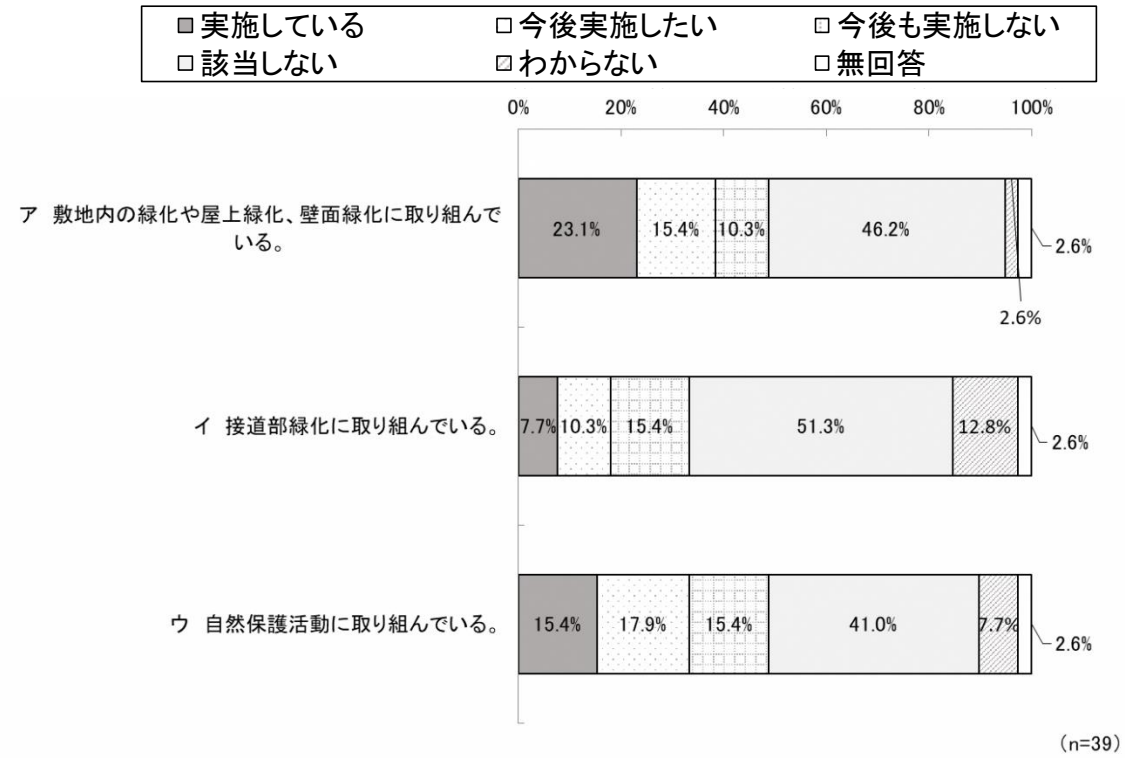


図 III-10 自然が感じられる環境の確保に関する取り組み

（5）環境と共生したまちづくりに関する取り組み

環境と共生したまちづくりに関する取り組みで、「実施している」という回答は、「イ 景観ガイドラインや屋外広告物条例に定める事項について取り組んでいる」より「ア 排気ガスや二酸化炭素排出の増加につながる渋滞を緩和するため、公共交通機関の積極的な利用を進めている」の方が多かった。

「今後実施したい」という回答については、「実施している」という回答と比較するとどちらもわずかであった。

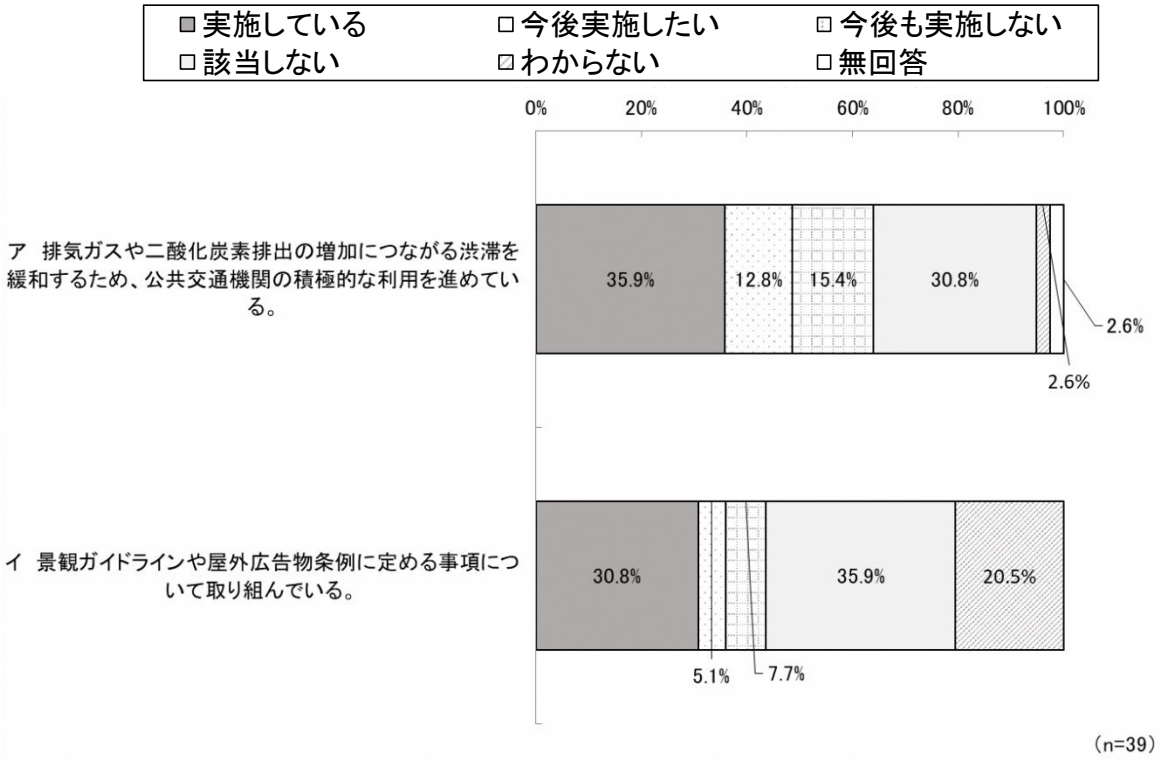


図 III-11 環境と共生したまちづくりに関する取り組み

（6）公害対策と生活環境保全に関する取り組み

公害対策と生活環境保全に関する取り組みで、「実施している」という回答が多かったのは、「ウ ねずみやカラスなどの増加に対し、ごみの出し方を工夫するなど具体的な対策を行っている」、「ア 悪臭や騒音、振動を低減するために、装置をつけたり、事業活動時間を規制したりして、周辺に悪影響を与えないように配慮している」の順であった。

一方、「実施している」という回答が少なかったのは、「エ 敷地内での雨水浸透や雨水利用に取り組んでいる」、「オ 取引先を選ぶ際、環境に対する姿勢を選定基準に入れている」、「イ 化学物質や汚染物質の使用量の管理、排出抑制に取り組んでいる。」の順であった。

「今後実施したい」という回答については、「実施している」という回答と比較するといずれもわずかであった。

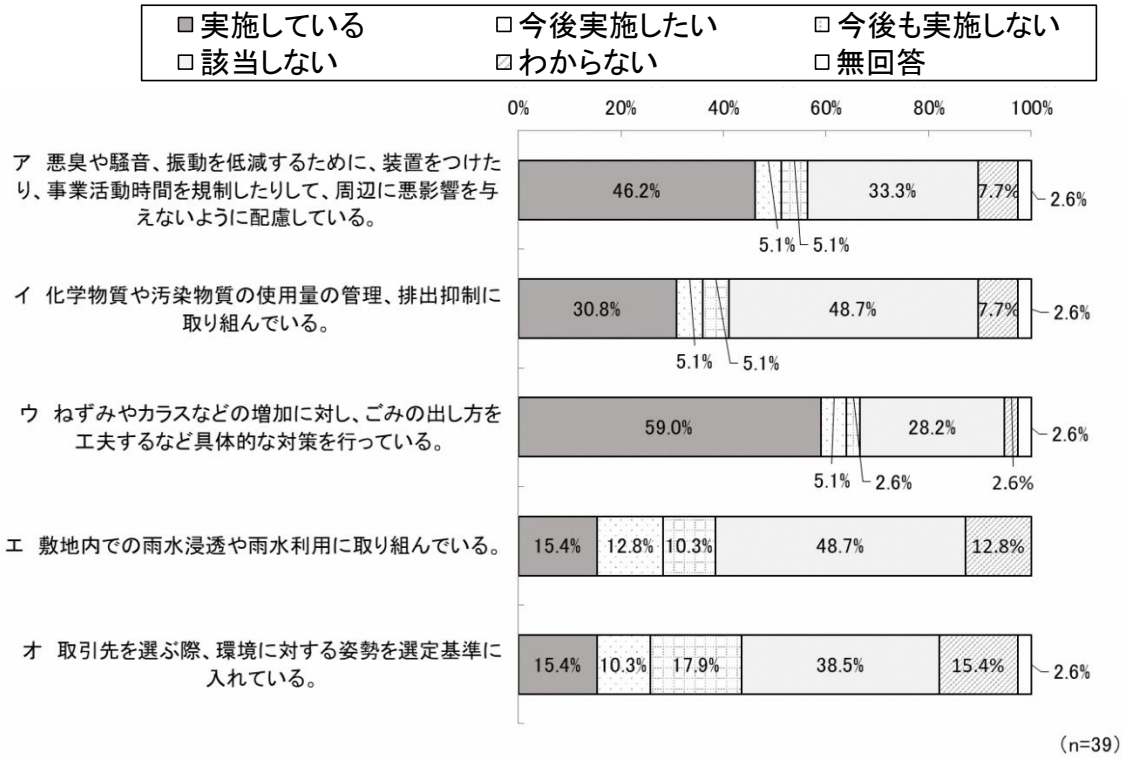


図 III-12　公害対策と生活環境保全に関する取り組み

問３　問２の項目の他に、貴事業所で取り組んでいる環境配慮行動がありましたら、お書きください。

回答を以下に示す。

＜ごみの発生抑制・資源の循環利用＞

・　ゴミ分別
・　分別の徹底。
・　各種廃棄物のリサイクル。
・　コピーペーパーの再利用。
・　詰め替え商品の充実。
・　古着の回収やダウンの再利用のためにダウンの割合が 50%以上のアウターを回収しています。

＜グリーン購入などの取り組み＞

・　グリーン購入の推進。

＜その他＞

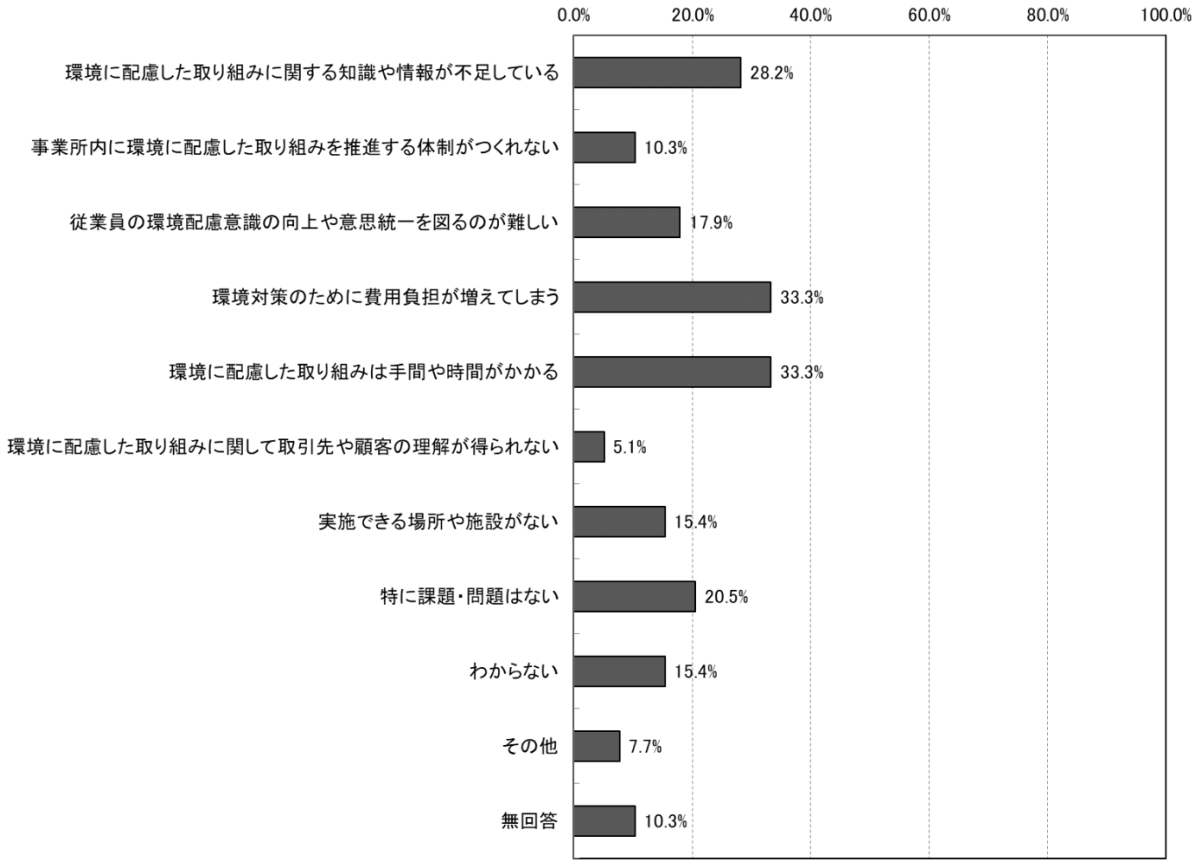
・　環境問題が重要な事は、このアンケートでも知ることが出来ました。会社では週 4 回程度、朝礼を実施しています。この時、色々指示や教養をしていますが、市として社員にも伝えれば効果が出ると思われることを「メモしたもの」等を作って頂き、お届けくだされば、市の PR にもなり、この問題の方向付けに多少なりとも有効ではないかと思います。
・　ゴミ集積場へ通行人等が投げ捨てている事がある。公共の良心だけでは不十分で、監視カメラの導入等を増やして欲しい。

４ 環境配慮行動の取り組みを進めるうえでの課題・問題点について

問４　貴事業所において環境に配慮した取り組みを実施する上での課題・問題点についてお聞きします。あてはまる項目すべての番号に○を付けてください。

環境配慮行動の取り組みを進めるうえでの課題・問題点の回答が多かったのは、「環境対策のために費用負担が増えてしまう」、「環境に配慮した取り組みは手間や時間がかかる」、「環境に配慮した取り組みに関する知識や情報が不足している」の順であった。

一方、回答が少なかったのは、「環境に配慮した取り組みに関して取引先や顧客の理解が得られない」、「事業所内に環境に配慮した取り組みを推進する体制がつくれない」、「実施できる場所や施設がない」の順であった。



（n=39）

図 III-13　環境配慮行動の取り組みを進めるうえでの課題・問題点

5 省エネ・再生可能エネルギーに関する設備導入について

問５　貴事業所での省エネ・再生可能エネルギーに関する設備導入の状況についてお聞きします。 以下のア～シの各項目について、それぞれ１つ該当する番号に〇を付けてください。

省エネ・再生可能エネルギーに関する設備導入について、「実施している」という回答が多かったのは、「イ　高効率照明（ＬＥＤ照明など）の導入」、「ウ　高効率空調機の導入」、「カ　窓の断熱（断熱シート、断熱ガラス、二重窓など）の導入」の順であった。

一方、「実施している」という回答が少なかったのは、「ケ　太陽熱利用設備の導入」、「コ　再生可能エネルギー由来の電力の利用」、「オ　ＢＥＭＳ（事業所のエネルギー管理システム）の導入」の順であった。

「ア　省エネルギー診断の受診」と「エ　電力モニターやデマンドコントロールなどの機器（見える化機器）の導入」、「オ　ＢＥＭＳ（事業所のエネルギー管理システム）の導入」、「キ　蓄電池システムの導入」、「ク　太陽光発電設備の導入」、「ケ　太陽熱利用設備の導入」、「コ　再生可能エネルギー由来の電力の利用」、「サ　プラグインハイブリッド自動車、電気自動車、燃料電池自動車などの導入」については「実施している」より「今後実施したい」という回答が多くを占めており、ある程度は今後の取り組みの意向があることがうかがえる。

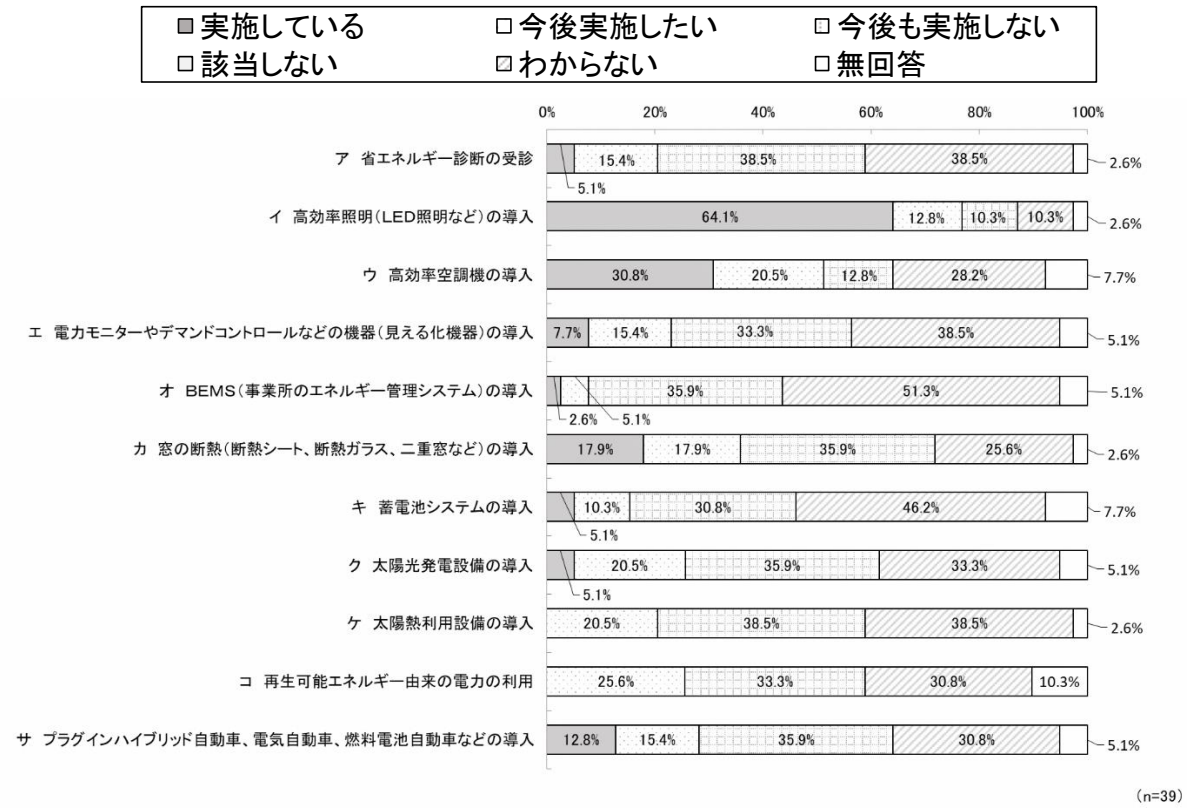


図 III-14　省エネ・再生可能エネルギーに関する設備導入

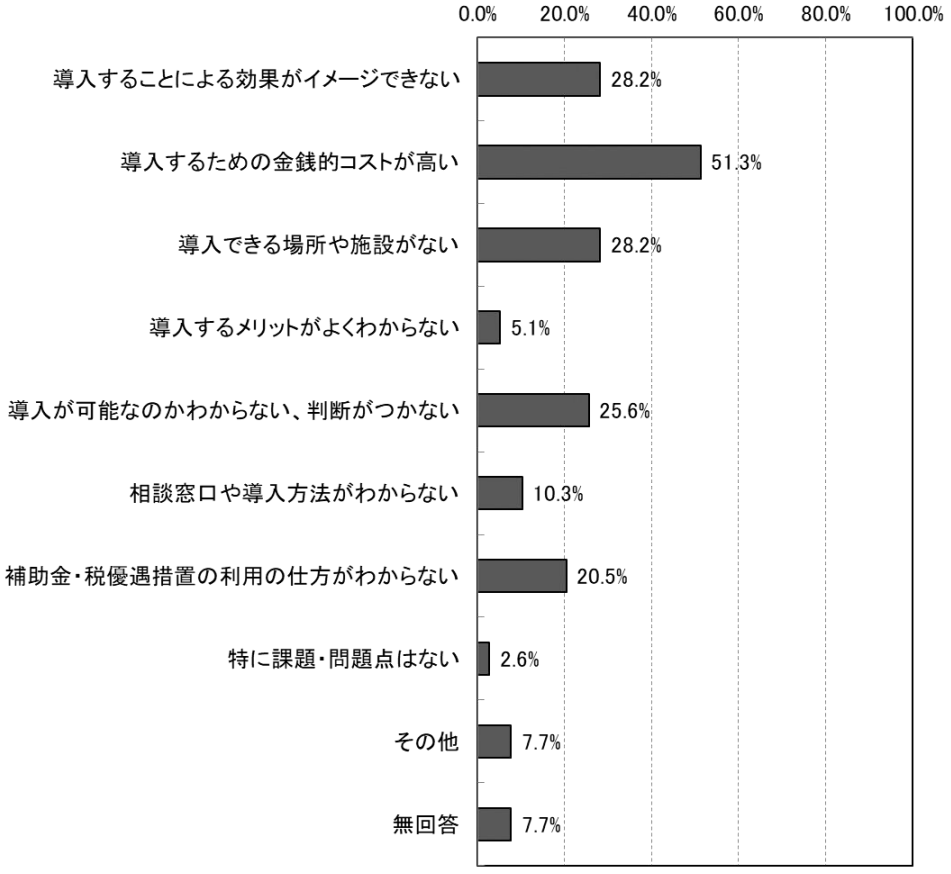
６ 省エネ・再生可能エネルギーの設備導入するうえでの課題・問題点について

問６　省エネ・再生可能エネルギーに関する設備を導入する上での課題・問題点についてお聞きします。特にあてはまるものを３つまで選んで番号に〇を付けてください。

省エネ・再生可能エネルギーに関する設備を導入する上での課題・問題点の回答が多かったのは､｢導入するための金銭的コストが高い｣､｢導入することによる効果がイメージできない｣、「導入できる場所や施設がない」の順であった。

一方、回答が少なかったのは、「導入するメリットがよくわからない｣、「相談窓口や導入方法がわからない｣、「補助金・税優遇措置の利用の仕方がわからない」の順であった。

また、その他に「補助金に応募しても採択されない｣、「事業所だけで判断できない」という回答があった。



（n=39）

図 III-15　省エネ・再生可能エネルギーの設備導入するうえでの課題・問題点

7 地域社会との連携について

問７　事業所としての、地域の環境保全のための取り組みについてお聞きします。次の取り組みを実施していますか。または今後、実施する予定はありますか。ア～コの各項目についてそれぞれ１つ該当する番号に○を付けてください。

地域社会との連携について、「既に実施している」という回答が多かったのは、「ウ 地域のごみの減量化やリサイクル活動」、「イ 地域の清掃・美化活動」、「オ 地元農産物の普及、地産地消の取り組み」の順であった。

一方、「既に実施している」という回答が少なかったのは、「キ 地域での環境学習・体験活動の開催」、「カ 顧客や消費者への、省エネや再生可能エネルギーの啓発」、「ク 従業員の環境に関するボランティア活動の支援」、「ケ 地域の環境活動への支援」の順であった。

「ア 地域の緑化や景観づくり」、「エ 地域の自然環境を保全する活動」、「カ 顧客や消費者への、省エネや再生可能エネルギーの啓発」、「ク 従業員の環境に関するボランティア活動の支援」、「ケ 地域の環境活動への支援」については「既に実施している」より「今後実施予定または実施を検討」という回答が多くを占めており、ある程度は今後の取り組みの意向があることがうかがえる。

また、その他に「会社前道路の清掃（2 週間に 1 回実施）」という回答があった。

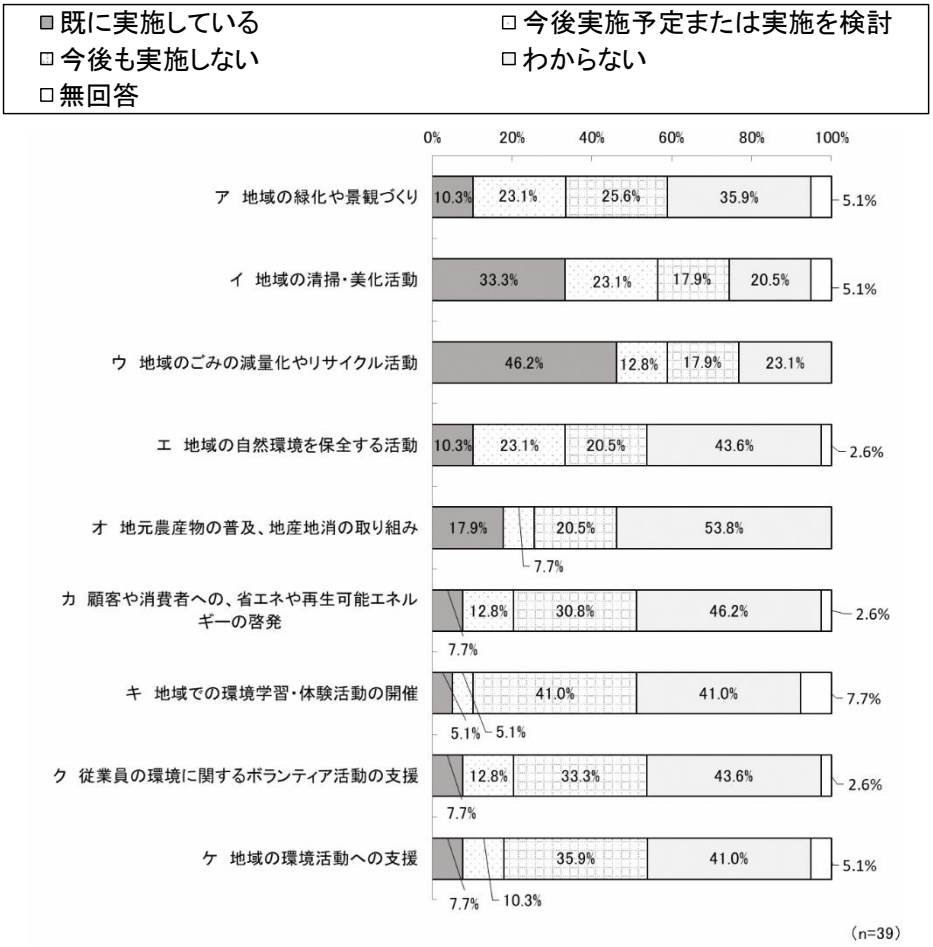


図 III-16　地域社会との連携

問８　問７「１（既に実施している）」または「２（現在、実施していないが、今後実施予定または実施を検討）」と回答した事業所にお聞きします。地域での環境保全活動を進めるにあたり、連携している、またはこれから連携したい団体は、ありますか？あてはまる項目すべての番号に○を付けてください。

連携している、またはこれから連携したい団体の回答が多かったのは、「武蔵野市や東京都などの行政機関」、「町内会・自治会などの地域団体」、の順であった。

一方、回答が少なかったのは、「学校・保育園など」、「ＮＰＯ・ボランティア団体」の順であった。

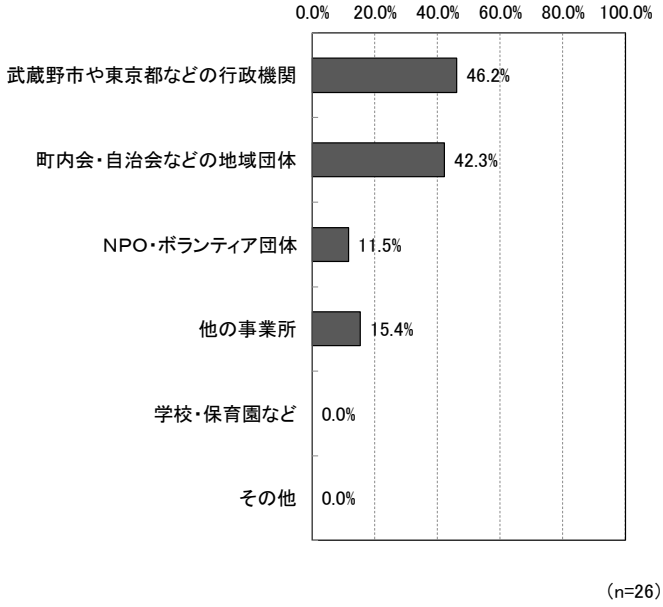


図 III-17　連携している、またはこれから連携したい団体

８ 武蔵野市の環境政策への要望について

問９　事業所として、環境への取り組みを進めていくため、武蔵野市に対してどのような支援を期待しますか。特に期待するものを３つまで選んで番号に〇を付けてください。

武蔵野市の環境政策への要望の回答が多かったのは、「環境配慮行動の推進に関する市民・事業者・行政の協力体制の整備」、「環境に配慮した設備改善や再生可能エネルギー導入のための支援」、「地域での環境保全活動に対する支援」、「電気自動車や燃料電池車などの次世代自動車導入のための支援」の順であった。

一方、回答が少なかったのは、「環境配慮行動に積極的に取り組んでいる事業所のＰＲや表彰」、「環境配慮行動に取り組む事業者間のネットワークづくり」、「環境配慮行動に関する相談機能、人材の紹介」の順であった。

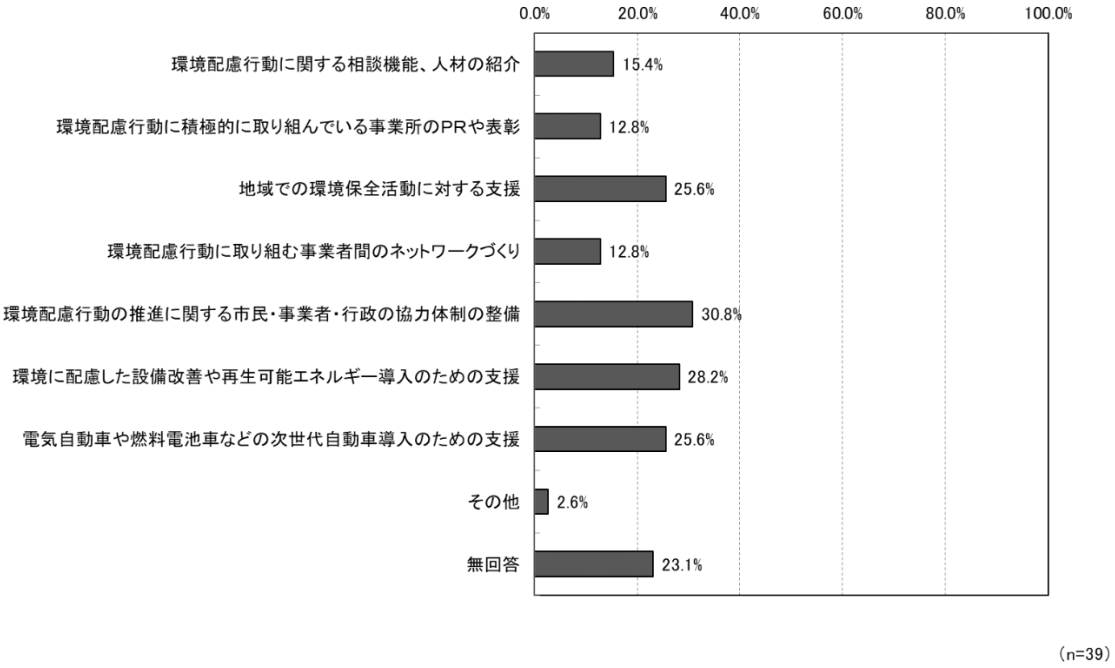


図 III-18　武蔵野市の環境政策への要望

９ 環境への取り組みに対するアイデア、提案等について

問 10　武蔵野市での環境への取り組みに対するアイデア・提案があれば、お書きください。

回答を以下に示す。

＜自然環境の保全・創出・緑化など＞

・　まちの緑化。街路樹根元の雑草をきれいに。路面店を作る場合、店の前に植え込みを作る、プランターを置くなどの工夫。駐車場の緑化。屋上、ベランダ、バルコニー緑化。

＜景観・美化など＞

・　駅周囲の道路の美化、清掃。タバコ、ガムの禁止等。
・　歩道沿いにある植込みの管理。
・　井の頭公園のトイレの有料化。

＜その他＞

・　今、会社には環境部ごみ総合対策課職員が年に２回お見えになり、色々とゴミの減量指導に当たってくれており、この際、関連する質問や市のゴミ対策の推進状況等についてお話や質問に対応してくれております。この様な輪を市として少しずつ拡大・指導していくのも有効であるし、大切な事かもしれません。
・　外資系企業です。外資系企業が参画することにより、何か得られるメリットがあれば、と考えております。
・　旧図書館の跡地…他の市議さんは、武蔵野は草を育てているのか？老人の憩いの場所２Ｆ、３Ｆ？今の市長さん…？